

- 四、靴ノ儘昇降スル校舍ノ出入口ニハ人員ニ應シ靴拭ヲ備フヘシ
 - 五、寢具ハ毎月少クトモ一回之ヲ日光ニ曝シ被覆寢衣等ハ務メテ洗濯セシムヘシ
 - 六、便所ノ尿溝及注壁等ハ毎日一回水ヲ以テ洗ヒ圍房ハ濕布ヲ以テ拭フヘシ樋箱ニハ成ルヘク蓋ヲ設クヘシ
 - 七、糞壺内ニハ防臭藥トシテ粗製過滿俺加里、粗製格魯兒滿俺(以上百倍乃)、硫酸鐵、泥炭末、木炭末、乾燥土粉、灰等ヲ撒布シ期チ愆ラス汲取ラシムヘシ
 - 八、食堂、炊事場、浴室、洗面所、洗濯所等ハ時々窓戸ヲ開キテ空氣ヲ通シ惡臭、煙氣又ハ湯氣ノ鬱滯ナキヲ務メ且掃除ヲ怠ルヘカラス殊ニ食堂ニ於テハ毎食前如露ヲ以テ牀面ヲ潤ホシ食後ニハ濕布ヲ以テ其食卓等ヲ拭フヘシ
 - 九、芥棄場ノ不潔物ハ期ヲ愆ラス搬送セシムヘシ
 - 十、下水ハ常ニ疏通セシメ炊事場、浴室、洗面所、洗濯所等ノ下水ハ毎月少クトモ一回大掃除ヲ行フヘシ
 - 十一、庭園、體操場、遊戯場、簷下、椽下等モ亦常ニ清潔ヲ保タシムヘシ
- 乙 定期清潔方法
- 定期清潔方法ハ毎年少クトモ一回夏休又ハ其他ノ長休ニ際シ之ヲ行フモノトス
- 十二、先ツ教室、寄宿舎内等ニ在ル机、腰掛、寢臺、戸棚等ヲ室外ニ出シ戸、障子、窓懸等ヲ外シ敷物ヲ剝キタル後如露ヲ以テ牀板及廊下ヲ潤ホシ天井、四壁、牀板、廊下等盡ク之ヲ掃ヒ然ル後清水ヲ以テ洗拭スヘシ但汚染殊ニ甚シキ部分及器具等ハ熱湯汁若クハ石鹼水ヲ以テ洗拭スヘシ

- 十三、簷下、牀下等モ手ノ届ク限り之ヲ掃ヒ外部ノ羽目及簷廻リハ龍吐水等ヲ以テ洗滌スヘシ
 - 十四、寢具、窓懸、敷物等ニシテ洗濯シ得ヘキモノハ之ヲ洗濯シ其洗濯シ得ヘカラサルモノハ先ツ其塵ヲ掃ヒ書籍文具等ト共ニ數日之ヲ日光ニ曝シ刷掃スヘシ
 - 十五、器具、寢具等ハ總テ室ノ乾キタル後ニアラサレハ室内ニ持込ムヘカラス
 - 十六、室ハ掃除後五日間以上窓戸ヲ開キテ空氣及日光ヲ通セシムヘシ
 - 十七、牀板、壁面等ニ齟隙アルモノハ此際之ヲ填塞シ風抜穴、煙突等ノ塵煤ハ之ヲ除去スヘシ
 - 十八、浴室、洗面所、食堂、炊事場、生徒控所、雨中體操場、便所、下水、芥棄場等ニシテ破損アルモノハ此際盡ク修理ヲ加ヘ且大掃除ヲ行フヘシ
- 丙 浸水後清潔方法
- 洪水ノタメ水害ヲ被リタル學校ハ開校前左ノ清潔方法ヲ施行スヘシ
- 十八、水ニ浸サレタル校舍殊ニ寄宿舎ノ建具牀板等ハ取外シテ空氣ヲ通シ且牀下ノ汚物泥土ヲ除去シ場合ニ依テハ焚火、火鉢等ヲ用キテ充分ニ乾燥セシムヘシ
 - 十九、建具、牀板、校具、腰張等ノ浸水シタルモノハ清水又ハ熱湯ヲ以テ洗拭シタル後可成之ヲ日光ニ曝シ充分ニ乾燥セシムヘシ
 - 二十、浸水ノ害ヲ被リタル井戸ハ必ス數回之ヲ浚隤シテ汚物ヲ除キ井戸側ハ清水ヲ

以テ洗ヒ能ク水ノ澄ミタル後ニ之ヲ使用スヘシ但開校後一箇月間ハ必ス其水ヲ煮沸シテ飲用スヘシ

二十一、右ノ外定期清潔方法ニ掲ケタル各項ヲ適宜應用スヘシ

●文部省訓令第二號 (明治三十年二月十六日)

市町村立小學校費府縣那費補助注意方

北海道廳 府 縣

尋常小學校ノ設置上市町村ノ資力其負擔ニ堪ヘスト認定スルトキハ府縣郡ヨリ補助ヲ與フヘキコトハ小學校令第四十六條乃至第四十九條ノ規定スル所ナルヲ以テ必要ニ應シ之ヲ適用スルコトヲ怠ラサルヘキハ勿論ナリト雖モ殊ニ今般勅令第二號ヲ以テ市町村立小學校教員俸給ニ關スル件ヲ發布セラレタルニ付テハ此規定ニ基キ負擔スヘキ適當ノ俸給額ヲ支出スルニ堪ヘスト認定スルトキハ右小學校令ノ規定ニ依リ相當ノ補助ヲ與フルコトヲ務ムヘシ

●文部省訓令第十二號 (明治三十年十二月十七日)

小學及師範教育等ニ關シ男女區別教育方

北海道廳 府 縣

方今小學教育ノ普及ト師範教育ノ擴張トヲ計圖スルノ際小學校ニ於テ男兒ト女兒トハ務メテ學級ヲ別チ教室ヲ異ニシ尙便宜學校ヲ別ニシ各其性質習慣ト生活ノ必要ト

明治三十年勅令
第三百四十四號
以テ小學校令
ノ結果正
四十六條
乃至第四
十九條ハ
第五十三
條第五十
三條ニ該
當

ニ應シ最モ適切ナル方法ヲ以テ之ヲ教育センコトヲ要ス此ノ如キハ雷ニ男兒教育ノ實相ヲ益發揮スルニ必要ナルノミナラス又女兒教育ヲ益女兒ニ適切ナラシムルニ依リ自ラ女兒就學ノ數ヲ増スコトヲ得ン師範教育ニ在リテモ亦管理訓育ノ方法等益女子ニ適切ナラシムルヲ要ス故ニ公立小學校及師範學校ノ施設ニ關シテ左ノ要項ニ依リ計畫スル所アルヘシ

一市町村村學校組合又ハ其區ニ於テ二箇以上ノ尋常小學校若クハ高等小學校又ハ尋常小學校ノ教科ト高等小學校ノ教科トヲ併置スル小學校ヲ設置スル場合ニ於テ通學ニ妨ケナク且女兒ノ員數一學校ヲ構成スルニ足ルヘシト認ムルトキハ女兒ノ爲メニ學校ヲ別ニスル事

一二箇以上ノ師範學校ヲ設置スル場合ニ於テ女生徒ノ員數一學校ヲ構成スルニ足ルヘシト認ムルトキハ男女ニ依リテ學校ヲ別ニスル事

女兒ニ須要ナル高等普通教育ヲ施ス爲メニ高等女學校設置ノ計畫ヲ怠ラサルヘキハ是亦緊要トスル所ナリ而シテ女子師範學校ヲ設置スル場合ニ於テハ土地ノ情況ニ依リ便宜高等女學校ヲ之ニ併置スルモ妨ケナシ

●文部省訓令第五號 (明治三十二年四月十三日)

有租地ヲ公立學校地ト爲シ又ハ其校地ニ變更ヲ生シタルトキ
稅務署へ通知方

北海道廳 府 縣

有租地ヲ公立學校地ト爲シタルトキハ其郡度該郡市町村字地番目段別及認可年月日等ヲ記シ圖面ヲ添へ所轄稅務署へ通知スヘシ
前項校地ニ變更ヲ生シタルトキ亦同シ

●文部省訓令第七號 (明治三十七年八月六日)

學校樹栽著手獎勵及實施督勵方

北海道廳 府 縣

學校樹栽ノコトタル教育上幾多ノ裨益アルノミナラス學校基本財産造成ノ一法タリ故ニ文部省ハ從來之ヲ獎勵シ地方當局者亦之ニ熱心ナル者アリシヲ以テ近年之レカ實施ヲナスモノ漸多キヲ加フルノ傾向アリ又時局ニ際シ二三ノ地方ニ於テ紀念學林ヲ設クルノ計畫ヲ立テタルカ如キ甚タ喜フヘキモノアリ然リト雖モ願ミテ統計ニ徵スル現ニ之ヲ實施セル市町村立小學ハ尙二千餘校ニ過キス其ノ發達ノ遅々タルハ遺憾トスル所ナリ地方長官ハ宜シク管内學校ノ狀況ヲ調査シ既ニ樹栽ニ著手セルモノハ益々之ヲ獎勵シ其ノ未タ著手セサルモノニハ樹栽地ノ廣狹ニ拘ハララス樹數ノ多少ヲ問ハス實施ヲ督勵シ以テ其ノ効果ヲ收メンコトヲ努ムヘシ

●文部省訓令第十號 (明治三十二年七月一日)

改正條約實施ニ關シ學校生徒教養方

北海道廳 府 縣

本大臣就任ノ初ヨリ學校ノ事態ニ關シ衷心竊ニ憂慮スル所アリ是ヲ以テ本年四月地方長官召集ノ機ニ際シ本大臣ハ學校ノ風紀ヲ正シ規律ヲ嚴ニスヘキコトヲ反覆披陳シテ其ノ注意ヲ促シタリ

今ヤ改正條約實施ノ期僅ニ數日ヲ出テサラムトシ茲ニ新ニ詔勅ヲ下シタマフ蓋將來外國人ノ内地ニ來住居スル者滋々多キヲ致スヘシ此ノ時ニ際シ若シ學校生徒ヲシテ放漫自ラ制セス或ハ禮節ヲ藐視シ或ハ粗野ノ行爲ヲ敢テシ奇矯是レ喜フ如キ陋習ヲ長セシムルコトアラハ獨リ教育上ノ失體タルノミナラス延イテ國家ノ威信ヲ失墜シ其ノ體面ヲ汚瀆スルコトナキヲ保セス宜シク恭ミテ教旨ヲ奉體シ此ノ際尙一層學校長及教員ヲ督勵シ能ク戒慎ヲ加ヘ篤ク本分ヲ殫シ以テ生徒教養ノ方ヲ誤ルコトナキヲ期セシムルニ努ムヘシ

●文部省訓令第十二號 (明治三十二年八月三日)

官立公立學校及學科課程ニ關シ法令ノ規定アル學校ニ於テ宗教上ノ教育儀式施行禁止

北海道廳 府 縣
文部省直轄學校

一般ノ教育ヲシテ宗教ノ外ニ特立セシムルハ學政上最必要トス依テ官立公立學校及學科課程ニ關シ法令ノ規定アル學校ニ於テハ課程外タリトモ宗教上ノ教育ヲ施シ又

ハ宗教上ノ儀式ヲ行フコトヲ許サルヘシ

●文部省訓令第十四號 (明治三十二年十二月二十七日)

私立學校設立認可ニ關シ修業年限等報告方

北海道廳 府 縣

私立學校令第二條ニ依リ私立學校ノ設立ヲ認可シタルトキハ其修業年限、學科課程

及生徒入學資格ヲ報告スヘシ其變更ヲ認可シタルトキ亦同シ

但小學校、盲啞學校及小學校ニ類スル各種學校ニ關シテハ此ノ限ニアラス

●文部省訓令第五號 (明治三十三年三月廿六日)

學校生徒喫煙ニ關スル件

北海道廳 府 縣
文部省直轄學校

學校生徒ノ喫煙ニ關シテハ小學校ニ在リテハ明治二十七年文部省訓令第六號ヲ以テ生徒ノ喫煙スルコト及煙器ヲ夾帶スルヲ禁スヘキ旨訓令シ中學校等ニ在リテモ實際喫煙ヲ禁止セルモノ多シ蓋シ學校生徒ノ喫煙ハ衛生上有害ナルノミナラス風紀ニ關スルコト少ナカラス殊ニ此際未成年者喫煙禁止法ノ發布アリタルニ就キテハ小學校中學校師範學校及等位ノ之ニ準スヘキ學校ニ在リテハ取締上其ノ生徒ノ成年以下ナルト以上ナルト學校ノ内外トナ問ハス喫煙シ及煙草煙器ヲ夾帶スルヲ禁止スベ

シ其ノ他ノ學校ニ在リテモ特ニ注意ヲ加ヘ法律違反ノ者ナカラシメムヲ期スヘシ

(參照)

法律第三十三號 (明治三十三年三月六日)

未成年者喫煙禁止法

第一條 未成年者ハ煙草ヲ喫スルコトヲ得ス

第二條 前條ニ違反シタル者アルトキハ行政ノ處分ヲ以テ喫煙ノ爲メニ所持スル煙草及器具ヲ沒收ス

第三條 未成年者ニ對シテ親權ヲ行フ者情ヲ知リテ其親權ヲ行フ者ニ代リテ未成年者ヲ監督スル者亦前

項ニ依リテ處斷ス

第四條 未成年者ニ其ノ自用ニ供スルヲ知リテ煙草又ハ器具ヲ販賣シタル者ハ拾圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●文部省訓令第十號

(明治三十三年八月二十二日)

小學校令改正ノ要旨及其施行上ノ注意要項

府

縣

(沖繩縣ヲ除ク)

今般勅令第三百四十四號ヲ以テ小學校令ヲ改正發布セラレ文部省令第十四號ヲ以テ小學校令施行規則ヲ發布セリ蓋從來ノ小學校令ハ明治二十三年ノ制定ニ係リ其ノ施行以來年ヲ閱スルコト已ニ十餘年之ヲ其ノ實施ノ蹟ニ徴シ時勢ノ進歩ニ考フルニ改正ヲ要スルモノ少カラス是レ今回小學校令ノ改正發布アルニ至リ又施行規則ヲ發布シテ其ノ改正ノ旨趣ニ依リ之カ施行ニ要スル諸般ノ事項ヲ總括規定セル所以ナリ本大

臣ハ府縣知事カ能ク改正小學校令ノ旨趣ヲ體シ施行規則ニ遵ヒ以テ小學教育ノ施設ヲシテ國運ノ進歩ニ伴ヒ時宜ニ適應セシメンコトヲ望ム爲メ左ニ小學校令改正ノ要旨ト其ノ施行上特ニ注意ヲ要スルノ點ヲ舉示セン

小學校ノ教科目ニ於テハ從來其ノ數或ハ多キニ過キ兒童ノ負擔重キニ拘ハラス其ノ得ル所ノ智識ハ却テ散漫ニ失シ確實ナルヲ得サルノ憂アリ故ニ教科目ノ數ハ成ヘク之ヲ減少シ兒童心身ノ發育ニ應シテ適切ノ教授ヲ爲シ力ヲ必須ノ科目ニ集注セシメ務メテ日常生活ノ用ニ資セシメンコトヲ期シ從來ノ加ヘ得ヘキ科目ヲ減シ、除キ得ヘキ科目ヲ増シ、讀書、作文、習字ノ如キ之ヲ合セテ國語ノ一科目トセラレタリ而シテ其ノ教授ハ元相關聯スルモノナルヲ以テ務メテ分離スルノ弊ヲ避ケ相待テ兒童學智ノ智識ヲ完實ナラシメンコトヲ要ス故ニ其ノ讀ミ方、綴リ方、書キ方ノ教授時間ノ如キハ各々其ノ主トスル所ニ依リ區別シテ教授スルコトヲ得ルモ彼此相資シテ適宜ノ方法ヲ取ルヘシ又小學校ニ於テ教授ニ用フル假名ノ字牒并ニ字音假名遣ノ例ヲ示シ以テ兒童ヲシテ簡便ニ實際ノ應用ニ資シ易カラシメンコトヲ期シ徒ニ復雜繁密ノコトノ爲メニ過度ノ心力ヲ費スコトナカラシメ且尋常小學校ニ於テ教授ニ用フル漢字ノ數ヲ凡ソ千二百字内外ニ於テ選用スルコト、セリ從來小學校ニ於ケル教授ノ實況ヲ視ルニ專ラ力ヲ文字ノ教授ニ盡シテ德育上智育上肝要ナル事項ニ及フ能ハサルノ憾アリ而モ猶文字ノ智識確實ヲ闕キ自在ニ之ガ應用ヲ爲スヲ得ス蓋學習スル文字ノ數ヲ減ジ日常須知ノモノニ限ルトキハ之ニ練熟セシメ易ク從テ應用上ニ於ケル利

益却テ多クシテ必要ナル智識技能ヲ得シムルニ於テ亦敢テ不便ヲ感スルコトナキヲ得ン是レ今回尋常小學校ニ於テ教授ニ用フル漢字ノ大體ノ範圍ヲ示シタル所以ナリ又小學校ニ於テ各學年ノ課程ノ修了若クハ全教科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定メ試驗ノ方法ニ依ラサルコト、セリ是レ心身ノ發育未タ十分ナラサル兒童ヲシテ競争心ニ驅ラレ試験前一時ニ過度ノ勉強ヲ爲シ是レガ爲メニ往々其ノ心身ノ發育ヲ害スルノミナラス試験ノ爲メニ勉強スルノ陋習ヲ馴致スルヲ避ケンカ爲メナリ又小學校ニ於ケル每週教授時間數ヲ減シ從來其制限尋常小學校ニ在リテハ三十時ナリヲシテ二十八時トシ高等小學校ニ在リテハ三十六時ナリシヲ三十時トセリ是レ小學校ニ於ケル教授ヲシテ特ニ兒童心身ノ發達ニ應セシメンコトヲ期スルカ爲メナリ其ノ他教則中ニ於ケル數多ノ改正ハ從來ノ實驗ニ徵シテ小學教育ノ目的ヲ全カラシメンカ爲メニ外ナラス

修業年限ニ於テハ義務教育ノ年限即チ尋常小學校ノ修業年限ハ三年若クハ四年ニシテ此ノ年限内ニ於テ小學校ノ本旨トスル道德教育及國民教育ノ基礎并ニ生活ニ必須ナル普通ノ智識技能ヲ授クルハ蓋シ爲シ難キ所ナリ之ヲ歐洲諸國ニ於ケル義務教育ノ年限ニ比スルニ短キコト三四年ナルノミナラス言語文字ノ學習ニ於テ我ハ彼ニ比シ數倍ノ困難アリ故ニ尋常小學校ノ修業年限ハ之ヲ延長スルノ要アルニ似タレトモ國度民情ニ考ヘ義務教育普及ノ實況ヲ察スレハ未タ遽カニ四年以上ニ延長スルヲ許サ、ル事情アリ是ヲ以テ從來三年ナリシモノヲ四年ニ改正スルニ止メラレタリ是レ

義務教育ヲシテ今日ノ國度民情ニ適合シ且其ノ普及上支障少カラシメンコトヲ期スルカ爲メナリ

修業年限ノ延長ハ直ニ之ヲ今日ニ實行シ難キモ將來ノ爲メニ豫メ其ノ準備ヲ爲スハ當ニ務ムヘキ所ナリ從來修業年限ニ長短アルニ拘ハラズ同一ノ教科ヲ授クルノ制ナリシヲ改正シテ高等小學校ニ於テハ修業年限ニ應ジテ其ノ教科目ヲ斟酌スルコトヲ許シタリ故ニ二年ノ高等小學校ノ教科目ヲシテ成ルヘク尋常小學校ノ教科目ト相聯絡セシメンコトヲ期シ以テ尋常小學校ニ二年ノ高等小學校ヲ併置スルノ便ヲ圖レリ從來補習科ノ名義ヲ以テ高等小學校ニ類似セル教科ヲ置キタル場處ノ如キハ成ルヘク之ヲ二年程度ノ高等小學校ノ編制ニ改メテ尋常小學校ニ併置スルノ方法ヲ講スヘシ而シテ高等小學校ヲ増設スルニ當リテハ資力ヲ量ラスシテ濫ニ修業年限ノ長キモノヲ設ケンヨリモ寧ロ二年程度ノモノ、設置ヲ獎勵スヘシ

尋常小學校ニ高等小學校ヲ併置スルニ至ルハ希望スル所ナレトモ町村ノ資力或ハ其ノ併置ニ堪ヘサルモノ亦少カラサルヘシ此ノ如キ場處ニ於テハ補習科ヲ設クルヲ以テ便利多シトス從來設クル所ノ補習科ハ多クハ通常教授時間内ニ之ヲ設ケ是カ爲メニ別ニ教室ヲ要シ教員ヲ置クニ至レリ此ノ如キハ補習科ノ本旨ニ稱フモノニアラス元來補習科ハ通常教授時間内ニ於テハ學習スルコト能ハサル兒童ヲシテ既修ノ學科ヲ練習補充セシムルヲ旨トス故ニ補習科ヲ設置スルニハ或ハ夜間ニ於テシ或ハ日曜日ニ於テシ或ハ季節ヲ選ヒテ教授シ既設ノ教室ヲ之ニ利用シ正科ヲ擔任スル教員ヲ

シテ之ヲ兼擔セシムル等土地ノ情況ヲ斟酌シ専ラ便宜ヲ旨トスヘキナリ此ノ如キ方法ヲ以テ補習科ヲ設クルトキハ其ノ要スル費用ハ誠ニ少額ヲ以テ辨スルヲ得ヘシ而シテ小學校ヲ卒リテ後直ニ職業ニ從事スル者ヲシテ其ノ學習セル所チ一層實用ニ適應スルニ足ルノ練習補充ヲ爲サシムル爲メ補習科ヲ設クルハ最モ必要トスル所ナリ故ニ補習科ハ將來意ヲ用ヒテ其ノ増設ヲ獎勵スヘシ

就學ニ於テハ之ニ關スル規定ヲ明確ニシテ義務教育ノ施行上不便ナカラシメンコトヲ期セラレタリ近年各地方ニ於テ學齡兒童ノ調査ヲ精確ニシ就學ノ督促ニ務ムルカ如キモ自今一層義務教育ノ普及ヲ圖リ邑ニ不學ノ戶ナク家ニ不學ノ徒ナカラシメ以テ國基ノ鞏固ヲ圖ルヘキナリ而シテ改正小學校令中雇傭ニ依リテ學齡兒童ノ就學ヲ妨クルヲ得サルコトヲ規定セラレタルハ苟モ未タ尋常小學校ノ教科ヲ卒ラサル兒童ハ假令貧家ノ子弟ナリト雖モ之ヲ雇傭セサシムルノ旨意ニアラス寧ロ雇傭主ヲシテ簡易便宜ノ方法ニ依リ其ノ雇傭スル兒童ニ教育ヲ施サシメントスルノ精神ニ外ナラス

授業料ニ於テ從來ノ小學校令ノ規定ハ之ヲ徵收スルヲ本躰トシ唯各個人ニ對シテノニ減免ノ道ヲ存シタリシカ明治二十六年ニ至リ勅令第三十四號ヲ以テ學校基本財産等ノ收入アルトキハ府縣知事ノ許可ヲ受ケテ尋常小學校ニ於テハ之ヲ徵收セサルヲ得ルコト、セラレタリ然ルニ爾來時勢ノ進歩ニ察シ且義務教育ノ性質ニ考フルニ尋常小學校ノ授業料ヲ徵收セサルヲ本躰ト定ムルハ當然ノコトニ屬スルヲ以テ改正令

ニ於テハ特別ノ事情アリ府縣知事ノ認可ヲ受ケテ徵收スル場合ヲ除キ尋常小學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スルコトヲ得スト規定セラレタリ蓋就學ノ督促ヲ爲シ義務教育ノ普及ヲ圖ランカ爲メニハ授業料ヲ徵收セサルハ其ノ方法ノ一タラサルヲ得ス然レトモ授業料ノ收入ヲ以テ學校維持費ノ重要ナル財源ト爲シタル地方ニ在リテ遊ニ之ヲ廢止セントシテ其ノ經濟上ニ大ナル影響ヲ生スルカ如キハ亦深ク戒メサルヘカラサル所ナリ宜ク土地ノ情況ヲ察シ緩急ヲ量リテ適當ノ施設ヲ爲シ小學教育ノ實効ヲ擧クルヲ以テ旨トナサ、ルヘカラス

小學校圖書審查委員會ニ於テハ其ノ組織ヲ改正シ從來加ヘタル所ノ府縣參事會員及小學校教員ヲ除キ新ニ府縣書記官、府縣立高等女學校校長及郡視學ヲ加フルコト、セラレタリ蓋府縣參事會員ハ府縣ノ經濟ノ情況ニ通スルヲ以テ圖書審查ノ際成ルヘク府縣經驗ノ實況ニ伴ハシムル爲メ從來ハ之ヲ加ヘタリシモ多年ノ經驗ニ依リ今日ニ至リテハ最早參事會員ヲ加フルノ必要ナキ以テ之ヲ除カレタリ又從來小學校教員ヲ加ヘタリシハ圖書審查ノ際小學校ノ學科程度ニ適セシムルヲ要スルカ爲メナリシモ郡、府縣ニ視學ヲ置カレ之ヲ審查委員會ニ加ヘラレタル今日ニ於テハ最早教授ニ餘暇少キ小學校教員ヲ強テ加フルノ必要ナキニ至レルヲ以テ之ヲ除カレタリ而シテ更ニ府縣書記官ヲ加ヘラレタルハ之ヲシテ審查委員會ノ委員長ニ充テ審查會ヲ統轄セシムルノ必要アルヲ以テナリ高等女學校校長及郡視學ヲ加ヘラレタルハ師範學校長、中學校長及府縣視學等ト同様ノ職務上關係アルヲ以テナリ又施行規則ニ於テハ審查

ノ旨趣ヲ明ニシ學校ノ種類、男女ノ區別又ハ學校所在地ノ情況ニ依リテ各別ニ適切ナル圖書ヲ選定スルコトヲ得シメ全府縣ヲ通シテ同一種類ノ圖書ヲ二種以上併用スルカ如キコトナカラシメントス然レトモ市街地ト村落トノ如キ或ハ山間ト海邊トノ如キハ成ルヘク各々其ノ土地ノ情況ニ適切ナルモノヲ選ビテ之ヲ用フルヲ可トス又府縣知事ニ於テ採定シタル圖書ハ之ヲ使用セントスル學年ノ開始ヨリ少クモ九十日以前ニ其ノ採定シタル圖書ニ關スル必要ノ事項ヲ公布セシムルコト、シテ學年開始ニ至リ採定シタル圖書ノ供給ヲ闕キ教授ニ支障ヲ來スカ如キ憂ナカラシメントナ期シタリ

小學校ノ教員ニ於テハ正准教員ノ外代用教員ヲ認メラレタリ是レ實際ノ情況ニ顧ミテ今日ノ時宜ニ應セラレタルニ外ナラス現在資格アル正教員ノ不足數夥シキ際ニ當リテハ代用教員即チ從來ノ雇員ヲ採用シテ之ヲ補充セサルヘカラス是レ今日ニ在リテハ己ムコトヲ得サル所ナリ而シテ又學校編制ノ規定ニ於テモ最モ教員ノ配置ニ注意シ小學校ニ於テハ單級小學校ト雖モ必ズ正教員置クヲ本體トシ多級小學校ニ於テハ正教員ヲ得難キトキハ必ズシモ學級毎ニ正教員ヲ置カスニ學級毎ニ一人ノ割合ヲ以テ之ヲ置クヲ得ルコト、シ以テ平均ニ資格アル正教員ノ配置ヲ爲スヲ得シメタリ故ニ能ク注意シテ獨リ都會ノ地ニ在ル小學校ニ資格アル教員集注シテ僻陬ノ地ニ在ル小學校ハ資格ナキ者ノミヲ以テ充タサル、カ如キ弊ナカラシムコトヲ要ス

改正小學校令中以上ニ示ス所ノ外猶從來ノ實驗ニ徵シ時勢ノ進歩ニ考ヘ必要ノ改正

ヲ施サレタルモノ多シ然レトモ以上示ス所ノ如キハ其ノ最モ主要ナルモノナリ殊ニ改正小學校令ニ於テハ意ヲ用ヒテ從來ノ施設ヲ改造スルノ方法ヲ避ケ之ヲ補綴改善スルノ方針ヲ取ラレタリ蓋往々改正ニ伴フ通弊タル從前ノ施設ヲシテ無効ニ歸セシメ經濟上大ナル變動ヲ生スルニ鑑ミタルナリ而シテ其施行上ノ手續ノ如キハ之ヲ從來ノ經驗ニ徵シ務メテ簡便ニ從ハンコトヲ期セリ

小學校教育ノ事タル其ノ實効ヲ奏セント欲スレハ單ニ法規ノ整備ニノミ賴ルコトヲ得ス必スヤ小學校教員ニ其ノ人ヲ得學事ノ監督其ノ宜キヲ得サルヘカラス而シテ小學校教員ニ其ノ人ヲ得ント欲スレハ之ヲ優待スルノ道ヲ講スルト之ヲ鼓舞獎勵スルノ法ヲ設クルヲ要ス近年市町村ハ概ネ教員ヲ優遇セントスルノ狀アリ政府モ亦年功加俸ノ制ヲ改メ特別加俸ノ制ヲ新設シ且教育資金ノ一部ヲ以テ教員獎勵ノ費ニ充ツルコトヲ許シタリ府縣知事ニ於テハ能ク教員ノ選任ニ注意シ有能ヲ獎メ有功ヲ推シ小學校教員ヲシテ各々樂ミテ其ノ職ニ勵精セシメンコトヲ期圖スヘシ又學事ノ監督ニ關シテハ曩ニ地方官官制ノ改正ニ依リ郡府縣ニ視學ノ官ヲ置カレタルヲ以テ學事監督ノ機關畧々備ハリタリ今ヤ小學校令ノ發布セラレ又小學校令施行規則ヲ發布シタルニ依リ府縣知事ハ能ク其ノ旨趣ヲ體認スルト共ニ深ク小學校教員ノ選任ト學事ノ監督トニ注意シ以テ小學校ノ教育ヲシテ益々實用ニ適セシメ國民教育ノ實効ヲ舉クルニ於テ遺算ナカラシムコトヲ務ムヘシ

●文部省訓令第一號 (明治三十四年二月十二日)

學事年報取調條項及諸表樣式

北海道廳 府 縣

學事年報取調條項及諸表樣式別冊ノ通定ム

明治二十八年文部省訓令第三號ハ廢止ス

(參照)

明治二十八年文部省訓令第三號ハ學事年報取調條項及諸表樣式改正ノ件ナリ

(別冊)

學事年報取調條項

- 一 管内學事ノ狀況
- 一 學事施設ノ要領及學事ノ現狀ヲ記述スヘシ
- 一 學齡兒童
- 一 就學ニ關スル規則施行ノ狀況ヲ記述スヘシ
- 一 小學校
- 一 學校ノ設備、編制、修業年限及補習科ニ關スル狀況、公立學校ノ配置適否ノ狀況、代用私立學校ノ狀況、教員ノ需要供給及待遇ノ狀況ヲ記述スヘシ
- 一 幼稚園
- 一 幼稚園ノ設備、幼兒保育ノ狀況ヲ記述スヘシ
- 一 盲啞學校

一 師範學校
學校ノ設備、授業ノ狀況、生徒卒業後ノ狀況ヲ記述スヘシ

學校ノ設備、教諭助教諭ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由、入學者生徒ノ種別、從前兄ノ半途退學者ニ關スル狀況、生徒卒業後ノ狀況、附屬小學校及小學校教員講習科等ノ狀況ヲ記述スヘシ

一 中學校

學校ノ設備、有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由、入學者從前ノ教育、年半途退學者人員補習科ニ關スル狀況ヲ記述スヘシ

一 高等女學校

學校ノ設備、有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由、入學者從前ノ教育、年半途退學者ニ關スル狀況、技藝專修科、補習科、專攻科ノ狀況ヲ記述スヘシ

一 專門學校

一 實業學校

學校ノ設備、入學者從前ノ教育、年半途退學者人員ニ關スル狀況ヲ記述シ又實業學校ニ在リテハ學校ト實業トノ關係ヲ記述スヘシ

一 各種學校

學校ノ設備、授業ノ狀況ヲ記述スヘシ

一 圖書館

一 學校衛生
閱覽人ノ狀況、閱覽圖書ノ種類及其ノ閱覽人ヲ各別ニ記述スヘシ

學校清潔方法施行ノ狀況、學校醫ノ視察及生徒又ハ兒童ノ身體検査ノ狀況、傳染病豫防及消毒ニ關スル施行ノ狀況、生徒又ハ兒童ノ健康ノ狀況ヲ學校ノ種類ニ依リ區別シテ記述スヘシ

一 教員檢定及講習

小學校教員檢定及講習ノ狀況ヲ記述スヘシ

一 教科用圖書

教科用圖書ノ適否、需要供給ノ關係、其ノ他教科用圖書ニ係ル狀況ヲ記述スヘシ

一 府縣會、郡會及市町村會

學事ニ係ル議事ノ概況ヲ記述スヘシ

一 教育會

組織並ニ事業ノ概況ヲ記述スヘシ

一 學事關係職員及學事視察

學事關係職員ノ狀況等ヲ記述シ又應、府縣視學官、同視學、郡視學等ノ學事ヲ視察シタル狀況ヲ記述スヘシ

一 學事獎勵

學事獎勵ノ狀況ヲ記述スヘシ
 一 將來學事施設上須要ノ件
 以上ノ外學事ニ關シ特ニ申報スヘキ事項アルトキハ適宜記述スヘシ
 右諸項ハ每統計年度ノ調査ニ依リ翌年度六月三十日限申報スヘシ
 一 公學費及資産
 公立學校等ノ歲出入、學校基本財産及其ノ積立ノ方法其ノ他學校等ノ維持ニ係
 ル狀況ヲ記述スヘシ
 一 教育資金
 教育資金使途ノ狀況ヲ記述スヘシ
 一 市町村立小學校教員加俸資金
 市町村立小學校教員加俸令ニ依リ加俸ヲ給與シタル狀況ヲ記述スヘシ
 以上ノ外學事經濟上ニ關シ特ニ申報スヘキ事項アルトキハ適宜記述スヘシ
 右諸項ハ每統計年度ノ調査ニ依リ翌年度十一月三十日限申報スヘシ
 本取調條項中表式アルモノハ表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由ヲ各別ニ記述スヘシ
 本令ニ統計年度トアルハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテヲ云フ
 明治 年度 管内學事年報甲號表

一 第一學事統計表

學 齡												種 別
既ニ就學ノ始期ニ達シ						不 就 學						
尋常小學校ノ教 科ヲ修ムル者				合 計		猶 疾 病		豫 疾 病		免 疾 病		
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	
												何市
												何市
												何市
												何市
												何市
												町
												村
												計

幼稚園			種別	日々欠席児童平均數								數	
稚	幼	保		私立				市町村立					
兒	女	男	姆	高等		尋常		高等		尋常		高等	
				女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
				道廳府縣立									
				郡立									
				市立									
				町村立									
				私立									
				計									

校

均平童兒席出々日				業者									
私立		市町村立		補習		高等		高等		補習			
尋常		高等		尋常		私立		市町村立		私立		市町村立	
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男

備考	校種各々類々校ニ小學						校							
	卒業者		生徒		教員		業者		技藝科		盲啞生			
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
	校		校		校		校		校		校		校	

學		啞						盲				園	
卒業		生徒		教員		學		保		青		滿	
通普		科藝技		科通普		盲		啞		盲		期	
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男

二 第二學事統計表

種 別											校	學生徒ノミノ 學校	女生徒ノミノ 學校	男女生徒ノ學 校	計
學 徒		生			員		教		學						
教員講習科	豫備科	簡易科	本科	其他ノ教員	教諭助教諭	女	男	女	男						
女	男	女	男	男	女	男	女	男	女	男					

師

種 別													
學 徒				生			員		教		學		
教員講習科	豫備科	簡易科	本科	其他ノ教員	教諭助教諭	女	男	女	男	女	男	女	男
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男

學															
屬												附			
童				兒				員教 / 他其				導			
高等補習		高等		尋常補習		尋常		高等		尋常		高等		尋常	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女

範																	
者												業		卒		者	
訓				學	保 姆 講 習 科	教 員 講 習 科		豫 備 科		簡 易 科	本 科		保 姆 講 習 科				
員教正科本		尋常				女	男	女	男		女	男	女	男	女	男	
高	等	女	男	女	男					女							男

訓令

門														
文				學 濟 經 學 律 法 學 治 政										
生 徒	教 員		學 校	卒 業 者		入 學 者		入 學 志 願 者		生 徒		教 員		學 校
	男	女		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	

二三三

訓令

專												校			
學 藥 學 醫										者 業 卒					
卒 業 者	入 學 者		入 學 志 願 者		生 徒		教 員		學 校	專 科	補 習 科	技 藝 專 修 科	本 科		
	女	男	女	男	女	男	女	男							

二三三

學 校													
學 校	其 他										學 校		
	卒 業 者		入 學 者		入 學 志 願 者		生 徒		教 員		學 校	卒 業 者	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男		女	男

學 校															
入 學 者	理										學 校				
	入 學 志 願 者		生 徒		教 員		學 校	卒 業 者		入 學 者		入 學 志 願 者			
	女	男	女	男	女	男		女	男	女	男	女	男	女	

訓令

業													
志學入							徒						
種甲				種乙				種					
補習科		別科		豫科		本科		別科		本科		專攷科	
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男

三二九

訓令

農														
生							教		學		者			
種甲											專攷科		別科	
補習科		別科		豫科		本科		員		校				
男	女	男	女	男	女	男	女	男	乙種	甲種	女	男	女	男

三二八

業 卒 者													
種 甲						種 乙							
專 攻 科		補 習 科		別 科		豫 科		本 科		別 科		本 科	
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男

業 入 者 願													
種 甲						種 乙							
專 攻 科		補 習 科		別 科		豫 科		本 科		別 科		本 科	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女

訓令

業																
者 願 志 學 入											徒					
乙		種 甲						種 乙								
本 科		專 修 科		專 修 科		豫 科		本 科		專 修 科		本 科				
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		

三三三

訓令

商															
生								教 員		學 校		者			
種 甲						種 乙				種 別 科		種 本 科			
專 修 科		專 修 科		豫 科		本 科		員		校		別 科		本 科	
男	女	男	女	男	女	男	女	女	男	乙種	甲種	女	男	女	男

三三三

學														
商				校										
甲	教	學	者											卒
			種				種				種			甲
			專修科		本科		專修科		專次科		豫科			
			女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
科	員	乙種	甲種											

學															
者															
本	科	種				種				種				種	
		專修科		本科		專修科		專次科		豫科		本科		專修科	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女

校 學 弟 徒											校							
卒業 者		入 學 者		入 學 志 願 者		生 徒		教 員		學 校	者 業 卒		者 業 卒					
											種 乙		種		種 乙		種	
											專 修 科	本 科	專 修 科	豫 科	專 修 科	本 科	專 修 科	豫 科
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	校	科	科	科	科				

學 船																					
甲		種 乙		種 甲		種 乙		種 甲		種 乙		種 甲		徒 生							
														種 乙		種		種 乙		種	
														本 修 科	專 修 科	本 修 科	豫 科	本 修 科	專 修 科	本 修 科	豫 科
科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科							

訓令

校												
補 習 學												
商		校 學 習 補 業 商				校 學 習 補 產 水						
教 員	學 校	卒 業 者		生 徒		教 員		學 生		教 員		
		女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	

二二九

訓令

業 實												
校 學 習 補 業 農						校 學 習 補 業 工						
學 校	卒 業 者		生 徒		教 員	學 校	卒 業 者		生 徒		教 員	
	女	男	女	男			女	男	女	男		

二三八

訓令

備考	圖書館				學校							
	閱覽人員	開館日數	圖書冊數		種類學	ノ各	其他	校		種類學		
			洋	和漢				卒業者	學生徒	卒業者	生徒	
					女	男	女	男	女	男	女	男

二四二

訓令

種 各													
學校ニ	高等女	學校	ニ類ス				中學校	校					
			ル各種		生	教員		卒業者	生徒	船			
教員	學	卒業者	生徒		教員		校	卒業者		生徒			
女	男	校	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女

二四〇

明治 年度 管内學事年報乙號表

一 學級別市町村立私立小學校表

種	別		尋常小學校		高等小學校				尋常高等小學校
	市町村立	私立	二年	三年	四年	五年	計限		
單級	市町村立	私立							
二級	市町村立	私立							
三級	市町村立	私立							
四級	市町村立	私立							
五級	市町村立	私立							
六級	市町村立	私立							

種	別		尋常小學校		高等小學校				尋常高等小學校
	市町村立	私立	二年	三年	四年	五年	計限		
七級	市町村立	私立							
八級	市町村立	私立							
九級	市町村立	私立							
十級	市町村立	私立							
十一級	市町村立	私立							
十二級	市町村立	私立							

備考	合		計		裁 縫 手 工
	私立	市町村立	私立	市町村立	

二 加設科目ヲ課スル市町村立私立小學校表

種 別	裁 縫 手 工		專 常 小 學 校	正 教 科 補 習 科 計	高 等 小 學 校	正 教 員 補 習 科 計	合 計
	私立	市町村立					

手 工 農 業 商 業	農 業 商 業	手 工 商 業		手 工 農 業		商 業		農 業		手 工	
		私立	市町村立	私立	市町村立	私立	市町村立	私立	市町村立	私立	市町村立

額		俸												
十八圓		十六圓		十四圓		十三圓		十二圓		十一圓		十圓		
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女

訓令

二四七

備考	合計	英語		別	月											
		私立	市町村立		本科正教員 准教員	高等		高等		高等						
		私立	市町村立			本科正教員 准教員	高等	高等	高等	高等	高等					
九	八	七	六	男	女	男	女	男	女	男	女					

三 市町村立小學校教員俸給別表

訓令

二四六

訓令

最 多 月 額	員											
	合 計		七 十 五 圓		六 十 五 圓		六 十 圓		五 十 五 圓		五 十 圓	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
		円 銀 用										
		円 銀 用										
		円 銀 用										
		円 銀 用										
		円 銀 用										
		円 銀 用										

二四九

訓令

人	別															
	四 十 五 圓		四 十 圓		三 十 五 圓		三 十 圓		二 十 七 圓		二 十 四 圓		二 十 二 圓		二 十 圓	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女

二四八

備考	年度末月俸額總計		平均月額		最 寬 月 額	
	女	男	女	男	女	男

四 市町村立小學校授業料表

備考	高 等	尋 常	種 別 學 校	授業料多寡及平均			年度内三月一日ニ於テノ授業料月額總計	同上ニ對スル兒童總數	授業料免除兒童
				最多月額 円 銭 厘	最寡月額 円 銭 厘	平均月額 円 銭 厘			

五 公立中學校高等女學校專門學校實業學校生徒卒業後ノ狀況表

備考	合 計	死 亡 ノ 者	不 詳 ノ 者				何 々	高 等 學 校 ニ 入 シ ン 者	種 別	業 業 業 業 業
									中 學 校	

六 小學校教員檢定及免許狀授與人員表

種	別										檢	定	免許狀受領人員					
	小學校本科正教員		尋常小學校本科正教員		小學校專科正教員		計		小學校准教員					尋常小學校准教員				
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男				女	男			

備考	員					計
	女		男		計	
	女	男	女	男	計	

七 學齡兒童中盲啞者表

備考	種		別		計
	盲		啞		
	男	女	男	女	

八 小學校醫表 (第一)

備考																					
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

明治 年度 管内學事年報丙號表

一 公私立諸學校表

名稱	府縣郡市町村立			學科	修業年限	教員		生徒	卒業者	本年度	本校												
	府縣	郡	市町村			內國人	外國人					前年度迄	本年度	總額									
立/區別	立	立	立	立	立	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女

備考																							
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

二 公私立幼稚園表

名稱	府縣郡市町村立			創立年	保育年限	組數	保母	幼兒		本年度保	本年度經費總額	園長氏名
	府縣	郡	市町村					男	女			
立/區別	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立

備考

三 公私立圖書館表

名稱	府縣郡市町村立		創立年	圖書冊數	本年度開館日數	本年度閱覽人員	本年度閱覽料總額	本年度經費總額	館長氏名
	府縣	市町村							
立/區別	立	立	立	立	立	立	立	立	立

訓令

二五七

備考

右甲號乙號丙號表ハ每統計年度ノ調査ニ依リ翌年度六月三十日限差出スヘシ
明治 年度 管内學事年報丁號表

種別	小學校		師範中學校	高等專門學校	實業學校		各種幼稚園圖書	其他總計
	尋常高等	高等			工業、農業、商業、船舶學校	甲種、乙種商業學校		
	町	郡	町	町	町	町	町	町
學校長圓長								
館助教諭								
訓導主任給								
舍監俸給								
書記俸給								
准教員俸給								
代用教員俸給								

一 公學費表

收		合計	其他ノ諸費	修繕費	新營費	消耗品費	器具費	圖書器械標本費	借地借家費	生徒給費	雜給	旅費	保壽俸給
閱覽料	授業料												

備考	產財本基校學		器 具 價	器 械 標 本 價	圖 書 價	家 屋 價	附 屬 地 價	敷 地 價	家 屋 坪 數		
	金 額	土 地							其 他	教 場	
		價									坪數

備考	附屬地坪數	敷地坪數	種 別	入					寄 附 金		
				合 計	國 庫 補 助	府 縣 費 補 助	郡 費 補 助	雜 收 入			
				學校基本財 産ヨリ生ス ル收入							
			小 學 校								
			師範中學高等專門								
			女 學 校								
			實 業 學 校								
			工業、甲種 商業、甲種 農業、甲種 船舶學校								
			乙種農業 乙種商業 乙種船舶								
			徒弟實業補 學校習學校								
			各種幼稚圖書								
			其他總計								

入		收				種別	金額	公債		備考
		前年度繰越金	資金ヨリ生スル收入	府縣費補充	國庫補助金			債	計	
合	計	前年度繰越金	資金ヨリ生スル收入	府縣費補充	國庫補助金	種別	金額	公債	町村學校組合	
		預金	公債證書			金額		債		

出		種別	金額	備考
合	計			
合	計	翌年度繰越金	特別加俸	
		預金	公債證書	
		國庫補助法第六條及加俸令第二條ニ依ル加俸	特別加俸	

五 市町村立小學校教員加俸資金收支表

訓令

二六三

貸件金額					種別	金額	備考
町	村	町	市	組合			
町	村	町	市	組合	種別	金額	

名		備考
府縣郡	市町村	
授業料	保費料	
寄附金	閱覽料	
基本財	生スル收入	
補助	國庫府縣費郡費	
其他學校	幼稚園圖書館ニ關スル收入	
合計	經常費臨時費合計	
入		
出		

三 公立諸學校幼稚園圖書館收支表

訓令

二六二

備考	種別		計		種別		計	
	府縣立師範學校	町村納金	府縣立師範學校職員納金	町村納金	府縣立師範學校	退職給與金	金額人員	
	府縣立師範學校		府縣立師範學校		府縣立師範學校			
	公立中學校		公立中學校		公立中學校			
	公立高等女學校		公立高等女學校		公立高等女學校			
	公立專門學校		公立專門學校		公立專門學校			
	公立實業學校		公立實業學校		公立實業學校			
	其他ノ公立學校		其他ノ公立學校		其他ノ公立學校			
	合計		合計		合計			

八 府縣立師範學校公立學校職員國庫納金及公費支出表

右丁號表ハ毎統計年度ノ調査ニ依リ翌年度十一月三十日限差出スヘシ
 學事年報諸表様式說明
 甲號

一 第一學事統計表

學齡兒童

學齡兒童ハ本籍ト寄留トヲ問ハズ現任人中年度末ニ於テ年齢六歳一月ヨリ滿十四歳マテノ兒童ノ數ヲ掲クヘシ但年齢八月ヲ以テ計算スヘシ例セハ明治三十三年度末調査ニ於テハ明治二十年四月生ヨリ同二十八年三月マテノ人員ヲ掲クルモノトス
 既ニ就學ノ始期ニ達シタル者ハ學齡兒童中其ノ年度内四月ニ於テ六歳一月以上ノ兒童ノ數ヲ掲クヘシ例セハ明治三十三年度末調査ニ於テハ明治二十年四月生ヨリ同二十七年四月生マテノ現員ヲ掲クルモノトス
 不就學者中癩癩、白痴、不具癱疾、病弱及發育不完全ノ者ハ疾病ノ欄ニ掲クヘシ
 小學校令第十二條ニ依リ義務免除ヲ受ケタル町村ニ居住スル兒童ニシテ不就學ノ者ハ免除ノ部其ノ他ノ欄ニ掲クヘシ
 未タ就學ノ始期ニ達セサル者ハ學齡兒童中其ノ年度内四月ニ於テ未タ六歳一月ニ達セサリ者シノ現員ヲ掲クヘシ例セハ明治三十三年度末調査ニ於テハ明治二十七年五月生ヨリ同二十八年三月マテノ現員ヲ掲クルモノトス
 就學歩合ノ計算ハ單位以下二位ニ止メ四捨五入スヘシ

小學校

學校ハ年度末現在ノ數ヲ掲ケ分教場アルトキハ尋常小學校若ハ高等小學校ノ全科ヲ置クモノト其ノ一部ヲ置クモノトヲ區別シ適宜ノ符號ヲ付シ置クヘシ又補習科ヲ置クモノハ補ノ字ヲ付シ私立小學校中代用ニ係ルモノハ代ノ字ヲ付シ區別シテ之ヲ掲クヘシ其ノ教員、兒童、入學兒童、卒業者亦同シ
 小學校令施行規則第三十四條ニ依ル學校ハ其ノ設立ノ區別、本校、分教場ヲ區別シ各其ノ數ヲ備考ノ欄ニ掲ク

學級ハ年度内三月一日ノ現在數ヲ掲クヘシ
 教員ハ年度末ノ人員ハ休職者ヲ除ク
 數ノ多キ方ニ掲ケ其ノ時數同シキトキハ高等ノ方ニ掲クヘシ市町村立小學校教員ニシテ他ヨリ兼ヌル者ハ朱
 書ヲ以テ掲クヘシ又代用教員中小學校教員免許狀ヲ有スル者アルトキハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘ
 シ
 兒童ハ學籍ニ在ル者ニシテ年度内四月一日ヨリ三月一日ニ至ル間全ク出席セサル者ヲ除キ年度内三月一日ノ
 現員ヲ掲クヘシ
 入學兒童ハ年度内ニ始メテ第一學年ニ入學シタル者ノ總數ヲ掲クヘシ
 卒業者ハ年度内ニ卒業シタル者ノ總數ヲ掲クヘシ
 兒童、入學兒童、卒業者ノ中外國人ニ係ル者ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ
 日々出席兒童平均數ハ年度内ニ於ケル日々ノ出席兒童數ヲ通算シ年度内ニ於ケル總教授日數ヲ以テ除シタル
 數ヲ掲クヘシ但補習科ニ係ルモノハ之ヲ除クヘシ又計算ハ單位以下二位ニ止メ四捨五入スヘシ
 日々缺兒童平均數ハ年度内ニ於ケル日々ノ缺兒童數ヲ通算シ年度内ニ於ケル總教授日數ヲ以テ除シタル數
 ヲ掲クヘシ但補習科ニ係ルモノハ之ヲ除クヘシ又計算ハ單位以下二位ニ止メ四捨五入スヘシ

幼稚園

園、保姆、幼兒、保育滿期ハ總テ小學校ノ例ニ準シテ掲クヘシ

盲啞學校

學校、教員、生徒、卒業者ハ總テ小學校ノ例ニ準シテ掲クヘシ但生徒中普通及技藝ノ兩科ヲ修ムル者ハ主ナル
 一方ニ於テ適宜ノ符號ヲ付シテ掲クヘシ卒業者亦同シ

小學校ニ類スル各種學校

小學校ニ類スル各種學校ハ學校ノ目的及學科程度等小學校ニ準スヘキモノヲ掲ケ學校、教員、生徒、卒業者ハ
 小學校ノ例ニ準シテ掲クヘシ

第一學事統計表中學齡兒童及小學校ニ係ルモノハ市ニ在リテハ各市ニ區別シ町村ニ在リテハ各々合算シテ掲
 クヘシ但町村組合、町村學校組合又ハ其ノ區ニ於テ設置スル小學校ニ係ルモノハ其ノ學校ノ所在地ニ依リ町
 又ハ村ノ欄ニ掲クヘシ
 北海道及沖繩縣ニ於ケル區ハ市ニ町村等ハ町村ニ準シテ各欄ニ掲クヘシ以下各表亦同シ

第二學事統計表

師範學校

學校ハ本科生徒ノ男女別ニ依リ年度末現在ノ數ヲ教員ハ年度末ノ人員休職者ヲ掲ケ又教諭助教諭ニアラサル
 教員中主トシテ附屬小學校ノ教授ヲ擔當スル者アルトキハ本校ニ計入セシメテ附屬小學校教員ノ部ニ掲クヘ
 シ又教員中其ノ學校職員若ハ他ヨリ兼ヌル者アルトキハ朱書ヲ以テ掲クヘシ
 其ノ他ノ教員中師範學校教員免許狀ヲ有スル者アルトキハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ
 生徒ハ年度内三月一日ノ現員ヲ掲ケ入學志願者ハ其ノ年度ニ於テ入學セシムル爲行ヒタル第一學年生徒募集
 ニ應シタル者ノ數ヲ掲ケ入學者ハ年度内ニ第一學年ニ入學シタル者ノ數ヲ掲ケ卒業者ハ年度内ニ卒業シタル
 者ノ數ヲ掲クヘシ但私費ニ係ル者ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ
 附屬小學校ノ學校、教員、兒童、入學兒童、卒業者日々出席兒童平均數、日々缺兒童平均數ハ第一學事統計表
 中小學校ノ例ニ準シテ掲クヘシ但教員中本校職員又ハ他ヨリ兼ヌル者アルトキハ本校ノ例ニ準シテ掲クヘ
 シ
 附屬幼稚園ハ第一學事統計表中幼稚園ノ例ニ準シテ掲クヘシ

中學校

學校ハ年度末現在ノ數ヲ掲ケ生徒、入學志願者、入學者、卒業者ハ師範學校ノ例ニ準シ教員ハ年度末ノ人員
 公立學校ニ在リテ
 公立學校ニ在リテ
 ハ休職者ヲ除ク
 中學校教員免許狀ヲ有スル者ハ資格ノ欄ニ其ノ他ノ教員ハ總テ無資格ノ欄ニ掲ク
 ヘシ但公立學校教員中其ノ學校職員若ハ他ヨリ兼ヌル者アルトキハ朱書ヲ以テ掲クヘシ又生徒、入學者、卒業
 者ノ中外國人ニ係ル者ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ

高等女學校

學校ハ年度末現在ノ數ヲ掲ケ生徒、入學志願者、入學者、卒業者ハ師範學校ノ例ニ準シ教員ハ中學校ノ例ニ準シテ掲ケヘシ但シ無資格教員中小學校本科正教員ノ免許狀ヲ有シ第二學年以下ノ教授ヲ擔任スル者ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲ケヘシ又生徒、入學者、卒業者ノ中外國人ニ係ル者ハ中學校ノ例ニ準シテ掲ケヘシ

專門學校

專門學校ハ醫學、藥學、政治學、法律學、經濟學、文學、理倫、哲學、教育、語學、史學等ヲ含ム但シ中學校ノ學科程度ヨリ高等ナルモノヲ授クルモノヲ掲ケヘシ
含ム但シ中學校ノ學科程度ヨリ高等ナルモノヲ授クルモノヲ掲ケヘシ
程度ヨリ高等ナルモノヲ授クルモノヲ掲ケヘシ
學校ハ年度末現在ノ數ヲ掲ケ生徒、入學志願者、入學者、卒業者ハ師範學校ノ例ニ準シ教員ハ年度末ノ人員
公立學校ニ在リテハ掲ケヘシ但シ公立學校教員中其ノ學校職員者ハ他ヨリ兼メタル者アルトキハ朱書ヲ以テ掲
ハ休職者ヲ除ク
クヘシ又生徒、入學者、卒業者ノ中外國人ニ係ル者ハ中學校ノ例ニ準シテ掲ケヘシ

實業學校

學校ハ年度末現在ノ數ヲ掲ケ生徒、入學志願者、入學者、卒業者ハ師範學校ノ例ニ準シ教員ハ專門學校ノ例ニ準シテ掲ケヘシ但シ其ノ學校中甲種實業學校ニ乙種實業學校ノ學科ヲ併置シタルモノニ在リテハ甲種學校ノ編ニ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲ケヘシ
商業學校ニ船舶學校ノ學科ヲ併置シタルモノニ在リテハ學校、教員、生徒、入學志願者、入學者、卒業者トモ適宜ノ符號ヲ付シテ各々當該ノ部ニ掲ケヘシ但シ其ノ教員中商業學校ノ教科ト船舶學校ノ教科トヲ教授スル者アルトキハ其ノ教授時數ノ多キ方ニ掲ケ其ノ時數同シキトキハ商業學校ノ部ニ掲ケヘシ
工業學校ニ徒弟學校ノ學科ヲ併置シタルモノ又ハ實業補習學校中工業、農業、商業、水産又ハ船舶ノ二學科若ハ三學科ヲ併置シタルモノニ在リテハ前項ノ例ニ準シテ掲ケヘシ
生徒、入學者、卒業者ノ中外國人ニ係ル者ハ中學校ノ例ニ準シテ掲ケヘシ
蠶業學校、山林學校、獸醫學校、水産學校等ニ係ルモノハ農業學校ノ部ニ掲ケヘシ
農業學校、商業學校、船舶學校中甲種學校ノ程度ヨリ高キモノハ總テ甲種ノ部當該欄内ニ於テ適宜ノ符號ヲ

付シ區別シテ掲ケヘシ
工業學校中明治三十二年省令第八號第十條ニ依リ設置シタル學校ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲ケヘシ
各種學校
中學校、高等女學校ニ類スル各種學校ハ學校ノ目的及學科程度等中學校又ハ高等女學校ニ準スヘキモノヲ掲ケ其ノ他ノ各種學校ハ小學校、中學校又ハ高等女學校ニ類セス且專門學校、實業學校等ニアラサル學校ヲ掲ケヘシ
學校ハ年度末現在ノ數ヲ掲ケ生徒、卒業者ハ師範學校ノ例ニ準シ教員ハ專門學校ノ例ニ準シテ掲ケヘシ又生徒、卒業者ノ中外國人ニ係ル者ハ中學校ノ例ニ準シテ掲ケヘシ

圖書館

館、圖書冊數ハ年度末ノ現在數ヲ掲ケ開館日數、閱覽人員ハ年度内ニ於ケル總日數及總人員ヲ掲ケヘシ
學校等ニ附屬スル圖書館ト雖モ公衆ノ閱覽ヲ許スモノハ總テ之ヲ計入スヘシ但シ閱覽人員中ニハ本校職員及生徒ハ之ヲ算入スヘカラス
第二學事統計表中町村組合若ハ町村學校組合ノ設置ニ係ルモノハ町村立ノ欄ニ掲ケヘシ

乙號表

一 學級別市町村立私立小學校表

年度内三月一日ノ現在ニ依リ掲ケヘシ
尋常高等小學校ハ其ノ全校ノ學級數ニ依リテ掲ケ更ニ之ヲ尋常高等ニ分チ尋常小學校高等小學校ノ部ニモ朱書ヲ以テ掲ケヘシ
十三學級以上ノ學校ニ在リテハ一學級ヲ加フル毎ニ區別シテ空欄ノ部ニ掲ケヘシ
分數場ニ係ルモノハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲ケヘシ
補習科ノ學級數ハ計入スヘカラス但シ補習科ノ教授時間ヲ正教科ノ教授時間内ニ於テ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

二 加設科目ヲ課スル市町村立私立小學校表

年度末ノ現在ニ依リ掲クヘシ
尋常高等小學校ニ係ルモノハ尋常高等ニ分チテ掲ケ又裁縫及裁縫手工ノ欄ニハ高等小學校ニ係ルモノハ掲ケ
ヘカラス
英語ノ欄ニハ單ニ英語ヲ課スル學校ヲ掲ケ英語ト其ノ他ノ科目トヲ併セ課スル學校ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別
シテ掲ヘシク
北海道ニ在ル尋常小學校ニシテ農業商業等ヲ教授スルモノハ各々其ノ學科ノ區別ニ從ヒ當該欄ニ掲ケヘシ
補習科ノ欄ニハ補習科ノ教科目ニ本表ニ所謂加設科目アルモノハ總テ其ノ數ヲ掲ケヘシ

三 市町村立小學校教員俸給別表

月俸額別人員ハ年度末ノ現員ニ就キ之ヲ掲ケヘシ
最多月額、最寡月額ハ年度末ニ於ケル各教員ノ月俸中最多額及最寡額ヲ掲ケ其ノ平均月額ハ年度末ニ於ケル
各教員ニ對スル月俸ノ總額ヲ其ノ教員數ヲ以テ除シタル額ヲ掲ケヘシ
明治三十三年省令第十四號第四百四十八條但書第四百九條第五百十條第六十六條ニ依ルモノニシテ掲ケヘ
キ當該欄ナキトキハ其ノ俸給額ノ欄ヲ設ケテ掲ケ同第五百一十一條ニ依ルモノハ合算シテ掲ケヘシ
本表ハ全管内ニ係ルモノハ外更ニ各市ニ區別シテ調製スヘシ

四 市町村立小學校授業料表

授業料ヲ徵收スル學校ニ就キ年度内三月一日ノ現在數ヲ掲ケヘシ但シ尋常高等小學校ニ係ルモノハ尋常高等
ニ分チ各々適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲ケヘシ又補習科ニ係ルモノハ計入スヘカラス
授業料最多月額、最寡月額ハ年度内三月一日ニ於ケル兒童ノ授業料中最多額及最寡額ヲ掲ケヘシ但シ明治三
十三年省令第十四號第四百七十九條第五百八十八條ノ規定ニ依リ授業料ヲ増減シ又ハ其ノ一部ヲ免除シタルモノハ
之ヲ掲ケヘカラス
授業料平均月額ハ年度内三月一日ニ於ケル各兒童ノ授業料月額總計ヲ授業料ヲ納ムル兒童ノ總數ヲ以テ除シ
タル額ヲ掲ケヘシ

授業料免除兒童ハ年度内三月一日ニ於ケル現員ヲ掲ケヘシ
本表ハ全管内ニ係ルモノハ外更ニ各市ニ區別シテ調製スヘシ

五 公立中學校高等女學校專門學校實業學校生徒卒業後ノ狀況表

前年度内ニ卒業シタル者ニ就キ次年度末ノ現況ヲ掲ケヘシ但シ一人ニシテ二種以上ノ事項ニ涉ル者アルトキ
ハ適宜ノ符號ヲ以テ各當該欄内ニ於テ區別シテ掲ケ合計ノ部ニハ實人員ヲ掲ケヘシ

六 小學校教員檢定及免許狀授與人員表

年度内ニ檢定ヲ了シタル者ノ總數ヲ掲ケヘシ
師範學校本科簡易科ノ卒業者ニシテ免許狀ヲ受領シタル者ノ數ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲ケヘシ

七 學齡兒童中盲啞者表

年度末ニ於ケル現員ヲ掲ケヘシ

八 學校醫表 (第一)

年度内三月一日ニ於ケル學校醫ノ現員並其ノ擔任セル學校數ヲ掲ケ其ノ手當年額ハ現員ニ對スル年額ヲ掲ケ
ヘシ但シ日當ヲ給スル者アルトキハ年度内出勤日數ヲ概定シ之ヲ日當額ニ乘シタルモノヲ掲ケヘシ又一人ニ
シテ二校以上ニ從事スル者ハ各校一人トシテ掲ケヘシ又分校ハ一學校トシテ計入スルヲ要ス
人員中手當ヲ給セサルモノハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲ケヘシ

九 學校醫表 (第二)

學校醫ノ資格ニ基キ年度内三月一日ニ於ケル其ノ擔任ノ學校數、生徒又ハ兒童數、年度内四月一日ヨリ三月一
日ニ至ル視察回數ニ依リ區別シテ各人員ヲ掲ケヘシ但シ一校ニシテ二人以上ノ學校醫ヲ置キタル場合ニ在リ
テハ擔任ノ生徒又ハ兒童ハ其ノ學校醫ノ數ヲ以テ生徒又ハ兒童ノ總數ヲ除シタル數ニ依リ掲ケヘシ
醫術開業免狀ヲ有スル者ハ明治十六年布告第三十五號醫師免許規則第二條又ハ第四條ニ依リ該免狀ヲ有スル
者ヲ掲ケヘシ但シ第四條ニ依ル者ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲ケヘシ又分校ハ一學校トシテ計入スルヲ要
ス

擔任ノ最多學校數、最多生徒又ハ兒童數ヲ備考ノ欄ニ掲クヘシ

十 師範學校中學校高等女學校實業學校生徒學年別表

年度内三月一日ノ現在生徒ニ就キ各學科ニ依リ各校各別ニ掲クルモノニシテ一學校ニシテ本校、分校、附屬學校等ノ區分アルモノハ又各別ニ掲クヘシ但シ師範學校、實業學校ニ就キテハ男女ヲ區別シ又ハ師範學校ノ豫備科、教員講習科、保姆講習科ニ係ルモノハ掲クヘカラス
本表ニハ實業補習學校ニ係ルモノハ掲クヘカラス

丙號表

一 公私立諸學校表

學校ハ年度末ノ現在ニ依リ各校各別ニ掲クルモノトシ一學校ニシテ本校、分校、附屬學校等ノ區分アルモノハ又各別ニ掲クヘシ但シ小學校ニ係ルモノハ之ヲ掲クヘカラス
學科ハ年度内三月一日ノ現在ニ依リ師範學校、中學校、高等女學校、專門學校、實業學校等ニシテ二種以上ノ學科課程ノ設ケアルモノハ各別ニ之ヲ掲クヘシ實業學校中農業學校、商業學校、商船學校ニ就キテハ甲種若クハ乙種ナルコトヲ附記シ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校中更ニ高等ナル學校ニ係ルモノハ適宜ノ符號ヲ付スヘシ
各種學校ニ在リテハ其ノ授ケル學科目ヲ列記スヘシ但シ五科目以上ヲ授ケルモノハ其ノ重ナル五科目ヲ掲ケ其ノ他ハ外幾科目ト附記スヘシ
教員ハ年度末ノ人員ハ休職者ヲ除クハ掲クヘシ但シ公立學校教員中其ノ學校職員若クハ他ヨリ兼メル者アルトキハ朱書ヲ以テ掲クヘシ又外國人ハ其ノ國名ヲ附記スヘシ
學級數、生徒ハ年度内三月一日ノ現在數ヲ掲クヘシ
授業料及經費ハ私立學校ニ係ルモノ、ミチヲ掲クヘシ
學校長ノ欄ニハ學校長ヲ置カサル學校ニ就キテハ首席教員ヲ掲クヘシ適宜ノ符號ヲ以テ學校長ト區別スヘシ

二 公私立幼稚園表

幼稚園ハ年度末ノ現在ニ依リ各園各別ニ掲クヘシ
保姆ハ年度末ノ人員ヲ掲ケ組數、幼兒ハ年度内三月一日ノ現在數ヲ掲ケ保育料、經費、園長ハ前表ノ例ニ準シテ掲クヘシ

三 公私立圖書館表

圖書館、圖書ハ年度末ノ現在ニ依リ各館各別ニ掲ケ學校等ニ附屬スル圖書館ト雖モ公衆ノ閱覽ヲ許スモノハ總テ之ヲ掲クヘシ但シ學校等ニ附屬スル圖書館ニハ適宜ノ符號ヲ付スヘシ
閱覽料、經費ハ私立ニ係ルモノ、ミチヲ掲クヘシ
丙號表中明治三十三年勅令第三百三十六號ニ依リ設立シタル學校、幼稚園、圖書館ニハ適宜ノ符號ヲ付スヘシ
丁號表

一 公學費表

年度内ニ於テ支出シ收入シタルモノヲ掲ケ經費支辨ノ區別ニ從ヒ府縣、郡、市、町村ノ四表ニ分テ掲クルモノトシ表題ニ府縣若クハ郡若クハ市若クハ町村ト記入スヘシ但シ市ハ各市ニ區別シテ掲クヘシ
學校、幼稚園、圖書館等ニシテ他ノ學校ノ附屬ニ係ルモノハ總テ之ヲ本校ノ部ニ計入スヘシ但シ師範學校訓練ノ係給ハ教諭助諭俸給ト區別シ適宜ノ符號ヲ付シテ掲クヘシ
甲種實業學校ニ乙種實業學校ノ學科ヲ併置シタルモノニシテ其ノ收支ノ分割シ難キモノハ甲種ノ欄ニ於テ適宜ノ符號ヲ付シテ掲クヘシ
圖書館ノ下「其ノ他」ノ部ニハ教員檢定、圖書審查、教員講習、學務委員ニ關スルモノ、如キ學校、幼稚園、圖書館ノ各別ニ風セラルモノヲ掲ク且此部ノ費額ハ備考ノ欄ニ於テ別ニ其ノ種類ヲ分チ各總額ヲ列記スヘシ
師範學校、中學校、高等女學校ニ係ルモノニシテ教諭助諭訓練ニアラサル教員ノ俸給ハ代用教員俸給ノ欄ニ掲クヘシ但シ當該學校教員免許狀ヲ有スル者アルトキハ其俸給ハ適宜ノ符號ヲ付シテ掲クヘシ
雜給ハ事務員手工農業等ニ關スル職工農夫、小使門番ノ給料及臨時使役ノ人夫賃等ヲ掲クヘシ
生徒給費ハ生徒ニ給シタル學資金額ヲ掲クヘシ又貸費金額ハ適宜ノ符號ヲ付シテ區別シテ本欄ニ掲クヘシ
新營費ノ内ニハ敷地買入代ヲモ計入スヘシ

其ノ他ノ諸費ハ前種別ノ欄ニ入ラサル總テノ費額ヲ掲ケ恩給ニ關スル府縣、郡、市、町村ノ納金亦茲ニ計入スヘシ
 收入ノ部ニハ尋常高等小學校ノ授業料ハ之ヲ尋常高等ニ區別シテ記入シ又米穀其ノ他ノ物品等ニシテ金額ニ換算シ決算シタルモノハ總テ之ヲ計入スヘシ
 金員ノ計算ハ四捨五入シテ圓ニ止ムヘシ

二 公學資產表

年度末ノ現在ニ依リ前表ノ例ニ準シ府縣、郡、市、町村ノ四表ニ分チ市ハ各市ニ區別シテ掲ケ又附屬學校等ニ係ルモノハ同表ニ準シテ掲ケヘシ圖書館ノ「其ノ他」下アル亦同シ
 家屋坪數ニハ二階三階等ノ坪數ヲモ合算シテ掲ケヘシ
 土地、家屋、圖書器械標本、器具ノ價格ハ時價ヲ以テ掲ケヘシ屋外體操場ハ敷地トシテ計入スヘシ
 學校基本財産中前種別ノモノト重複スルモノ亦之ヲ掲ケヘシ又金額ノ中ニハ公債證書其ノ他ノ有價證券モ時價ヲ以テ計入スヘシ
 金員及坪數ノ計算ハ四捨五入シテ圓又ハ坪ニ止ムヘシ

三 公立諸學校幼稚園圖書館收支表

年度末現在ノ學校、園、館ニ就キ各別ニ年度内收入シ支出シタルモノヲ掲ケ其ノ收入ニ關スルモノハ公學費表ノ例ニ準シテ掲ケヘシ但シ實業學校ニ在リテハ學校ニ屬スル收入ノ中製作品又ハ收穫物賣拂代價ヲ區別シテ掲ケヘシ
 金員ノ計算ハ四捨五入シテ圓ニ止ムヘシ
 本表ニハ小學校ニ係ルモノハ掲ケヘカラス

四 教育資金表

年度末ノ現在ニ依リ掲ケヘシ
 公債證書ノ欄ニハ其ノ購入金額ヲ掲ケヘシ且朱書ヲ以テ券面ノ金額ヲ附記スヘシ

五 市町村立小學校教員加俸資金收支表

年度内ニ收入シ支出シタルモノヲ掲ケ公債證書ハ前表ノ例ニ準シテ掲ケヘシ

六 市町村立小學校教員加俸表

年度末ニ於ケル現職者ニ就キ計算シテ掲ケヘシ但シ年功加俸又ハ國庫補助法第六條ニ依リ加俸ヲ受ケ尙特別加俸ヲ受ケル者ハ年功加俸又ハ國庫補助法第六條ニ依リ加俸及特別加俸ノ兩欄ニ掲ケ特別加俸ノ欄ニハ適宜ノ符號ヲ以テ單ニ特別加俸ヲ受ケル者ト區別シテ掲ケヘシ
 年功加俸ヲ受ケ尙加俸令第十一條ニ依リ加俸ヲ受ケル者ハ其各欄ニ掲ケヘシ但シ加俸令第十一條ニ依リ受ケル差額ハ年功加俸ノ欄ニハ計入スヘカラス

七 市町村立小學校及公立實業補習學校教員恩給基金並恩給收支表

年度内ニ收入シ支出シタルモノヲ掲ケヘシ
 恩給基金前年度歳入剩餘金繰入ノ欄ニハ前年度ニ於ケル恩給ニ關スル收入剩餘金ノ中特ニ恩給基金ニ組入レタルモノアルトキハ其ノ金額ヲ掲ケヘシ
 同基金前年度末現在高公債證書ノ欄ニハ其ノ購入金額ヲ掲ケ且朱書ヲ以テ券面ノ金額ヲ附記スヘシ
 恩給ニ關スル收入剩餘金繰入ノ欄ニハ公債利子及預金利子ヲ合セテ掲ケヘシ

同收入前年度歳入剩餘金繰入ノ欄ニハ前年度ノ收入剩餘金ヲ基金ニ組入レスシテ整年度ノ支出ニ充ツヘキ目的ヲ以テ收入ノマ、繰越シタル金額ヲ掲ケヘシ
 恩給ニ關スル支出中退職料、扶助料ノ欄ニハ年度内ニ於テ新ニ支給ヲ始メタルモノト前年度以前ヨリ引續キ支給スルモノトヲ問ハズ總テ合算シタル金額及其ノ人員ヲ掲ケヘシ但シ職務ノ爲メ傷痍ヲ受ケ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタル者ニ係ル金額及其ノ人員ヲ區別シ朱書ヲ以テ掲ケヘシ
 同支出中一時給養金ノ欄ニハ明治二十三年法律第九十號第十一條第二項ニ依リ支給シタル金額及其ノ人員ヲ掲ケヘシ

八 府縣立師範學校公立學校職員國庫納金及公費支出表

年度内ニ納入シ及支出シタル總數ヲ掲ケヘシ

●文部省訓令第二號 (明治三十七年二月十日)

宣戰ノ詔勅發布ニ就キ學校管理者職員及學生生徒ノ心得方

今回露國ニ對シテ戰ヲ宣セラレタル趣旨ハ炳乎トシテ宣戰ノ詔勅ニ明ナリ此ノ時ニ當リテ國民擧テ忠勇ノ精神ヲ勵マシ滿腔ノ熱誠ヲ捧ケテ陸海軍ノ後援ヲナスハ固ヨリ當然ノコトニ屬ス而シテ國民力戰ノ進行ニ懸念シ平素ノ業務ヲ顧ミルノ違ナキニ至ルカ如キハ忠愛ノ至情ニ出ツルトスルモ決シテ喜ミスヘキニアラス殊ニ教育ニ從事スル者ハ此ノ間ニ處シテ能ク平素ノ沈著ナル態度ヲ變スルコトナク熱心誠意益々其職務ニ盡サンコトヲ努メサル可ラス思フニ今回ノ事變タル其ノ關スル所極メテ大ニシテ其ノ結果ハ遠ク我國家ノ將來ニ及フヘシ是ヲ以テ教育者ハ能ク學生生徒ヲ訓誨シテ青年女子カ國家ニ負フ所ノ責任ハ將來益々重ヲ加フルニ至ルコトヲ知ラシメ多年此ノ重大ナル責任ヲ盡ス所以ハ修學時代ニ於テ專心一意心身ノ修養ヲ務ムルニアルコトヲ體認セシムヘシ故ニ一勝一敗ノ報ニ接シテ常度ヲ失スルカ如キコトナク又他日戰捷ノ結果平和ヲ克復スルニ至ルモ國家ノ前途ハ益々多事ニシテ今日ノ學生生徒カ成業ノ後國家ニ盡スコトノ愈々容易ナラサルヲ深ク覺ラシムヘシ

今ヤ露國ト事ヲ構フルモ固ト是レ平和ヲ永遠ニ克復スルカ爲メナレハ學生生徒カ客氣ニ驅ラレ露國民ニ對シテ嘲罵ヲ逞クシ延キテ他ノ外國民ニマテ惡感ヲ懷カシムルカ如キコトナカラシムルハ子女ノ教育上最モ注意ヲ要スル所ナリ

我忠勇ナル陸海軍人カ國家ノ爲メニ生還ヲ期セスシテ出征スルニ當リテハ滿腔ノ同

情ヲ表センカ爲メ之ヲ送迎スルハ固ヨリ妨ケナキモ學生生徒ヲシテ課業ヲ廢シ貴重ナル時間ヲ費サシムルカ如キハ忠勇ナル軍人カ在學ノ子女ニ期待スル所ニアラサルヲ以テ宜シク注意スヘキコトナリ

學生生徒カ自ラ節約シ得タル所ノ資財ヲ獻シテ軍費ノ一端ニ供セントスルハ忠愛至情ヨリ出ツルモノニシテ嘉ミスヘキコトナルノミナラス節約ノ美風ヲ養フニ於テ益アリトス然レトモ獻金ヲナサンカ爲メニ特ニ父兄ニ要求スルカ如キコトアラハ教育ノ方面ヨリ見テ喜フヘキコトニアラサルノミナラス國家モ亦斯ル獻金ヲ嘉納スヘキニアラス教育ノ任ニアルモノハ學生生徒ヲシテ能ク此ノ意ヲ體セシムヘキナリ

學校職員ニシテ召集ニ應スル場合ニハ其ノ同僚職員ハ進ンテ應召者ノ職務ヲ分擔スヘク管理者ハ經費ノ許ス範圍内ニ於テ成ルヘク優待ヲナス等便宜ノ處分ヲ執ルヘキナリ

之ヲ要スルニ陸海ノ軍人カ死テ決シテ戰ヒ艱苦缺乏ヲ忍ビテ國家ニ報ユルノ精神ヲ移シテ以テ教育ニ従事スル者及ヒ教育ヲ受クル者ノ精神ト爲サンコトハ本大臣ノ切ニ望ム所ナリ教育ノ任ニアル者ハ宜シク平時ニ於ケルヨリモ一層奮勵シテ職務ニ努カスヘシ是レ實ニ國家カ教育者ニ期待スル所ニシテ有事ノ時ニ於テ教育者カ國家ニ報スル所以ノ道モ亦之ニ外ナラサルナリ

●文部省訓令第三號

(明治三十七年二月二十日)

日露事變ニ際シ出征、應召軍人ノ子女ニ對シ學校授業料減免
學用品給與並教員俸給支給及設備等ニ關スル措置方

北海道廳 府 縣

戰地ニ於ケル勤務ニ起因シテ死去シタル者ノ遺族ニ對シ市町村立小學校ニ於テ授業料ヲ減免スヘキコトハ既ニ明治二十九年勅令第五號ニ其ノ規定アリ今回ノ事變ニ際シ此趣旨ヲ擴充シテ出征又ハ應召ノ軍人ノ子女ニ對シ小學校ハ勿論其ノ他ノ學校ニ於テモ事情ノ許ス限リハ其ノ授業料ヲ減免シ又ハ學用品ヲ給與スル等ノ法ヲ設ケテ軍人ヲシテ後顧ノ患ナカラシムヘシ
軍費供給ノ必要ハ教育費ニモ影響ヲ及ホシ新事業又ハ設備等ニ關シ一時ノ緊縮ヲ來スハ已ムヲ得サル所トス然レトモ之レカ爲メニ教員ノ俸給ヲ削減シ又ハ兒童ノ就學數ヲ減少シ其ノ他教育ノ効果ヲ減退セシムルカ如キハ國力發展ノ基礎ヲ傷損スルモノナレハ務メテ之ヲ避ケサル可ラス而シテ經濟上節約ヲ圖ランカ爲メニハ小學校ニ於テハ二部教授ノ法ヲ採リ其ノ他ノ學校ニ於テモ亦臨機適宜ノ法ヲ講スル等適當ノ措置ヲ爲スヘシ

●文部省訓令第八號 (明治三十七年八月九日)

學生生徒紫色鉛筆使用禁止

北海道廳 府 縣

學生生徒等ノ使用スル「コピールビオレット」「リラビオレット」「ヨハン、コピール」「ハ、ツエ、クルツ、コピール」等ノ記號アル紫色鉛筆ハ其ノ製造ノ原料ニ有害ノ色素ヲ包含スルカ故ニ其ノ破片又ハ溶液ノ眼中ニ入ルトキハ激烈ナル毒作用ヲ呈シ竟ニ不治ノ眼疾ニ陥ルコトアリ仍テ幼稚園及小學校等ノ兒童ニハ之カ使用ヲ禁止シ其ノ他ノ學校ノ學生生徒ニ在リテハ必要缺クヘカラサル場合ニ限リ之ヲ使用セシムルコトヲ得ルト雖其ノ使用上ニ周密ノ注意ヲ爲サシムヘシ

直轄學校

●文部省訓令第一號 (明治三十八年四月八日)

小學校教科用圖書翻刻發行申請書進達方

北海道廳 府 縣

本年文部省告示第六十八號小學校教科用圖書翻刻發行規則第二十八條ニ依リ申請書ヲ提出シタルモノアルトキハ同規則第二條第三條ノ事實ニ付審査ノ上意見ヲ付シ一週間以內ニ當省ヘ進達スヘシ

●文部大臣訓令 (明治二十八年四月二十七日)

小學校教員私宅教授及贈遺受領者ニ關スル取締方

東京府

小學校教員私宅ニ於テ教授時間外ニ其生徒ヲ教授スルトキハ生徒心身ノ發達ヲ害ス

ルノミナラス徒ラニ教授ノ標準ヲ高メ生徒管理上偏愛ノ嫌疑ヲ受クルニ至リ且教授ノ準備ヲ妨クルコト尠カラサルヘシ又教員小使等ニ於テ生徒若クハ父兄ノ贈遺ヲ受クルカ如キハ是亦生徒間ノ感情ヲ害シ一般就學ノ妨ト爲ル等教育上弊害尠カラス候條特ニ公立小學校ニ在テハ注意ヲ加ヘ嚴重ノ取締ヲ爲スヘシ

小學校教員私宅教授及生徒贈遺ノ件ニ關シ別記ノ通東京府(訓令相成候條自然貴府)(縣)(校)ニ於テ右様ノ儀有之候ハ、同ク御取締相成度命ニ依リ此段及御通牒候也

各地方長官(東京府ヲ除ク)
兩高等師範學校長

普通學務局長

◎文部省告示之部

●文部省告示第三號 (明治二十六年八月十二日)

小學校儀式唱歌用歌詞及樂譜

小學校ニ於テ祝日大祭日ノ儀式ヲ行フノ際唱歌用ニ供スル歌詞並樂譜別冊ノ通撰定ス(樂譜略ス)

(別冊)

歌詞 君が代 勅語奉答 一月一日 元始祭
紀元節 神嘗祭 天長節 新嘗祭

君が代は。 君が代

こけのむすまで。 ちよにやちよに。

あやに尊き。 さられいしの。 嚴となりて。

あやに畏き 勅語奉答

あやに尊く 天の皇の。

是がめでたき 日の本のの。

是がめでたき 日の本のの。

是がめでたき 日の本のの。

是がめでたき 日の本のの。

人の國の下あやに尊き

鑑基大天の

あやよ畏き
あやに尊き
一月一日
天皇の
勅語のまゝに
大御心に
勤まて
答へまつらむ。

第一章

年のはじめの
松竹たて
例ごと
終りなき世の
いはふ今日こそ
めでたさを
たのしけれ。

第二章

初日のひかり
君がみかげに
比へつ
治まる御代の
仰ぎ見るこそ
今朝のそら
たふとけれ。

元始

天津日嗣の
祭限なく
天津璽の
祭りますこそ
動きまほく
かしこれれ。

年のはじめに
四方の民くさ
日うち御旗
長閑けき空を
たて祝はぬ
うち仰ぎ
家予なき。

紀元節 第一章

豊榮の原
紀元節
豊榮の原
日うち御旗
たて祝はぬ
うち仰ぎ
家予なき。

雲に聳ゆる
高千穂の
高根たろしに
草も木も
たのしけれ。

第二章

海原なせる
埴安の
池のたもより
猶ひろき
たのしけれ。

第三章

天津ひつぎの
高みくら
千代よろづよに
動きなき
たのしけれ。

第四章

空にかいやく
日のもとの
萬の國に
たぐひなき
たのしけれ。

國のみはしら
たてし世を
あふぐけふこそ
たのしけれ。

五十鈴の宮の
大前に
今年の秋の
懸日かげ
めでたけれ。

御酒御帛を
たてまつり
祝ふあしたの
朝日かげ
めでたけれ。

靡く御旗も
天長節
賑ふ御代こそ
めでたけれ。

今日の吉き日は 大君の。 うまれたまひし 吉き日あり。
 今日けふの吉よき日ひは 大おほ君きみの。 ううままれたままひし 吉よき日ひああり。
 ひかりひかり遍あまねきき 御みひひかりの。 ささしし出でたまままひし 吉よき日ひああり。
 めぐみめぐみ遍あまねきき 君きみがが代しろをを。 いいははへへ諸もろ人びと ももろとももに。
 新嘗祭 君きみがが代しろをを。 いいははへへ諸もろ人びと ももろとももに。
 民たみやすかれと 二ふた月つきの。 祈いのち年としの祭まつり 験しるしああり。
 千町ちまちの小せ田でに うちうち靡なく。 新あらた穂ほの稻いねの祭まつり 美うましし 稲いね。
 御み饗あにつつくりて ねねてまつつる。 新あらた嘗なま祭まつり 尊たふし 稲いね。

●文部省告示第百八十二號 (明治三十三年八月二十五日)

小學校教科用圖書檢定區別

一 小學校教科用圖書ハ兒童用教員用教授用ノ三種トシ之ヲ檢定ス
 一 兒童用圖書ハ兒童ノ學習スヘキ事項ヲ記載シ兒童各自ニ使用セシムルモノトス
 一 教員用圖書ハ教授スヘキ事項教授上ノ注意及應用ニ關スル事項ヲ記載シ適宜教授ノ目的順序方法ヲ説明シ又教科目ノ種類ニ依リ實物標本圖書器械等ノ使用ニ關スル注意ヲ附説シ教授上教員ノ準據スヘキモノトス
 教授上直接應用ナキ事項ヲ採録セルモノハ教員用圖書トシテ檢定セス

明治三十四年十月十三日

●文部省告示第百二十一號 (明治三十三年十月十三日)

教科用圖書檢定ニ關スル件

一 教授用圖書ハ教授ノ際兒童ニ示スヘキ掛圖類トス
 一 明治二十五年文部省告示第九號ハ之ヲ廢止ス
 郷土史談及郷土地理ニ關シテハ自今教科用圖書ノ檢定ヲ行ハス但一地方ノ地理ニシテ教員用若クハ教科用ヲ目的トスル圖書ハ此ノ限ニアラス

●文部省告示第百二十一號 (明治三十四年十二月八日)

探定小學校教科用圖書紙質印刷等ノ標準ニ供用ノ爲檢印付與方

地方廳ニ於テ既ニ探定セル小學校教科用圖書ノ紙質印刷等ノ標準ニ供センカ爲地方廳又ハ圖書發行者ノ請求アリタルトキハ本省ニ於テ其圖書ニ檢印ヲ與フヘシ

●文部省告示第百七號 (明治三十六年五月二十七日)

小學校教科用圖書用紙標準

第一條 小學校教員用又ハ兒童用教科書ニ機械漉紙ヲ用フルトキハ左ノ標準ニ依ルヘシ

- 一 用紙ノ原料ハ木綿襪、藁、化學的木材纖維ノ内ヲ擇フヘシ摺潰木材質ハ用フヘカラス

- 二 用紙中ニ混入スル白土等ハ其ノ重量ノ百分ノ十五ヲ超過スヘカラス
- 三 用紙ハ松脂糊(ロジンサイズ)ヲ十分ニ施セルモノタルヘシ
- 四 用紙ノ重量ハ一平方尺ニツキ兩面摺用紙ハ一匁九分以上、片面摺用紙ハ一匁一分以上タルヘシ
- 五 紙力ハ幅一寸長七寸五分ニテ兩面摺用紙ハ十七ポンド以上、片面摺用紙ハ十四ポンド以上タルヘシ

第二條 小學校教員用又ハ兒童用教科書ニ手漉紙ヲ用フルトキハ左ノ標準ニ依ルヘシ

- 一 用紙原料ハ楮皮、三椶皮、藁、化學的纖維ノ内ヲ擇フヘシ摺潰木材質ハ用フヘカラス
 - 二 用紙中ニ白土等ヲ混入スヘカラス
 - 三 用紙ノ重量ハ一平方尺ニツキ五分以上タルヘシ
 - 四 紙力ハ幅一寸長七寸五分ニテ十三ポンド以上タルヘシ
- 第三條 小學校教授用掛圖ニ機械漉紙ヲ用フルトキハ用紙ノ重量ヲ一平方尺ニツキ二匁五分以上紙力ヲ幅一寸長七寸五分ニテ二十五ポンド以上トスル外第一條ニ準ス
- 小學校圖書科教科書ニ機械漉紙ヲ用フルトキハ用紙ノ重量ヲ一平方尺ニツキ二匁二分以上、幅紙一寸長七寸五分ニテ十七ポンド以上トスル外第一條ニ準ス但シ幾何畫教科書説明ノ部ハ用紙ノ重量及紙力ニ關シテモ仍第一條ニ準ス
- (明治三十七年文部省告示)

示第百三十四號ヲ以テ追加)

- 第四條 小學校教授用掛圖ニ手漉紙ヲ用フルトキハ用紙ノ重量ヲ一平方尺ニツキ九分以上、紙力ヲ幅一寸長七寸五分ニテ十七ポンド以上トスル外第二條ニ準ス
- 小學校圖書科教科書ニ手漉紙ヲ用フルトキハ用紙ノ重量ヲ一平方尺ニツキ一匁二分以上、紙力ヲ幅一寸長七寸五分ニテ十五ポンド以上トスル外第二條ニ準ス但シ幾何畫教科書説明ノ部ハ用紙ノ重量及紙力ニ關シテモ仍第二條ニ準ス(同上)
- 第五條 小學校教科用圖書ノ表紙ニ漉返紙ヲ用フルコトヲ得ス

●官報 (明治三十六年六月六日)

小學校教科用圖書用紙見本檢閱方

小學校教科用圖書ヲ翻刻發行セントスル者ニシテ本年文部省告示第百七號ニ於テ示シタル教科用圖書用紙ノ標準ニ關シ疑義アル者ハ其ノ圖書ニ用フヘキ紙ノ見本ヲ文部省總務局圖書課ニ差出シ檢閱ヲ請フコトヲ得ヘシ

●文部省告示第百二十五號 (明治三十六年六月二十日)

小學校教科用圖書翻刻發行許可圖書ノ名稱

- 一 尋常小學修身書 教師用 四冊 各學年一冊宛
- 二 高等小學修身書 教師用 四冊 各學年一冊宛

- 三 尋常小學修身掛圖 一綴
- 四 尋常小學修身書 兒童用 三冊 第二、第三、第四學年各一冊宛
- 五 高等小學修身書 兒童用 五冊 各學年一冊宛及修業年限(明治三十六年文部省告示第百八十二號ヲ以テ改正)
- 六 尋常小學讀本 八冊 各學年二冊宛
- 七 高等小學讀本 八冊 各學年二冊宛
- 八 尋常小學書キ方手本 七冊 第一學年一冊宛 其他各學年二冊宛
- 九 高等小學書キ方手本 八冊 各學年一冊宛及修業年限
- 十 小學日本歷史 五冊 各學年一冊宛
- 十一 小學地理 四冊 各學年一冊宛
- 一 尋常小學算術書 教師用 四冊 各學年一冊宛(明治三十七年文部省告示第百三十二號ヲ以テ以下追加)
- 二 高等小學算術書 教師用 四冊 各學年一冊宛
- 三 高等小學算術書 兒童用 四冊 各學年一冊宛
- 四 尋常小學毛筆畫手本 男生用 三冊 第一、第二、第三、第四學年各一冊宛
- 五 高等小學毛筆畫手本 男生用 六冊 第一、第二學年各甲種一冊乙種一冊 第三、第四學年各一冊宛

- 六 高等小學毛筆畫手本 女生用 六冊 第一、第二學年各甲種一冊乙種一冊 第三、第四學年各一冊宛
- 七 尋常小學鉛筆畫手本 三冊 第一、第二、第三、第四學年各一冊宛
- 八 高等小學鉛筆畫手本 男生用 六冊 第一、第二學年各甲種一冊乙種一冊 第三、第四學年各一冊宛
- 九 高等小學鉛筆畫手本 女生用 六冊 第一、第二學年各甲種一冊乙種一冊 第三、第四學年各一冊宛
- 十 小學幾何畫法 教師用 幾何畫法 說明ノ部一冊

●文部省告示第百四十二號 (明治三十六年八月二十日)

小學校教科用圖書翻刻發行許可圖書ノ定價最高額

- 尋常小學修身書 第一學年教師用 金七錢
- 同 第二學年教師用 金七錢
- 同 第三學年教師用 金八錢 (明治三十六年文部省告示第百九十八號ヲ以テ追加)
- 同 第四學年教師用 金九錢 (上同)
- 高等小學修身書 第一學年教師用 金九錢五厘 (明治三十六年文部省告示第百二十三號ヲ以テ追加)
- 同 第二學年教師用 金九錢 (上同)
- 同 第三學年教師用 金八錢五厘 (明治三十六年文部省告示第百二十七號ヲ以テ追加)
- 同 第四學年教師用 金九錢 (上同)
- 尋常小學修身掛圖 金二圓

尋常小學修身書	第二學年兒童用	金四錢五厘
同	第三學年兒童用	金五錢五厘
同	第四學年兒童用	金六錢
高等小學修身書	第一學年兒童用	金五錢五厘 (明治三十六年文部省告示第 二百二十七號ヲ以テ追加)
同	第二學年兒童用	金五錢五厘 (同上)
同	第三學年兒童用	金四錢五厘 (同上)
同	第四學年兒童用	金五錢 (同上)
尋常小學讀本	修業年限三箇年ノ學校第三學年兒童用	金五錢 (同上)
同	一	金六錢五厘
同	二	金六錢五厘
同	三	金六錢五厘
同	四	金七錢
同	五	金七錢五厘
同	六	金八錢五厘
同	七	金八錢
高等小學讀本	一	金九錢
同	二	金七錢五厘 (明治三十六年文部省告示 第百三十三號ヲ以テ追加)

尋常小學書キ方手本	第一學年用乃至第四學年用七冊	各金三錢
高等小學書キ方手本	第一學年用乃至第四學年用八冊	各金三錢 (明治三十六年文部省告示 第百九十八號ヲ以テ追加)
小學日本歷史	一	金七錢五厘 (同上)
同	二	金七錢五厘 (同上)
同	三	金七錢五厘 (同上)
同	四	金八錢五厘 (明治三十六年文部省告示第 二百二十七號ヲ以テ追加)
同	修業年限三箇年ノ學校第三學年用	金八錢五厘 (同上)
小學地理	一	金七錢 (明治三十六年文部省告示 第百九十八條ヲ以テ追加)
同	二	金八錢 (同上)

- 一 小學日本歷史貼付用
 - 一 小學地理貼付用
 - 一 尋常小學算術書及高等小學算術書貼付用
 - 一 尋常小學毛筆畫手本、高等小學毛筆畫手本及尋常小學鉛筆畫手本、高等小學鉛筆畫手本並小學校教師用幾何畫法貼付用
- 茶褐色
嬌栗色
濃綠色(明治三十七年文部省告示第四十五號ヲ以テ追加)
暗紫色(同上)

●文部省告示第六十八號 (明治三十八年四月七日)

小學校教科用圖書翻刻發行規則

小學校教科用圖書翻刻發行規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一章 翻刻發行

第一條 文部省ニ於テ著作權ヲ有スル左記小學校教科用圖書ハ本規則ニ依リ其ノ翻刻發行ヲ許可ス

- 一 尋常小學修身書 教師用 四冊 各學年一冊宛
- 二 高等小學修身書 教師用 四冊 各學年一冊宛
- 三 尋常小學修身掛圖 一綴 各學年一冊宛
- 四 尋常小學修身書 兒童用 三冊 第二、第三、第四學年各一冊宛
- 五 高等小學修身書 兒童用 五冊 各學年一冊宛及修業年限三箇年ノ學校第三學年一冊

- 六 尋常小學讀本 八冊 各學年二冊宛
- 七 高等小學讀本 八冊 各學年二冊宛
- 八 尋常小學書キ方手本 七冊 第一學年一冊宛
- 九 高等小學書キ方手本 八冊 其他各學年二冊宛
- 十 小學日本歷史 五冊 各學年一冊宛及修業年限三箇年ノ學校第三學年一冊
- 十一 小學地理 四冊 各學年一冊宛
- 十二 尋常小學算術書 四冊 各學年一冊宛
- 十三 高等小學算術書 四冊 各學年一冊宛
- 十四 高等小學算術書 四冊 各學年一冊宛
- 十五 尋常小學毛筆畫手本 三冊 第一、第二、第四學年各一冊宛
- 十六 高等小學毛筆畫手本 六冊 第一、第二、第三、第四學年各一冊宛
- 十七 高等小學毛筆畫手本 六冊 第一、第二、第三、第四學年各一冊宛
- 十八 尋常小學鉛筆畫手本 三冊 第一、第二、第四學年各一冊宛
- 十九 高等小學鉛筆畫手本 六冊 第一、第二、第三、第四學年各一冊宛
- 二十 高等小學鉛筆畫手本 六冊 第一、第二、第三、第四學年各一冊宛
- 二十一 小學校教師用幾何畫法 一冊 說明ノ部一冊

第二條 翻刻發行者ハ左ノ資格ヲ有シ文部大臣ニ於テ適當ト認メタル者ニ限ル

- 一 三箇年以上引續キ汎ク圖書ノ出版業ニ従事スルコト
- 二 既往三箇年ニ於ケル所得納稅額平均三十圓以上ナルコト

但追納額及非常特別稅法ニ依ル納額ヲ除ク
會社ノ場合ニ於テハ會社ヲ代表スル社員、取締役モ亦前項各號ノ資格ヲ具フルコトヲ要ス

第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ翻刻發行者タルコトヲ得ス

- 一 小學校教科用圖書ノ審査又ハ採定ニ關シ處刑ヲ受ケ滿三年ヲ經過セサル者
- 二 明治三十六年文部省令第二十三號小學校教科用圖書翻刻發行規則第十三條又ハ本規則第二十五條第一項第二項末段ノ處分ヲ受ケ滿三年ヲ經過セサル者

第四條 翻刻發行ノ期間ハ明治三十九年四月ヨリ六箇年トシ以後毎四箇年ヲ以テ一期トス

文部大臣ハ每期開始前ニ於テ翻刻發行者ヲ募集ス但シ時宜ニ依リ前期翻刻發行者ヲ引續キ翻刻發行ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第五條 各翻刻發行者ノ毎年發行スヘキ圖書ノ種類及冊數ハ文部大臣之ヲ指定ス

第六條 翻刻發行者ニ於テ毎年發行スヘキ圖書ノ種類又ハ冊數ヲ變更セントスルトキハ事情ヲ具シ文部大臣ノ承認ヲ受クヘシ

翻刻發行ヲ廢止シタルトキハ遲滞ナク届出ツヘシ

第七條 翻刻發行者合同シテ其ノ業務ヲ營メントスルトキハ其ノ方法ヲ具シ文部大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第八條 製版、印刷、製本ニ關スル總テノ工場及事務所所在地ハ東京市、大阪市ニ限ル

工場及事務所ノ設置又ハ讀更遲滞ナク届出ツヘシ

第九條 翻刻發行者ハ圖書供給ノ普及ヲ圖ルカ爲メニ共同販賣所ヲ東京市ニ設置スヘシ
道府縣ニハ少クモ一箇ノ共同販賣支所又ハ特約販賣所ヲ設ケ其ノ供給區域ヲ劃定スヘシ但シ地方ノ狀況ニ依リ道府縣ヲ通シテ一箇ノ共同販賣支所又ハ特約販賣所ヲ設クルコトヲ得

共同販賣ニ關スル契約ハ文部大臣ノ指示スル方法ニ依リ之ヲ定メ文部大臣ノ承認ヲ受クヘシ

共同販賣契約ノ變更ハ文部大臣ノ承認ヲ受クヘシ
翻刻發行者共同販賣ノ契約ニ加入セサルトキハ其ノ翻刻發行許可ハ効力ヲ失フ

第十條 圖書ハ用紙白色ニシテ強キ光澤ナク其ノ質強靱ニシテ粗糙ナラス印刷鮮明ニシテ製本堅牢ナルコトヲ要ス

第十一條 圖書ノ定價及用紙ノ標準ハ別ニ之ヲ告示ス

第十二條 翻刻發行者ハ各圖書ノ見本三部ヲ文部省ニ差出シ検査ヲ受クヘシ
圖書ハ前項ノ検査ヲ經タル上ニアラサレハ發行スルコトヲ得ス

第十三條 圖書ノ文字ノ大小、圖畫、冊數、枚數、頁數、行數及每行ノ字數其ノ他圖書ノ種類ニ依リ特ニ定ムル事項ハ文部省ノ見本ト同一ナルコトヲ要ス

第十四條 文部省ニ於テ圖書ノ見本ニ修正ヲ加ヘタルトキハ特ニ定ムル期限後ハ從前ノ見本ニ依リテ翻刻シタル圖書ヲ販賣スルコトヲ得ス

修正圖書ハ第十二條ノ規定ニ準シ検査ヲ經タル上ニアラサレハ發行スルコトヲ得ス

第十五條 圖書ノ用紙、印刷及製本ハ第十二條第一項ノ検査ヲ經タル見本ト同一ナルコトヲ要ス

第十六條 圖書ニハ各冊尾ニ第十二條第一項ノ検査濟年月日及定價ヲ記載スヘシ

第十七條 圖書ニハ翻刻發行許可證明ノ爲メ各冊見易キ處ニ文部省ヨリ交付シタル印紙ヲ貼付シ紙面ト印紙ノ彩紋トニ掛ケテ消印スヘシ

印紙ハ證明料ヲ納付シタル者ニ限り之ヲ交付ス

證明料ハ圖書一冊ニ付金二厘トス

印紙ノ種類ハ別ニ之ヲ告示ス

第十八條 圖書ハ定價ヲ超エテ販賣スルコトヲ得ス

第十九條 文部省ハ毎年四月現在道府縣ノ小學校數及就學兒童數ヲ七月三十一日マテニ各翻刻發行者ニ通知スヘシ

第二十條 文部省ハ各翻刻發行者ヲシテ圖書製造ノ功程ニ關スル豫定計劃書ヲ提出ス

セシムルコトアルヘシ

前項ノ豫定計劃不適當ト認ムルトキハ文部省ハ之カ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第二十一條 文部省ハ必要ニ應シ吏員ヲ派シテ圖書ノ製造及發賣等ノ實況ヲ検査スルコトアルヘシ

翻刻發行者又ハ販賣者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十二條 圖書ノ翻刻發行及藏置ニ要スル工場、倉庫其ノ他ノ設備不完全ト認ムルトキハ文部省ハ之カ増設又ハ改良ヲ命スルコトアルヘシ

第二十三條 圖書ハ其ノ使用期ヨリ遅クモ五十日以前ニ於テ悉ク製本ヲ完了シ順次販賣所へ發送スヘシ

第二十四條 翻刻發行許可滿期ノ際持越シタル圖書ハ其ノ翻刻發行者ニ於テ猶之ヲ販賣スルコトヲ得

第二十五條 翻刻發行者ニ於テ本規則ニ違背シタルトキ又ハ文部大臣ニ於テ翻刻發行者ノ信用缺乏セリト認メタルトキハ翻刻發行ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

圖書製造ノ功程遅緩ニシテ第二十三條ノ期限内ニ製本ヲ完了スルコト能ハスト認ムルトキハ文部大臣ハ翻刻發行ノ指定冊數ヲ減少シ若クハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

文部大臣ニ於テ第十條第十三條又ハ第十五條ニ違背セリト認メタル圖書ニ付テハ廢棄又ハ改良等必要ノ處分ヲ命スルコトアルヘシ

第二十六條 文部大臣ニ於テ公益上必要ト認ムルトキハ本規則ノ條項ニ修正ヲ加フ

ルコトアルヘシ

第二十七條 前二條ノ場合ニ於テ發行者又ハ販賣者カ損害ヲ受クルモ文部省ハ其ノ賠償ノ責ニ任セス

第二十八條 本規則ニ依リ翻刻發行ノ許可ヲ受ケントスル者ハ第一號書式ノ申請書ヲ作り地方長官ヲ經由シテ文部省ニ提出スヘシ

第二十九條 翻刻發行ノ申請書提出期限ハ其ノ都度之ヲ告示ス

第二章 保證金

第三十條 翻刻發行者ハ其ノ發行スヘキ圖書ノ種類及冊數ヲ指定セラレタル日ヨリ一箇月以内ニ公債證書ヲ以テ保證金ヲ納付スヘシ

第三十一條 保證金額ハ左ノ如シ

- | | | |
|-------------|-----|--------|
| 一 尋常小學修身書 | 教師用 | 保證金額百圓 |
| 二 高等小學修身書 | 教師用 | 五十圓 |
| 三 尋常小學修身掛圖 | 同 | 三十圓 |
| 四 尋常小學修身書 | 兒童用 | 一萬三千圓 |
| 五 高等小學修身書 | 兒童用 | 四萬圓 |
| 六 尋常小學讀本 | 同 | 三萬八千圓 |
| 七 高等小學讀本 | 同 | 一萬二千圓 |
| 八 尋常小學書キ方手本 | 同 | 一萬三千圓 |

九 高等小學書キ方手本

同 四千五百圓

十 小學日本歷史

同 六千圓

十一 小學日本地理

同 六千圓

十二 算術書(尋常、高等共)

同 三千五百圓

十三 圖畫(尋常、高等共)

同 八千圓

前項各號ノ一種ヲ二人以上ニ分割シテ翻刻發行ヲ指定シタル場合ニ在テハ其ノ分割ノ割合ヲ以テ各發行者ノ保證金額ヲ計算ス但シ計算上圓位未滿ノ端數ヲ生スルトキハ之ヲ切捨ツルモノトス

第三十二條 翻刻發行者ニ於テ毎年發行スヘキ圖書ノ種類冊數ヲ變更シタル爲メ保證金ノ追納ヲ要スルトキハ第六條ノ許可ノ日ヨリ一箇月以内ニ之ヲ納付スヘシ其ノ還付ヲ要スルトキハ請求ノ日ヨリ三箇月以内ニ拂戻ヲ爲スヘシ

第三十三條 翻刻發行者ニ於テ期限内ニ保證金ノ納付ヲ爲サ、ルトキハ翻刻發行ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第三十四條 翻刻發行者ニ於テ翻刻發行ヲ廢止シタルトキハ納付ノ保證金ハ請求ノ日ヨリ三箇月以内ニ拂戻ヲ爲スヘシ

第三十五條 翻刻發行者ニ於テ本規則ニ違背シタルトキハ違約金ヲ徵收スルコトアルヘシ

違約金ハ保證金額ノ範圍内ニ於テ文部大臣之ヲ定ム

第三十六條 翻刻發行者ニ於テ前條ノ違約金ヲ文部大臣ノ指定シタル期限内ニ納付セサルトキハ保證金ヲ以テ辨濟ニ充ツヘシ

第三十七條 保證金ヲ納付セントスルトキハ第三號書式ニ依リ公債證書ノ種類ヲ届出テ寄託通知書ノ交付ヲ受クヘシ

公債證書ノ價格ヲ算定スルハ時價ニ依ル但特別ノ規定アルモノハ其ノ規定ニ依ル

第三十八條 前條ノ寄託通知書ヲ受領シタルトキハ該通知書記載ノ金庫ニ公債證書ヲ提供シ保管證書ヲ受ケ第四號書式ノ質權設定證書及記名公債證書（記名國債證書ヲ除ク）ノ場合ハ民法第三百六十四條ノ規定ニ依リタル書類ト共ニ第三號書式ノ保證金納付書ニ添付シ文部大臣官房會計課長ニ差出スヘシ

第三十九條 保證金ノ拂戻ヲ受ケントスルトキハ文部大臣官房會計課長ニ還付ノ請求ヲ爲スヘシ

第四十條 公債證書ノ受領及納付中ニ係ル公債證書利札ノ受領ニ關シテハ明治二十六年大藏省令第二十號保管物取扱規程ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十一條 保證金ノ追納又ハ既ニ納付シタル公債證書ノ引換ヲ爲ス場合ニ於ケル手續ハ第三十七條第三十八條ノ規定ヲ準用ス

附則

第四十二條 印紙ノ種類及用紙標準ニシテ既ニ告示シタルモノハ其ノ告示ニ依ル圖書ノ定價ハ既ニ告示シタル最高額ニ依ル

(第一號書式)

申請書

一 何々 (規則第一條ニ列記シタル圖書ノ種類ニ)
 一 何々 (就キ翻刻發行希望ノモノヲ掲記スヘシ)

小學校教科用圖書翻刻發行規則ニ依リ前記ノ翻刻發行致度候ニ付御許可相成度別紙圖書相添此段申請候也

年月日

住所

氏名

文部大臣宛

(第一號書式附屬)

圖書

前三箇年所得納稅額左ノ如シ	三	五	年	三	十	六	年	三	十	七	年
前三箇年間ニ發行シタル圖書左ノ如シ	再版以上	再版以上	トノ區分	一部ノ冊數	一部ノ定價	發行年月					

備考

- 一 三十五年一月ヨリ發行年月ニ依リ順次記載スルコト
- 二 出版法ニ依リ届出タルモノト出版法ノ手續ヲ省略シタルモノト區分掲上スルコト

(第三號書式)

保證金種類届

保證金額

一金何圓也

内 譯

- 何圓券何々公債證書 何枚 無記名 拙者所有ノ分
 - 何第何番 自何第何番至何第何番 時價何圓(又ハ發行最低價格何圓)
 - 何圓券何々公債證書 何枚 無記名 何某所有ノ分
 - 何第何番 自何第何番至何第何番 時價何圓(又ハ發行最低價格何圓)
 - 何圓券何々公債證書 何枚 記名 拙者名義ノ分
 - 何第何番 自何第何番至何第何番 時價何圓(又ハ發行最低價格何圓)
 - 何圓券何々公債證書 何枚 記名 何某名義ノ分
 - 何第何番 自何第何番至何第何番 時價何圓(又ハ發行最低價格何圓)
- 右納付致度ニ付寄託通知書交付相成度候也
- 年 月 日 住 所

第三號書式

文部大臣官房會計課宛

教科用圖書翻刻發行人

何

某 印

參 照
印 紙

保證金納付書

一金何圓也

保證金額

但何々金庫第何號保管證書ノ通

外ニ

一 質權設定證書

何 通

一 第三債務者へ通知ノ請書(又ハ承諾書)

何 通

一 何々(質權設定ニ關シ必要ナル書類アルトキ)

何 通

右納付候也

年 月 日

住 所

教科用圖書翻刻發行人

何

某 印

(第三者ヨリ質權ノ設定ヲナシタルトキハ逆書ヲ要ス)

文部大臣官房會計課長宛

第四號書式

應 金 高
印 紙

質權設定證書

(無記名ノ例)

一何圓券何々公債證書

何枚

何第何番 自何第何番至何第何番

右ハ拙者ノ所有ニ有之候處教科用圖書翻刻發行ノ保證金トシテ納付候ニ付質權設定候也

又ハ

右ハ拙者ノ所有ニ有之候處何縣何國何郡市何町村何番地何某ノ爲ニ教科用圖書翻刻發行ノ保證金トシテ納付シ質權設定候也

(記名ノ例)

何枚

一何誰記名何圓券何々公債證書

何第何番 自何第何番至何第何番

右ハ拙者ノ所有ニ有之候處教科用圖書翻刻發行ノ保證金トシテ納付候ニ付質權ヲ設定シ第三債務者ヘ通知ノ證(又ハ承諾書)添付候也

又ハ

右ハ拙者ノ所有ニ有之候處何縣何國何郡市何町村何番地何某ノ爲ニ教科用圖書翻刻發行ノ保證金トシテ納付候ニ付質權ヲ設定シ第三債務者ヘ通知ノ證(又ハ承諾書)添付候也

年月日

住所

備考

教科用圖書翻刻發行人(又ハ第三者) 何 某 印
文部大臣官房會計課長宛

- 一 公債證書ノ種類、券面額毎ニ區分列記スルモノトス
- 一 記名ト無記名及質權設定者ノ異ナル毎ニ別紙ニ調製スルモノトス

◎島根縣令之部

●島根縣令第二十四號

(明治二十年三月九日)

諸學校設置廢止規則

諸學校設置廢止規則別冊ノ如ク定ム

(別冊)

第一條 町村立學校小學校ハ除ク以下皆同シヲ設置セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ其管理者ヨリ伺出ヘシ

但設置ノ後第一項乃至第五項ヲ變更セントスルトキハ其事由ヲ具シ伺出ヘク第六項以下ノ變更ハ開申スヘシ

- 一 設置ノ目的區域位置及ヒ敷地建物
- 一 學科程度及ヒ教科用圖書
- 一 教授ノ要旨及ヒ試驗法
- 一 入學退學授業料寄宿舍等ノ規則生徒心得及ヒ罰則
- 一 經費ノ收入支出
- 一 教科用標本及ヒ器械
- 一 授業時間及ヒ休業定日
- 一 生徒ノ定員

- 一 校員職務心得及ヒ其人員俸額
- 一 校長教員等學業及ヒ其他ノ履歷
- 一 名稱
- 第二條 私立學校ヲ設置セントスルトキハ第一條ニ準シ校主ヨリ伺出ヘシ
- 第三條 町村立幼稚園ヲ設置セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ其管理者ヨリ伺出ヘシ
 - 但シ設置ノ後第一項乃至第三項ヲ變更セントスルトキハ其事由ヲ具シ伺出ヘク
 - 第四項以下ノ變更ハ開申スヘシ
 - 一 設置ノ目的區域位置及ヒ敷地建物
 - 一 保育規則園則及ヒ保育用圖書器具
 - 一 經費ノ收入支出
 - 一 幼兒ノ定員
 - 一 保母等學業及ヒ其他ノ履歷
 - 一 保母等職務心得及ヒ人員俸額
 - 一 名稱
- 第四條 私立幼稚園ヲ設置セントスルトキハ第三條ニ準シ其ノ主者ヨリ伺出ツヘシ
- 第五條 町村立書籍館ヲ設置セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ其管理者ヨリ伺出ヘシ
 - 一 設置ノ目的區域位置及ヒ敷地建物
 - 一 經費ノ收入支出
 - 一 書籍ノ種類及ヒ部數
 - 一 監守人員及ヒ俸額
 - 一 名稱

- 但設置ノ後第一項乃至第三項ヲ變更セントスルトキハ其事由ヲ具シ伺出ヘク第四項以下ハ開申スヘシ
- 一 設置ノ目的區域位置及ヒ敷地建物
- 一 規則
- 一 經費ノ收入支出
- 一 書籍ノ種類及ヒ部數
- 一 監守人員及ヒ俸額
- 一 名稱
- 第六條 私立書籍館ヲ設置セントスルトキハ第五條ニ準シ其ノ主者ヨリ伺出ツヘシ
- 但敷地建物ノ變更ハ圖面ヲ付シテ開申スヘシ
- 第七條 町村立學校幼稚園書籍館ヲ合併若クハ分離セントスルトキハ總テ設置ノ手續ニ從ヒ且左ノ二項ヲ詳具シ其管理者ヨリ伺出ツヘシ
 - 第一 合併ノ事由
 - 第二 資産ノ處分方
 - 一 家屋
 - 二 圖書標本及ヒ器械

三 資本金穀
 四 敷地
 但無代價下渡ノ土地ハ其旨ヲ記載スヘシ

五 附屬地
 六 雜具

第八條 町村立學校幼稚園書籍館ヲ廢止セントスルトキハ左ノ二項ヲ詳具シ其管理
 者ヨリ伺出ツヘシ

第一 廢止ノ事由
 第二 資產ノ處分方

一 家屋
 二 圖書標本及ヒ器械
 三 資本金穀

四 敷地
 但無代價下後ノ土地ハ其旨ヲ記載スヘシ

五 附屬地

六 雜具

第九條 私立學校幼稚園圖書館ヲ廢止セントスルトキハ其事由ヲ具シ該主者ヨリ開
 申スヘシ

第十條 學校幼稚園書籍館ニ於テ教育上ニ弊害アリト認定シ若クハ規則ニ違反スル
 コトアルトキハ之ヲ停止スルコトアルヘシ

●島根縣令第十六號

(明治二十五年二月十八日)

市町村立幼稚園保母盲啞學校其他小學校ニ類スル各種學校長
 及ヒ教員ノ任用解職ニ關スル規則

出雲國 石見國

市町村立幼稚園保母盲啞學校其他小學校ニ類スル各種學校長及ヒ教員ノ任用解職ニ
 關スル規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一條 市町村立幼稚園保母盲啞學校及ヒ各種學校長並教員ノ任用ハ市町村長若ク
 ハ町村組合長ヨリ知事ニ申請スヘシ

第二條 前條保母若クハ教員任用ノ申請ヲナスニハ左ノ事項ヲ具シ且履歷書及ヒ教
 員免許狀寫ヲ添フヘシ

一 保母若クハ教員候補者ノ族籍氏名年齡
 二 任用スヘキ幼稚園若クハ學校ノ名稱

三 俸給額

第三條 知事ニ於テ前條ノ候補者適當ナラスト認ムルトキハ之ヲ改メシムルコトア
 ルヘシ

第四條 幼稚園保母及ヒ學校長教員ノ解職ヲ要スルトキハ事狀ヲ具シ市町村長若ク

ハ町村組合長ヨリ知事ニ申請スヘシ
 第五條 幼稚園保母及ヒ學校長教員辭職セントスルトキハ市町村長若クハ町村組合長ヲ經テ知事ニ願出ツヘシ

●島根縣令第十七號

(明治二十五年二月十八日)

幼稚園圖書館盲啞學校各種學校及ヒ私立小學校等ノ設置廢止ニ

關スル規則

出雲國 石見國

明治二十四年壯文部省令第十八號第六條及ヒ第十二條ニ基キ幼稚園圖書館盲啞學校

各種學校及ヒ私立小學校等ノ設置廢止ニ關スル規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一條 市町村立幼稚園設置ノ許可ヲ請フ書面ニハ左ノ事項ヲ具スヘシ

但設置ノ後第一第二ヲ變更セントスルトキハ其事由ヲ具シ伺出ツヘク第三以下

ヲ變更セントキハ開申スヘシ

- 一 設置ノ趣旨、位置、敷地、建物
- 二 保育規程
- 三 保育用圖書器械
- 四 經費ノ定額
- 五 幼兒ノ定員

六 保母ノ員數俸額

七 名稱

第二條 市町村立圖書館設置ノ許可ヲ請フ書面ニハ左ノ事項ヲ具スヘシ

但設置ノ後第一第二ヲ變更セントスルトキハ其事由ヲ具シ伺出ツヘク第三第五

第六ヲ變更セントキハ其都度第四ヲ變更セントキハ翌年一月開申スヘシ

- 一 設置ノ趣旨、位置、敷地、建物
- 二 規則
- 三 經費ノ定額
- 四 圖書ノ種類及ヒ部數
- 五 職員ノ員數俸額
- 六 名稱
- 第三條 市町村立盲啞學校其他小學校ニ類スル各種學校設置ノ許可ヲ請フ書面ニハ左ノ事項ヲ具スヘシ
- 但設置ノ後第一第二ヲ變更セントスルトキハ其事由ヲ具シ伺出ツヘク第三以下ヲ變更セントキハ開申スヘシ
- 一 設置ノ趣旨、位置、校舍、校地、體操場、農科ヲ設クル學校ニ於テハ農業練習場
- 二 規則
- 三 經費ノ定額

四 圖書ノ種類及ヒ部數
 五 職員ノ員數俸額
 六 名稱

第四條 私立幼稚園圖書館盲啞學校其他小學校ニ類スル各種學校設置ノ許可ヲ請フ書面ニハ第一條乃至第三條本文其變更ハ同條但書ニ準據スヘシ

第五條 私立小學校設置ノ許可ヲ請フ書面ニハ左ノ事項ヲ具スヘシ
 但設置ノ後第一第二ヲ變更セントスルトキハ其事由ヲ具シ願出ツヘク第三以下ヲ變更セシトキハ開申スヘシ

- 一 設置ノ趣旨、位置、校舎、校地、體操場、農科ヲ設クル學校ニ於テハ農業練習場
- 二 學校ノ等科、教科目、修業年限
- 三 資本ノ有無及ヒ其額並ニ經費ノ定額

四 生徒ノ定員
 五 教員ノ員數俸額
 六 名稱

第六條 左ノ一項若クハ數項ニ該當スル者ハ私立小學校設立者タルコトヲ得ス

- 一 新法ニ依リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ又ハ信用若クハ風俗ヲ害スル罪ヲ犯シテ罰金ノ刑ニ處セラレ又ハ監視ニ付セラレタル者
- 二 舊法ニ依リ懲役若クハ禁獄若クハ鎖錮ノ刑ニ處セラレタル者

三 未丁年者
 四 瘋癲白痴ノ者

第七條 市町村立幼稚園圖書館盲啞學校其他小學校ニ類スル各種學校廢止ノ許可ヲ請フ書面ニハ其事由ヲ具スヘシ

第八條 私立ノ小學校幼稚園圖書館盲啞學校其他小學校ニ類スル各種學校ノ廢止ヲ上申スル書面ニハ其事由ヲ具スヘシ

●島根縣令第六十號 (明治二十五年五月十日)

松江市小學校數並位置

松江市ニ於テ設置スヘキ尋常小學校ノ校數并ニ位置ヲ定ムルコト左ノ如シ
 校數 五 位置 母衣 北堀 內中原 灘町 雜賀

●島根縣令第六十三號 (明治二十五年五月十九日)

銃器ニ關スル届出方

兵式體操ノ爲メ學校ニ使用スル銃器ハ種類、員數及ヒ所有、借用ノ區別ヲ具シ届出ヘシ又向後更ニ之ヲ備ヘ若クハ異動アルトキハ其都度届出ヘシ
 但明治二十三年壯縣令第七十八號銃砲ニ關スル願届手續ニ關スルモノハ該手續ヲ了リタルモノタルヘシ(明治二十五年縣令第六十四號追加)

●島根縣令第九十一號 (明治二十六年九月一日)

公立學校職員職務上席次

島 縣 郡役所 市役所
戶長役場 町村役場

奏任文官又ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル公立學校職員職務上席次左ノ通ト心得
ヘシ

- 一 同官等又ハ同等級内ニ於テハ俸給額ニ依リ俸給額同シキトキハ任補ノ前後ニ依ル任補ノ日同シキ時ハ叙位ノ前後ニ依リ叙位ノ日同シキ時ハ前官職ノ席次ニ依リ前官職ノ席次ニ依ル能ハサル時ハ年長者ヲ上席トス
- 二 同等級内ニ於テ官職ヲ轉シタル場合ハ從前ノ席次ヲ變更セス
- 三 本官職ト兼官職ト其等級ヲ異ニスルトキ官職ニ據リ其席次ヲ定ムヘキ必要アル場合ハ當該官職ノ席次ニ依ル但官職ヲ區別スル必要ナキトキハ其ノ高キニ依ル
- 四 轉任ニ依リ降等シ及ヒ蠲退シタル者ハ現等級内ノ首席トス
- 五 最低額以下ノ俸給ヲ支給スル者ノ席次ハ最低額ノ者ト同等トス

●島根縣令第十三號 (明治二十八年一月十九日)

唱歌科歌詞樂譜ノ件

島 縣 郡役所 尋常師範學校

小學校唱歌科歌詞及ヒ樂譜ハ本縣小學校教科用トシテ定ムルモノ、外文部大臣ノ檢定ヲ經タル小學校教科用圖書中ニ在ルモノ又ハ文部省ノ撰定ニ係ルモノニ限り之ヲ供用スルコトヲ得

市役所 戶長役場 町村役場
市町村立小學校

●島根縣令第三十七號 (明治二十九年三月十八日)

出席兒童督責ノ件

明治二十七年ニ屬スル學事統計ニ於テハ學齡兒童修學ノ歩合ハ全國七等ニ別ツテ之ヲ比較シ而シテ本縣ハ其二等ニ位スルモ小學校在籍生徒ノ出席比例ニ於テハ生徒百人ニ付出席六十六人三步一厘ニシテ道廳府縣中本縣ノ下ニ在ルモノハ僅ニ三縣ニ止マレリ抑本縣ノ成績タル修學歩合ハ強テ他府縣ニ下ラサルモ出席歩合此ノ如ク低度ナルニ於テハ事實上修學兒童ニ於テモ名實相副ハサル者ノ多キヲ示スモノニシテ實際教育功程ノ進マサルコトヲ認ムヘキモノトス右ハ畢竟督責上周到ヲ缺クノ然ラシムル所ニシテ教育ノ隆進ヲ期スヘキ今日ニ際シ最モ注意ヲ要スヘキモノトス依テ自今出席督責上ニハ努メテ周到敏速ヲ期シ教育功程ノ進歩ヲ計ルヘシ

●島根縣令第十八號 (明治三十年三月二十四日)

代用私立小學校授業料規則

明治二十四年肥文部省令第一號ニ基キ文部大臣ノ許可ヲ得テ代用私立小學校授業料規則左ノ通定メ本年四月一日ヨリ施行ス

但シ明治二十五年二月本縣令第二十二號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

第一條 代用私立小學校授業料ハ其設立者ニ於テ左ノ範圍内ニ就キ市町村若クハ町村學校組合ノ承認ヲ經テ之ヲ定ムヘシ

一ヶ月金參拾錢以下

第二條 學校ノ休業全月ニ涉ルトキハ授業料ヲ徵收セサルモノトス

第三條 一家二名以上ノ兒童ヲ一學校ニ入學セシムルモノアルトキハ一名ハ授業料ノ全額ヲ徵收シ其他ハ半額ヲ減スルモノトス

第四條 代用私立小學校設立者ニ於テ授業料ノ徵收ヲ必要トセサルトキハ其學校ノ全生徒若クハ幾分ノ生徒ニ對シ之ヲ徵收セサルコトヲ得

●島根縣令第三十六號

(明治三十一年三月二十九日)

學校醫ニ關スル細則

學校醫設置ニ關スル細則左ノ通り相定メ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス

第一條 學校醫ハ明治三十一年五月ヲ限リ之ヲ置クヘシ

村立學校及人口五千未滿ノ町立學校ニ於テ當分ノ內學校醫ヲ置クヲ得サル事情アルトキハ戶長及町村長ハ其事情ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 學校醫ノ囑託ヲ請ハントスルトキハ學校名及手當金額ヲ具シ履歷書ヲ添ヘ

島司郡市長ヨリ申請スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ島司郡長ハ戶長町村長ノ意見ヲ聞クヘシ

第三條 學校醫ノ事務所ハ學校内ニ設クヘシ

第四條 學校醫職務規定第六條ニ依リ學校醫ヨリ申告ヲ得タルトキハ戶長町村長ハ

直ニ島司郡長ニ市長ハ知事ニ報告スヘシ

第五條 (明治三十五年縣令第四百二十四號刪除)

第六條 學校醫ノ申告及其他ニ付キ手續ヲ設クルノ必要アルトキハ島司郡市長之ヲ

定ムルコトヲ得

●島根縣令第五十六號

(明治三十三年九月四日)

教育資金使用規則

教育資金使用規則文部大臣ノ認可ヲ得テ左ノ通定ム

第一條 教育基金令第五條ニ依リ設備費ヲ貸付シ又ハ補助費ヲ下付スルハ校地校舍ノ設備最モ不完全ニシテ其ノ擴張若クハ改善ヲ急要ト認ムル場合ニ限ル但シ災害

ニ罹リ復舊ヲ要スルモノ又ハ特殊ノ事情アルモノハ此ノ限ニアラス

第二條 左ノ諸號ニ該當スルトキハ設備費ノ貸付及補助費下付ノ申請ヲ許可セス

一 市町村ノ資力學校設備ノ費用ヲ支出スルニ堪フルト認ムルトキ

二 小學教育ニ屬スル經常費支出額其ノ市町村ノ經常費支出總額ノ三分ノ一以內ナルトキ

第三條 尋常高等小學校ノ設備費ヲ貸付スルトキハ其ノ總費額ノ五分ノ三ヲ以テ尋常小學校ノ設備費トシ之ニ對シ貸付金額ヲ定ム補助費ヲ下付スル場合亦同シ

第四條 貸付金額ハ五拾圓ヲ以テ單位トス

第五條 貸付金償還期限ハ五箇年以內トス

第六條 貸付金ノ利子ハ毎年一月七月ノ兩度ニ前六箇月分ヲ徵收ス但シ利子ハ貸付ノ翌月ヨリ返納ノ月迄之ヲ納入セシム

第七條 設備費ノ貸付及補助ノ申請ヲサントスルトキハ其ノ理由ヲ詳述スルノ外左記ノ事項ヲ具スヘシ

一 工事設計書平面圖及斷面圖(増築ハ現在校舍ノ平面圖ヲモ添付スルヲ要ス)並ニ其ノ費額

二 起工及ヒ完成ノ期限

三 學齡兒童數及就學兒童數(卒業生ト在籍生トハ各別ニ調査スルヲ要ス)

四 市町村歲入出豫算表(附記說明ヲ式ノ如ク詳記スルヲ要ス)

五 償還方法

第八條 本則ニ於テハ町村組合町村學校組合小學校設置區域ハ一町村ト同視ス

第九條 區ノ負擔ニ屬スル設備ニ就キ市町村等ヨリ貸付ヲ申請シタルトキハ其ノ市町村等ニ於テ設備スルモノト同視シ之ヲ處理ス

第十條 本資金ハ教育基金令第八條ニ基キ初等教育上功績顯著ナル市町村立小學校教員又ハ市町村吏員ノ獎勵費ニ充ツルコトアルヘシ(明治三十八年縣令第三號追加)

●島根縣令第五十七號 (明治三十三年九月四日)

市町村立小學校教員加俸給與細則

市町村立小學校教員加俸給與細則文部大臣ノ認可ヲ得テ左ノ通定ム

第一條 加俸ハ其ノ金額ヲ二分シ毎年九月三月ニ之ヲ支給ス但シ休職退職死亡ノトキハ其ノ他ノ理由ニ依リ加俸ヲ受クヘキ資格ヲ失ヒタルトキハ其ノ際之ヲ支給ス

第二條 加俸ノ支給ハ總テ發令ノ當月ヨリ計算ス但シ特別加俸ヲ受クルモノ他ノ特別加俸ヲ受クヘキ學校ニ轉任シタル場合ニ於テハ翌月ヨリ計算ス

休職退職死亡ノトキ又ハ加俸ヲ受クヘキ資格ヲ失ヒタルトキハ年額ヲ月割計算トシ當月分迄ノ金額ヲ給ス

第三條 加俸ハ病氣又ハ其ノ他ノ事故ニ依リ缺勤スルモ減給スルコトナシ

第四條 特別加俸ヲ受クル者ニシテ他ノ學校ニ轉任シタルトキ及ヒ單級編制ノ學校ニシテ多級ノ編制トナリタルトキハ別ニ辭令ヲ受ケスシテ其ノ加俸ヲ失フモノトス

第五條 島司郡市長ニ於テ市町村立小學校教員加俸令第三條第六條及ヒ第七條ニ該當スル者アリト認ムルトキハ其ノ事由及ヒ關係事項ヲ詳具シ知事ニ申告スヘシ

附則

第六條 現ニ單級小學校ニ勤務スル者特別加俸ハ市町村立小學校教員加俸令施行前ヨリ就職スル者ハ本年四月ヨリ其ノ他ノ者ハ就職ノ當月ヨリ計算支給ス

第七條 市町村立小學校教育費國庫補助法第六條及ヒ市町村立小學校教員加俸令第十一條ニヨリ給與スル金額ノ支給方法ハ本則ニ準シ之ヲ處理ス

●島根縣令第六號 (明治三十四年二月十八日)

小學校令施行規則實施規程

小學校令施行規則實施規程別紙ノ通定ム

(別紙)

第一章 學期、教授ノ終始時刻休業日及證書

第一條 小學校ノ學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期 四月一日ヨリ八月三十一日マテ

第二學期 九月一日ヨリ十二月三十一日マテ

第三學期 一月一日ヨリ三月三十一日マテ

第二條 毎日ノ教授終始ノ時刻ヲ定ムルコト左ノ如シ(明治三十七年令縣第三號改正)

四月一日ヨリ同 三十一日マテ 午前九時ニ始業午後三時マテニ終業

十月一日ヨリ三月二十八日マテ 午前九時ニ始業午後三時マテニ終業

五月一日ヨリ九月三十日マテ 午前八時ニ始業午後二時マテニ終業

土地ノ狀況ニ依リ前項ノ時刻ヲ變更スルノ必要アルトキハ學校長ニ於テ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第二條ノ二 小學校令施行規則第二十條第一項ニ依リ毎日ノ教授時數ヲ減スルトキハ學校長ハ其ノ事由ヲ具シテ遲滯ナク島司郡市長ニ報告スヘシ(明治三十七年令縣第三號追加)

第三條 小學校令施行規則第二十七條第一項第三號乃至第六號ノ休業日ハ左ノ如シ(明治卅七年縣令第三號改正)

夏季休業 八月一日ヨリ八月三十一日マテ

冬季休業 十二月二十九日ヨリ一月七日マテ

學年末休業 三月二十九日ヨリ同三十一日マテ

鎮守祭日 學校所在地鎮守祭ニ限ル

官國幣社祭日 神社所在地ニ限ル

第四條 土地ノ狀況若クハ己ムヲ得サル事情ニ因リ臨時休業セントスルトキハ小學校令第二十七條ノ制限日數内ニ於テ市町村立小學校ニ在リテハ管理者私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ其ノ時日及事由ヲ具シ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第五條 卒業證書ノ式ヲ定ムルコト左ノ如シ(明治三十七年縣令第三號改正)

番號 卒業證書
校印

氏名 年月日生

尋常小學校(高等小學校)修業年限ノ教科ヲ卒業セシコトヲ證ス

島根縣何郡(市)(私立)何尋常(高等)又ハ尋常高等(小學校)校長氏名印

第二章 圖書審查

第六條乃至第八條 (明治三十七年縣令第三號刪除)

第三章 設備

第九條 校地、校舍、體操場及校具ハ學校ノ規模ニ適應スルヲ要ス (明治三十七年縣令第三號中改正並明治三十七年縣令第六號改正)

校地ハ道德上並衛生上害ナク且ツ兒童ノ通學ニ便利ナル場所ヲ選フヘシ

校舍ハ教授上、管理上並ニ衛生上適當ニシテ質朴堅牢ナランコトヲ要ス

第十條 (明治三十七年縣令第三號中改正、明治三十七年縣令第六號刪除)

第十一條 (明治三十七年縣令第六號刪除)

第十二條 二棟以上ノ建物ヲ並立シテ建築スルトキハ其ノ相互ノ距離ハ建物ノ高サ

ト同尺以上タルヘシ(明治三十七年縣令第六號ヲ以テ第一項刪除)

第十三條 (明治三十七年縣令第六號刪除)

第十四條 教室ノ構造ハ左ノ各項ニ依ルヘシ(明治三十七年縣令第六號改正)

幅四間以内長サ五間以内トシ兒童一人ニ付三尺平方ノ割合ヨリ小ナラサルヲ要ス

直射光線ヲ受クル窓ノ總面積ハ牀面積六分ノ一以上タルヲ要ス

出入口ハ二箇所ニ設クルヲ常例トス

天井ヲ設クル場合ニハ牀面ヲ距ルコト九尺以上タルヘシ (明治三十七年縣令第六號第一項第三項刪除)

第十五條 二階造ノ校舍ニハ二箇以上ノ階段ヲ設クルヲ常例トス

第十六條 (明治三十七年縣令第六號刪除)

第十七條 (明治三十七年縣令第六號刪除)

第十八條 便所ハ本舎ヲ距ルコト二間以上井又ハ埋糞ヲ距ルコト四間以上ノ位置ニ

之ヲ設ケ男女ヲ區別スルヲ要ス(明治三十七年縣令第六號改正)

第十九條 小學校ニ於テハ教科用圖書、教授上必要ナル掛圖標本器械器具、小學校ニ

關スル法令等ヲ備フヘシ(明治三十七年縣令第六號改正)

尋常高等小學校及高等小學校ニ於テハ前項ノ外尙ホ中學校、高等女學校、實業學校

等ニ關スル法令ヲ備フヘシ

第二十條 兒童用ノ机及腰掛ハ左表ノ標準ニ依リ兒童ノ身長ニ適應セシムヘシ(明治

三十七年縣令第六號改正)

項目	番號	第一號	第二號	第三號	第四號	第五號
身長		三三、〇〇以上 三六、三〇未滿	三六、三〇以上 三九、六〇未滿	三九、六〇以上 四二、九〇未滿	四二、九〇以上 四六、二〇未滿	四六、二〇以上 四九、五〇未滿
机ノ高		一五、五〇	一七、〇〇	一八、五〇	二〇、〇〇	二一、五〇
腰掛ノ高		八、六〇	九、四〇	一〇、二〇	一一、〇〇	一一、八〇
備考		本表ハ曲尺ノ寸ヲ以テ一位トス				

第二十一條 土地ノ情況ニ依リ成ルヘク教員ノ住宅ヲ設クヘシ

第二十二條 市町村立高等小學校及私立小學校ノ校地ヲ選定シ又ハ變更セントスル
トキハ市町村、町村學校組合又ハ設立者ニ於テ知事ノ認可ヲ受クヘシ(明治卅七年縣令第六號改正)

校舍ノ新築、増築、改築又ハ假設ヲ要スルトキモ亦前項ニ同シ

第二十三條 本章ノ規定中校舍ノ新築改築校具ノ新調等ニ際スルニアラサレハ適用シ難キモノハ其ノ時ヲ待テ之ニ依ルコトヲ得

第二十三條ノ二 校舍ヲ假設スル場合ニ於テハ本章第十四條第十五條第十八條及ヒ第二十一條ノ規定ニ依ラサルコト得(明治三十七年縣令第六號追加)

第二十四條 本章ノ規定ハ補習科ノ設備ニ關シ之ヲ適用セス

机腰掛ノ寸法

項目	番號	第一號	第二號	第三號	第四號	第五號
----	----	-----	-----	-----	-----	-----

身	机	机	机	腰掛ノ高	腰掛ノ幅	腰掛ノ長	倚		業
							男兒用	女兒用	
身長	机ノ高	机ノ幅	机ノ長	腰掛ノ高	腰掛ノ幅	腰掛ノ長	第一高	第二高	業
一〇、〇〇以上 一一、〇〇未滿	一五、五〇	一一、〇〇	三三、〇〇乃至 三六、〇〇	八、六〇	八、二〇	二六、〇〇乃至 三二、〇〇	五、〇〇	四、〇〇	一〇、〇〇
一一、〇〇以上 一二、〇〇未滿	一七、〇〇	同	同	九、四〇	九、〇〇	同	五、四〇	四、四〇	一〇、八〇
一二、〇〇以上 一三、〇〇未滿	一八、五〇	同	三六、〇〇	一〇、二〇	九、八〇	三二、〇〇	五、八〇	四、八〇	一一、六〇
一三、〇〇以上 一四、〇〇未滿	二〇、〇〇	同	同	一一、〇〇	一〇、六〇	同	六、二〇	五、二〇	一二、四〇
一四、〇〇以上 一五、〇〇未滿	二一、五〇	同	同	一一、八〇	一一、四〇	同	六、六〇	五、六〇	一三、二〇

本表中身長欄ハ「センチメートル」其括弧内ノ數及机ノ高以下ハ曲尺ノ寸法ヲ以テ一位トス

第四章 就學

第二十五條 其ノ年四月就學ノ始期ニ達スヘキ兒童及其ノ年三月就學猶豫ノ期滿ツヘキ兒童ノ入學スヘキ期日ノ通知又ハ入學スヘキ學校ノ指定ハ市長戸長町村長ニ

於テ毎年一月之ヲ行フヘシ(明治三十七年縣令第三號中改正)

第二十六條 市長戸長町村長ハ學齡兒童ニシテ其ノ市町村ニ來往シ其ノ學年ニ於テ就學セシムヘキ事由アル者ハ學齡簿ニ記入スルト同時ニ其ノ他臨時就學セシムヘキ者アルトキハ其ノ都度保護者ニ對シ入學期日ヲ定メ就學ノ通知ヲ爲スヘシ(明治三十七年縣令第三號中改正)

第二十七條 市長戸長町村長ハ前二條ノ通知ヲ爲スト同時ニ關係學校長ニ對シ小學校令施行規則第八十三條ノ通知ヲ爲スヘシ(明治三十七年縣令第三號中改正)

第二十八條 兒童保護者ニ於テ左ノ事項ヲ申立テントスルトキハ第二十五條ニ在リテハ通知ヲ受ケタル後二十日以内ニ其ノ他ニ在リテハ入學期日前ニ之ヲ行フヘシ

- 一 就學猶豫又ハ就學義務免除ノ件
- 二 他ノ尋常小學校ニ入學セシムヘキ件
- 三 家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修メシムヘキ件

前項ノ申立ヲ受ケタル市長戸長町村長ハ速ニ之ヲ處理スヘシ
市長戸長町村長ハ就學ヲ猶豫シ又ハ免除スヘキ理由ナシト認ムルトキハ更ニ書面ヲ以テ其ノ期日ヲ定メ出席ヲ命スヘシ

第二十九條 市長町村長ニ於テ家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修メシムヘキ認可ヲ與ヘタルトキハ直チニ監督官廳ニ報告スヘシ一旦認可ヲ與ヘタル後取消シタル場合亦同シ

第三十條 就學ヲ猶豫セラレ又ハ就學義務ヲ免除セラレタル者ニシテ其事項止ミタルトキハ兒童保護者ヨリ市長戸長町村長ニ其ノ旨申立ツヘシ

第三十一條 教育事務ノ委託ヲ爲シタル地ノ町村長ハ新ニ就學スヘキ兒童ノ氏名其ノ他必要ノ事項ヲ記シ其ノ都度被委託地町村長ニ通報スヘシ異動アリタルトキ亦同シ

第三十二條 市長戸長町村長ハ管轄區域外ヨリ通學シテ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル兒童ニ關シ現住地ノ市長戸長町村長ノ行務ニ必要ナル事項ニ就キテハ總テ前條ノ例ニ依ルヘシ

第三十二條ノ二 市長戸長町村長ハ小學校令施行規則第九十三條ニ依リ就學又ハ出席ノ督促ヲ爲スモ仍就學又ハ出席セシメサルトキハ同規則第九十一條若クハ第九十二條ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ監督官廳ニ報告スヘシ(明治三十七年縣令第三號追加)

第三十三條 就學兒童ニシテ傳染病ニ罹リ又ハ其ノ家内ニ傳染病者アルトキハ市長戸長町村長ニ於テ直チニ其ノ兒童ノ就學セル學校長ニ通知スヘシ

第三十四條 學校長ハ小學校令第三十八條ノ規定ニ依リ就學兒童ノ出席ヲ停止シタルトキハ關係市長戸長町村長ニ通知スルト同時ニ監督官廳ニ報告スヘシ其ノ停止ヲ解キタルトキ亦同シ

第三十五條 市長戸長町村長ハ毎年就學ニ關シ左式ノ調査表ヲ製シ市長ハ六月中知

事ニ戸長町村長ハ五月中島司郡長ニ報告スヘシ(明治三十七年縣令第三號中改正)
 就學調査表
 (四月末日現在)

學齡	就學		不學		合計	
	就學		不學		合計	
	男	女	男	女	男	女
三月以前尋常小學校ニ入學シタル者						
四月新ニ尋常小學校ニ入學シタル者						
既ニ尋常小學校ヲ卒業シタル者						
合計						
成規ニ依リ猶豫ノ者						
成規ニ依リ免除ノ者						
其ノ他						
合計						
就學	男女百人中就學					
歩合	男女百人中就學					
	女百人中就學					

備考

- 一 學齡人員ハ本籍ト寄留トヲ問ハス四月末居住人ノ内其ノ月一日以前就學ノ始期ニ達シタル兒童ノ數ヲ掲ケヘシ
 - 二 就學欄中(尋常小學校)トアルハ家庭又ハ其他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムルモノヲモ包含ス
 - 三 不就學欄中(其ノ他)ノ項ニハ兒童ノ居所不明ナル者事項アリテ猶豫免除ノ手續ヲ完了セサル者等ヲ計入スヘシ
 - 四 就學歩合ノ計算ハ小數二位ニ止ム
- 第三十六條 前條報告ヲ受ケタル島司郡長ハ之ヲ統計シテ六月中知事ニ報告スヘシ
- 第五章 小學校教員檢定及ヒ免許狀
- 第三十七條 小學校教員試驗檢定ハ左ノ區分ニ依リ毎年五月之ヲ施行ス(明治三十八年七月縣令)

小學校本科正教員
 尋常小學校本科正教員
 小學校准教員
 尋常小學校准教員

試驗場(師範學校、島縣、郡役所、八束郡役所ヲ除ク)

試驗科目中ノ體操科ハ他ノ科目ニ合格シタルトキ師範學校ニ於テ之ヲ試ム

小學校專科正教員 試驗場 師範學校

試驗檢定期日ハ其都度之ヲ告示ス

小學校教員講習科ヲ修了シタル者ノ試驗檢定ニ關シテハ前二項ノ限リニアラス

第三十八條 (明治三十八年七月縣令第二十六號ヲ以テ削除)

第三十九條 試驗檢定又ハ無試驗檢定ヲ受ケントスル者ハ氏名住所族籍生年月種類等ヲ記シタル願書ニ學業業務賞罰等ニ關スル履歷書ヲ添へ島應郡市役所ヲ經由シ知事ニ願出ツヘシ

試驗檢定願書ハ毎年二月中島應郡市役所ニ差出シ島司郡市長ハ手数料金額並ニ收入月日ヲ記入シ主任者ヲシテ檢印セシメ翌月十五日マテニ當廳ニ進達スヘシ

(明治三十八年七月縣令第二十六號改正)

無試驗檢定ニ就キテハ隨時前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十條 師範學校小學校教員講習科ヲ修了シタル者ハ修了後十日以内ニ學校長ヲ經由シ試驗檢定ヲ願出ツヘシ

第四十一條 師範學校長島司郡市長ハ檢定願書ニ小學校令施行規則第四百條ノ取調書ヲ添付スヘシ

第四十二條 檢定出願者ハ手数料ヲ納ムヘシ其ノ額左ノ如シ但シ本規程第四百條ニ依ルモノハ此ノ限ニアラス

小學校本科正教員及ヒ同專科正教員

金五拾錢
金四拾錢

小學校准教員

尋常小學校本科正教員
尋常小學校准教員

金四拾錢
金參拾錢

前項手数料ハ市ニ居住スル者ハ市役所ニ町村ニ居住スル者ハ島應郡役所ニ納ムヘシ檢定ヲ受クルコトヲ得ヘキ者ノ願書ヲ當廳ニ於テ受理シタルトキハ其手数料ハ一切還付スルコトナシ

第四十三條 試驗檢定ヲ受ケタル者ニシテ其ノ試驗ニ合格セサルモ某科目ノ成績佳良ナルトキハ其ノ科目ノ成績ニ關シ證明書ヲ授與ス

第四十四條 小學校本科正教員試驗科目中音樂手工農業商業英語ハ之ヲ闕キ女子ノ爲メニハ尙體操ヲ闕ク

第四十五條 小學校准教員試驗科目中唱歌手工農業商業ハ之ヲ闕キ女子ノ爲メニハ尙體操ヲ闕ク(明治三十七年縣令第三號追加)

第四十六條 尋常小學校本科正教員試驗科目中漢文音樂ヲ闕キ數學ハ算術歴史ハ日本歴史ニ限ル女子ノ爲メニハ尙體操ヲ闕キ裁縫ヲ加フ

第四十七條 尋常小學校准教員試驗科目中理科唱歌ハ之ヲ闕キ女子ノ爲メニハ尙體操ヲ闕ク

第四十八條 教員免許狀ノ書換若クハ再渡ヲ出願セントスル者ハ事由ヲ詳具シ島應郡市役所ヲ經由シテ知事ニ願出ツヘシ(明治三十八年七月縣令第二十六號改正)

前項ノ出願者ハ第四十二條第二項ニ準據シ手数料金參拾錢ヲ納ムヘシ

島司郡市長ニ於テ第一項ノ願書ヲ受理シタルトキハ第三十九條第二項ノ手續ニ準
 據シ其ノ都度當廳ニ進達スヘシ
 第四十九條 檢定願書及ヒ履歷書式左ノ如シ(明治三十七年縣令第三號中改正)
 願書式

小學校教員試驗檢定(無試驗檢定)願

住所族籍

種類 小學校本科正教員
專科何科等ノ如シ

試驗場 試驗檢定ニ限ル
 但シ專科ヲ除ク

私義頭書ノ通本縣小學校教員志願ニ候條試驗檢定(無試驗檢定)相受度別紙履歷書
 相添此段相願候也

年 月 日

右

何 某印

島根縣知事何某殿

履歷書式

履 歷 書

氏 名

生 年 月

學 業
 一年月日何校入學年月日何々卒業證書寫別紙ノ通
 一年月日何免許狀何證明書ヲ受ク寫別紙ノ通
 業 務
 一年月日何々拜命退職等
 賞 罰
 一年月日何所ニ於テ何々ニ付賞或ハ罰ヲ受ク
 右ノ通ニ候也

右

何 某印

年 月 日

第六章 職 員
 第一節 學校長及ヒ教員進退

第五十條 島司郡市長ニ於テ小學校長教員ノ新任ヲ申請スルトキハ本人ノ履歷書ヲ
 添付スヘク轉任ヲ申請スルトキ他郡市在職者ナル場合ニ於テハ關係島司郡市長ノ
 連署ヲ要ス
 第五十條ノ二 小學校長教員ノ休職及ヒ退職ハ小學校令施行規則第二百二十六條第
 二號及ヒ本規程第五十七條第二號ノ場合ヲ除クノ外島司郡市長ニ於テ之ヲ申請ス
 ルコトヲ得(明治三十八年七月縣令
 第二十六號ヲ以テ追加)

第五十一條 明治三十年勅令第二號ノ義務額以上ノ俸給ヲ給スルトキ及ヒ休職者ニ俸給ヲ給スルトキノ申請書ニハ島司郡市長ハ豫メ給料額ニ關スル市町村村學校組合又ハ其ノ區ノ同意書ヲ專科教員若クハ准教員ヲ任用又ハ増俸スルトキノ申請書ニハ島司郡市長ハ豫メ給料額ニ關スル市參事會戶長町村長ノ意見書ヲ徵シ添付スヘシ但シ小學校令施行規則第三十五條第二項第二十三條第一項ニ該當スル准教員ヲ任用又ハ増俸スルトキ又ハ一旦確定シタル俸給額以內ニ於テ任用又ハ増俸スルトキハ此ノ限ニアラス(明治三十七年縣令第三號改正)

第五十二條 島司郡市長小學校令施行規則中第二百二十二條第二百二十六條ニ依リ小學校正教員ノ休職並退職ヲ申請セントスル場合ニ於テ第二百二十二條第一號ニ該當スルモノナルトキハ職務ニ基因セシヤ否職務ヲ行フニ妨アルヤ否第二百二十六條第一號又ハ第二號前段ニ該當スルモノナルトキハ職務ニ基因セシヤ否終身職務ニ堪ヘサルヤ否ヲ證明スルニ足ルヘキ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第五十三條 小學校准教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ休職ヲ命スルコトアルヘシ

- 一 傷疾ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ職務ヲ行フニ妨アルトキ
- 二 學校編制ノ變更又ハ訴願ノ裁決ニ因リ過員ヲ生シタルトキ
- 三 教員養成ヲ目的トスル官立府縣立學校ニ入學スルトキ
- 四 刑事事件ニ關シ告訴若クハ告發セラレタルトキ

第五十四條 小學校准教員ニシテ陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタル者ハ當然休職者トス但シ陸軍六週間現役ニ服スル者ハ此ノ限リニアラス

第五十五條 休職ノ期間ハ第五十三條第一號第二號及ヒ第五十八條ノ二ノ場合ニ在リテハ一箇年トシ第五十三條第四號ノ場合ニ在リテハ其ノ事件ノ裁判所ニ繫屬中トシ同條第三號及ヒ第五十四條ノ場合ニアリテハ其ノ事故止ミタル後尙三箇月トス(明治三十八年七月縣令第二十六號改正)

第五十六條 小學校准教員休職者ハ職務ニ從事セサル外總テ在職者ト異ナルコトナシ

但シ別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニアラス

第五十七條 小學校准教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ニ退職ヲ命スルコトアルヘシ

- 一 不具癡疾ニ因リ又ハ身體若クハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルニ堪ヘサルトキ
- 二 傷疾ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ其ノ職ニ堪ヘサルニ因リ又ハ自己ノ便宜ニ因リ退職ヲ出願シタルトキ
- 三 休職者復職シタル爲メ其ノ代員ヲ要セサルトキ

第五十八條 第五十三條第一號第五十七條第一號及ヒ第二號前段ニ該當シ休職並退職ヲ申請スル場合ニ於テハ第五十二條ヲ適用ス

第五十八條ノ二 第五十三條又ハ第五十七條ノ事由ニ因ラスシテ休職又ハ退職ヲ

命スル必要アリト認メタルトキハ特別ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ(明治三十八年七月縣令第廿六號追加)

第五十九條 小學校准教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當然退職者トス

一 當該學校ノ廢セラレタルトキ

二 休職期間滿チタルトキ

第六十條 小學校教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ島司郡市長ハ直チニ之ヲ知事

ニ報告スヘシ

一 免許狀ノ効力ヲ失ヒタルトキ

二 當然退職者トナリタルトキ

三 當然退職者トナリタルトキ

四 死亡シタルトキ

第六十一條 小學校教員ノ俸給ヲ減額スルノ必要アルトキハ島司郡市長ニ於テ本人

ノ承諾書ヲ徵シ其ノ理由ヲ具シ知事ニ申請スヘシ(明治三十五年縣令第百廿五號改正)

第二節 學校長教員ノ職務及ヒ服務

第六十二條 小學校長事故アルトキハ上席教員其ノ職務ヲ代理スヘシ

第六十三條 小學校長又ハ教員ニシテ轉任休職退職免職ノ場合ニ於テハ其ノ管掌ノ

事務ヲ學校長ハ後任者又ハ上席教員ニ其ノ他ハ學校長ニ引繼クヘシ但シ引繼ヲ受

クヘキ者ナキトキハ學校管理者ニ引繼クヘシ

前項ノ引繼ヲ了ヘタルトキハ双方連署ノ上其ノ旨所轄島司郡市長ニ届出ツヘシ但

シ學校長ノ事務ニ屬セサル引繼ハ此ノ限ニアラス(明治三十七年縣令第三號追加)

第六十四條 小學校長教員新任又ハ轉任ノトキハ辭令ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ

出發赴任シ到着ノ上ハ所轄島司郡市長ニ届出ツヘシ

前項ノ期限内ニ出發シ難キ事情アルトキハ其ノ事由ヲ具シ期限ヲ定メ所轄島司郡

市長ノ許可ヲ受クヘシ

第六十五條 小學校長教員休業中旅行セントスルトキハ其ノ行先及ヒ日數ヲ記シ所

轄島司郡市長ニ届出ツヘシ

第六十六條 小學校長教員忌引ヲナストキハ其ノ續柄ヲ記シ所轄島司郡市長ニ届出

ツヘシ

第六十七條 小學校長教員父母ノ祭日ニ丁リ休暇セントスルトキハ其ノ旨所轄島司

郡市長ニ届出ツヘシ

第六十八條 小學校長教員疾病ニ因リ遲參又ハ缺勤スルトキハ始業時限前ニ學校ニ

届出ツヘシ但シ單級小學校ノ教員ニ在リテハ學校及ヒ學校管理者ニ報知スヘシ

前項ノ欠勤日數七日ニ及フトキ及ヒ其後毎十日ヲ超ユルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添

ヘ所轄島司郡市長ニ届出ツヘシ(明治三十七年縣令第三號中改正)

第六十九條 小學校長教員轉地療養ノ爲メ旅行セントキハ其ノ行先及ヒ期限ヲ記シ

タル願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ所轄島司郡市長ノ許可ヲ受クヘシ

第七十條 小學校長教員左ノ各號ノ一ノ事由アルトキハ期限ヲ定メ所轄島司郡市長

ノ許可ヲ受ケ缺勤スルコトヲ得但シ父母ノ病氣急劇ナル場合ニ於テハ許可ノ指令ヲ待タス其ノ旨届出テ出發スルコトヲ得(明治三十七年縣令第三號中改正)

- 一 教育ニ關スル集會又ハ講習會ニ出席スルトキ
 - 二 教育ニ關スル取調ノ爲メ旅行スルトキ
 - 三 教員檢定試驗又ハ教員ノ養成ヲ目的トスル學校ノ入學試驗ニ應スルトキ
 - 四 父母ノ看病ヲナストキ
 - 五 父母ノ墓參ヲナス爲メ旅行スルトキ
 - 六 法律ノ規定ニ依リ召喚ニ應スヘキトキ又ハ選舉權ヲ行フトキ
- 前項第四號ノ場合ニ於テハ父母ノ病狀ニ係ル醫師ノ診斷書又ハ家族等ノ通知書ヲ願書ニ添ヘ差出スヘシ

第七十二條 小學校ニ於テハ左ノ表簿ヲ備ヘ學校長之ヲ整理スヘシ(明治三十七年縣令第三號中改正)

- 學籍簿
- 兒童出席簿
- 備品原簿
- 職員出勤簿
- 兒童成績簿
- 兒童身體檢查表 (學校醫アル學校ニ限ル)
- 兒童賞罰錄

- 卒業生名簿
- 學校一覽表
- 學校沿革誌
- 學校日誌
- 教授細目
- 教授案

第三節 俸給
第七十二條 小學校教員ノ月俸額ヲ定ムル左表ノ如シ

職名	等級	
	上	下
本科正教員	七拾五圓	六拾五圓
	六拾五圓	五拾五圓
專科正教員	四拾圓	三拾圓
	卅五圓	廿七圓
准教員	二拾圓	拾七圓
	拾八圓	拾六圓

附則

本令ハ明治三十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ施行ノ際別ニ辭令ヲ受ケサルモノ現ニ受クル俸給額ニ相當スル等級俸ヲ受ク
(明治三十八年縣令第九號改正)

本科正教員ニシテ一級上俸ヲ受ケ特ニ功勞アル者ニハ漸次百圓マテ増スコト
アルヘシ

土地ノ狀況ニ依リ最下俸ヲ高等小學校本科女正教員尋常小學校本科男正教員
ハ八圓尋常小學校本科女正教員尋常小學校專科女正教員ハ六圓高等小學校女
准教員尋常小學校男准教員ハ五圓尋常小學校女准教員ハ四圓マテニ減スルコ
トアルヘシ

第七十三條 專科正教員ノ俸給ハ其ノ教授時數ニ應シ等級相當ノ俸給額ヲ減スルコ
トアルヘシ

第七十四條 教員ニシテ他ノ公立學校ノ教員ヲ兼ヌル者ニハ關係學校ノ經費ヨリ其
ノ俸給ヲ分割支給スルコトアルヘシ(明治三十五年縣令第百廿五號改正)

第七十五條 教員ノ俸給ハ其ノ意ニ反シテ之ヲ減スルコトナシ

第七十六條 休職者ニハ俸給ヲ給セス但シ知事ニ於テ市町村村學校組合又ハ區ノ
同意ヲ得タルトキハ其ノ一部又ハ全部ヲ給スルコトアルヘシ

第七十七條 教員ニシテ在職ノ儘小學校教員講習科ニ入學スル者ニハ前條ノ規定ヲ
準用ス

第七十八條 俸給ハ毎月二十三日ニ支給ス若シ休日ニ當ルトキハ順次繰下ク但シ轉
任休職退職免職失職死亡ノトキハ其ノ際之ヲ支給ス

第七十九條 俸給ハ新任復職増俸減俸トモ總テ發令ノ翌日ヨリ計算ス

第八十條 轉任者ノ俸給ハ其ノ發令ノ當日マテ甲校ノ負擔トシ翌日以後ノ分ハ乙校
ニ於テ之ヲ支給ス

第八十一條 休職退職又ハ死亡ノトキハ當月分ノ俸給全額ヲ給ス但シ疾病又ハ私事
ノ故障ニ依リ減額ノ者ナルトキハ其ノ減給ノ全額トス

第八十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當月分ノ俸給ハ日割ヲ以テ支給ス
一 懲戒ニ依リ免職ニ處セラレタルトキ

二 免許狀褫奪又ハ免許狀ノ失効ニ依リ教員ノ職ヲ失ヒタルトキ

第八十三條 疾病ノ爲メ執務セサルコト九十日ヲ超エタルトキハ俸給ノ半額ヲ減ス
但シ職務ノ爲メ傷痕ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ執務セサル日數又ハ夏季冬季及ヒ學
年末ノ休業日ハ算入セス(明治三十五年縣令第七十五號中改正、明治三十七年縣令第三號中改正)

第八十四條 私事ノ故障ニ依リ執務セサルコト三十日ヲ超エタルトキハ俸給ノ半額
ヲ減ス但シ忌引又ハ夏季冬季及ヒ學年末ノ休業日ハ算入セス(明治三十五年縣令第七十
五號改正、明治三十七年縣令第三號中改正)

第八十五條 (明治三十七年縣令第三號削除)

第八十六條 日割計算ノ法ハ其ノ月ノ現日數ニ依ル但シ計算上釐位未滿ノ端數ハ切

第八十七條 教員ニシテ陸軍給與令又ハ海軍軍人俸給令ニ依リ俸給ヲ受クル者ニハ其ノ間俸給ヲ給セス但シ其ノ額本職ノ俸給額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ヲ補給ス

第八十八條 教員死亡シタルトキハ其在職中ト休職中トニ拘ハラズ在職最終ノ俸給月額三箇月分ヲ其ノ遺族ニ給スヘシ但シ遺族トハ官吏遺族扶助法ニ於テ遺族ト稱スル者ヲ謂フ(明治三十七年縣令第三號中改正)

第四章 旅費

第八十九條 小學校教員ノ旅費額標準ヲ定ムル左表ノ如シ(明治三十七年縣令第三號中改正)

職名	每車	每船	每馬	每宿	夜料	每日
正教員	四三錢以上	三錢以上	四錢以上	十五錢以上	五十錢以上	三十錢以上
准教員	三錢以上	二錢以上	三錢以上	十二錢以上	四十錢以上	二十錢以上
職員	三錢以下	二錢以下	三錢以下	十錢以下	三十錢以下	十錢以下

旅費支給法ハ内國旅費規則ノ例ニ依ル兒童修學旅行監督ノ爲メ又ハ教育視察教育集會等ノ爲メ旅行スル者ニハ前表ニ依ラス管理者ニ於テ監督官廳ノ認可ヲ得テ實費若クハ一定ノ額ヲ給スルコトヲ得

第五章 諸給與

第九十條 小學校教員ニシテ一週三十時ヲ超エ教授ヲ擔任スル者ニハ手當ヲ給ス

第九十一條 小學校長又ハ教員ニシテ特ニ勤勞アル者ニハ慰勞金ヲ給スルコトアルヘシ

第九十二條 小學校教員ニシテ宿直スル者ニハ賄料ヲ給スヘシ

第九十三條 小學校長又ハ教員ニシテ職務ノ爲メ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタル者ニハ療治料ヲ給スヘシ

第九十四條 小學校教員ニハ土地ノ狀況ニ依リ住宅料ヲ給スヘシ

第九十五條 第九十條第九十一條ニ依リ給スル金額ハ管理者ノ意見ヲ聞キ之ヲ決定ス第九十二條乃至第九十四條ニ依リ給スル金額ハ管理者ニ於テ決定シ其ノ都度監督官廳ニ報告スヘシ

第六節 代用教員俸給旅費諸給與

第九十六條 小學校代用教員ノ月俸額ハ四圓以上貳拾圓以下トス

但シ土地ノ狀況ニ依リ代用女教員ノ月俸ヲ最下級額以下ニ減スルコトヲ得

第九十七條 小學校代用教員ノ旅費額標準ヲ定ムル左表ノ如シ

每車	每船	每馬	每宿	夜料	每日
二錢以上	三錢以上	四錢以上	十二錢以上	四十錢以上	二十錢以上
三錢以下	二錢以下	三錢以下	十錢以下	三十錢以下	十錢以下

第九十八條 俸給ノ支給方法ハ第七十八條乃至第八十六條ヲ準用ス

但シ退職ハ十五日以前ハ月俸ノ半額十六日以後ハ同全額ヲ給ス

第九十九條 旅費ノ支給方法及ヒ諸給與ノ給與ハ第四節第五節ヲ準用ス

第一百條 本章ニ小學校トアルハ市町村立小學校ヲ謂フ

第七章 幼稚園々長保母及ヒ小學校ニ類スル各種學校校長教員ノ採用解職

第一百一條 市町村立幼稚園々長保母及ヒ各種學校々長教員ノ任用又ハ轉任ニ關シテ

ハ第五十條ノ規定ヲ準用ス

第一百二條 市町村立幼稚園々長保母及ヒ各種學校々長教員ノ解職ヲ要スルトキハ島司郡市長ニ於テ事由ヲ具シ知事ニ申請スヘシ

附則

第一百三條 本令ニ關シ小學校長教員ヨリ島司郡市長ニ差出スヘキ書面ハ學校及ヒ所轄戸長役場町村役場ヲ經由シ戸長町村長又ハ設立者等ヨリ知事ニ差出スヘキ書面

ハ所轄島廳郡市役所ヲ經由スヘシ

第一百四條 本令施行ノ際市町村立小學校教員ニシテ別ニ辭令ヲ受ケサル者ハ第七十二條ニ據リ現ニ受ケル俸給ニ相當スル等級俸ヲ受ク但相當スル額ナキトキハ當分

ノ内等級中其ノ額ヲ減シ現俸ヲ受ク

第一百五條 明治二十五年ハ本縣令第十三號同凡本縣令第八十八號學齡兒童保護者代人ニ關スル規則同凡本縣令第十六號市町村立幼稚園保母盲啞學校其ノ他小學ニ類スル各種學校長及ヒ教員ノ任用解職ニ關スル規則同凡本縣令第十九號同凡本縣令

第八十七號就學兒童出席ヲ許サ、ル規則同凡本縣令第二十號同凡本縣令第八十四號小學校教科用圖書審査等ニ關スル規則同凡本縣令第二十一號同凡本縣令第八十六號學齡兒童就學規則同凡本縣令第二十二號同凡本縣令第八十九號學齡兒童家庭教育等ニ關スル規則同凡本縣令第五十九號試驗科目ヲ缺ク件明治三十年凡本縣令第十四號學齡兒童ノ備主及ヒ師匠ニ關スル規程同凡本縣令第十九號小學校長教員任用解職其他進退ニ關スル規則同凡明治三十一年凡本縣令第五十三號檢定試驗成績證明ノ件明治三十三年凡本縣令第一號小學校設備規則同凡本縣令第五十八號小學校教員檢定ニ關スル規程同凡本縣令第六十號小學校准教員進退ニ關スル規程ハ之ヲ廢止ス

明治二十五年凡本縣令第十四號代用私立小學校設立者ニ關スル件同凡本縣令第三十三號小學校教員給料ニ土地使用物品換給ノ件同凡本縣令第六十一號同凡本縣令第八十三號小學校規則明治二十八年凡本縣令第十二號第十三號市町村立小學校教員諸給與規則明治三十年凡本縣令第七號市町村立小學校教員給料規則同凡本縣令第十七號小學校授業料規則同凡本縣令第五十號市町村立小學校教員旅費額標準ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ廢止ス

●島根縣令第二百二十七號 (明治三十四年九月九日)

小學校教科用圖書及ヒ同各學年配當表

小學校教科用圖書及ヒ同各學年配當別紙ノ通定メ明治三十五年四月一日ヨリ實施ス
 但シ明治二十七年ハ本縣令第八號同二十八年ハ本縣令第七號同二十九年ハ本縣
 令第十一號同三十年ハ本縣令第二十七號ハ本令實施ノ日ヨリ廢止ス(明治三十六年
 八號中削除、明治三十
 八年縣令第五號中削除)

英	コッピイ	一 二 三	明治三十三年二月十日 印刷	明治三十四年	四十二錢	鹿島長次郎 鹿島長次郎
語	ブツクス	四 五 六	同 年 七月 十六 日 印刷 同 年 七月 十七 日 印刷 同 年 七月 二十 日 訂正 再版發行	一月十四日		

尋常小學校教科用圖書配當表

教科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
圖	畫	小學毛筆畫甲種入門 第一卷	同上	同上	同上
圖	畫	小學習畫帖甲種入門 第一篇	同上	同上	同上

高等小學校修業年限二ヶ年課程教科用圖書配當表

教科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
圖	畫	小學毛筆畫甲種 第一卷第二卷	同上	同上	同上
圖	畫	小學習畫帖甲種 第一篇第二篇	同上	同上	同上

高等小學校修業年限三ヶ年課程教科用圖書配當表

教科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
圖	畫	小學毛筆畫甲種第一卷第二卷 乙種第一卷第二卷	同上	同上	同上
圖	畫	小學習畫帖甲種第一卷第二卷 乙種第一卷第二卷	同上	同上	同上

高等小學校修業年限四ヶ年課程教科用圖書配當表

教科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
圖	畫	小學毛筆畫甲種第一卷第二卷 乙種第一卷第二卷	同上	同上	同上
圖	畫	小學習畫帖甲種第一卷第二卷 乙種第一卷第二卷	同上	同上	同上

●島根縣令第四百三十三號 (明治三十四年十一月十九日)

小學校教科用圖書使用ノ件

明治三十四年朕本縣令第二百二十七號小學校教科用圖書ハ明治三十三年朕文部省令第
 十四號小學校令施行規則第六十三條第三項ニ依リ文部大臣ノ指揮ヲ得明治三十五年

四月一日ヨリ各學年共使用ス

●島根縣令第三十五號 (明治三十五年五月十七日)

小學校教員退隱料遺族扶助料ニカ、ル生存證書ノ件

本縣ヨリ市町村立小學校教員退隱料又ハ遺族扶助料ヲ受ケル者其ノ料金受領期月ニ至レハ左式ノ生存證書ヲ作り退隱料證書又ハ遺族扶助料證書ト共ニ市長戸長町村長ニ提出生存ノ證明且證書ノ檢閲ヲ受ケ生存證書ハ本廳ニ差出スヘシ但シ受領期月ニ依リ難キトキハ其ノ時々本文ノ手續ヲナスヘシ
前項ノ申出ヲ受ケタル市長戸長町村長ハ退隱料又ハ遺族扶助料證書ヲ檢閲シ受領權ニ異動ナキヲ認メタルトキハ生存證書ニ書式ノ證明ヲ與フヘシ
書式

生存證書

某儀明治二十三年法律第九十號市町村立小學校教員退隱料及ヒ遺族扶助料法ニヨリ退隱(遺族扶助料)受給者ニシテ現ニ明治何年何月何日ニ於テ生存シ當該法規ノ定ムル所ニ依リ毫モ受領權ニ異動無之候也

年月日

郡(市)町(村)番地

元官 氏

名

知事宛

前書ノ通相違無之此段證明候也

年月日

市長、戸長、町村長

氏

名

●島根縣令第三十八號 (明治三十六年十二月二十五日)

小學校教科用圖書

小學校教科用圖書左ノ通定メ明治三十七年四月一日ヨリ施行ス

明治三十四年肌本縣令第二百二十七號小學校教科用圖書ハ圖書科中ノ小學毛筆畫小學習畫帖及ヒ英語科中ノコッピイブツクスヲ除キ其他ハ明治三十七年三月三十一日限リ採定ノ効力ヲ失フ

小學校教科用圖書

尋常小學校ノ部

教科目	圖書名	卷	冊	著作權所有者
修身	尋常小學修身掛圖	一	綴	文部省
	尋常小學修身書兒童用	三冊	第二、第三、第四學年各一冊宛	同

尋常小學修身書教師用	四冊 各學年一冊宛	同
尋常小學讀本	八冊 各學年二冊宛	同
尋常小學書キ方手本	七冊 第一學年一冊 其他各學年二冊宛	同

高等小學校ノ部

教科目	圖書名	冊數	發行年月日	檢定年月日	一部定價	著者	發行者
修身	高等小學修身書兒童用	五冊	各學年一冊宛及ヒ修業年限三箇年ノ學校第三學年一冊	同	文部省	同	同
國語	高等小學修身書教師用	四冊	各學年一冊宛	同	同	同	同
國語	高等小學讀本	八冊	各學年二冊宛	同	同	同	同
國語	高等小學書キ方手本	八冊	各學年二冊宛	同	同	同	同
歷史	小學日本歷史	五冊	各學年一冊宛及ヒ修業年限三ヶ年ノ學校第三學年一冊	同	同	同	同
地理	小學地理	四冊	各學年一冊宛	同	同	同	同

教科目	圖書名	冊數	發行年月日	檢定年月日	一部定價	著者	發行者
算術	高等算術教科書 兒童用	全四冊	明治三十四年十二月九日訂正再版	明治三十四年十二月十三日	八拾錢	高浦 丈雄	株式會社 普及會
圖畫	圖畫用器畫初歩	全一冊	明治三十四年一月二日訂正再版	明治三十四年一月八日	貳拾五錢	白濱	大日本圖書株式會社

唱歌	唱歌教科書 生徒用	全四冊	明治三十五年十二月十二日訂正再版	明治三十五年十二月十三日	六拾六錢	共益商社 樂器店	白井 銚造
農業	新編農業讀本	全二冊	明治三十六年九月二日再版	明治三十六年九月二十五日	參拾錢	吉村 清倫	高橋 儀市
商業	初等商業教本	全二冊	明治三十六年十二月三日訂正再版	明治三十六年十二月八日	五拾貳錢	松三 幾太郎	鈴木 常松
英語	小學英語讀本	全四冊	明治卅六年十一月十一日訂正再版	明治三十六年十一月十九日	七拾六錢	アールロイト 元田作之進	前川善兵衛

島根縣令第五號 (明治三十七年二月十五日)

小學校教員講習科規程

小學校教員講習科規程ヲ左ノ通り定メ本令發布ノ日ヨリ施行ス
明治三十七年島根縣令第二十四號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

第一條 小學校教員講習科ヲ分チテ第一種、第二種及ヒ第三種トス

第一種講習科ハ正教員ノ資格ヲ有スル者又ハ官公立中學校及ヒ文部大臣ニ於テ徵兵令第十三條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ト認メラレタル私立中學校ノ卒業生第二種講習科ハ准教員ノ資格ヲ有スル者、第三種講習科ハ將來教員ノ資格ヲ得ル志望ヲ有スル者ヲ講習スルモノトス(明治三十八年縣令第二十一號追加)

第二條 講習ノ種別及ヒ期間並講習員ノ定數ハ之ヲ告示ス

第三條 講習員ハ其ノ定員ヲ各都市ニ配當シ島司郡市長ニ於テ配當以上ノ人員ヲ薦舉シ師範學校長之ヲ檢定シテ定數ノ人員ヲ撰拔ス但檢定ノ結果各都市配當人員ニ

過不足アルトキハ師範學校長ハ便宜志願者ヲ募集シ定數ヲ充タヌコトアルヘシ
第四條 師範學校長ニ於テ講習員ノ入學ヲ許可シタルトキハ其ノ氏名及ヒ庶務郡市
ヲ具シ知事ニ申報スヘシ

第五條 講習員ハ入學ノ際二名ノ保證人ヲ立ツルコトヲ要ス

第六條 講習員講習ノ爲メニ要スル圖書其ノ他ノ物品ハ自辨トス但時宜ニ依リ貸與
スルコトアルヘシ

第七條 講習員ニハ在學中學資トシテ手當ヲ支給ス

第八條 講習ヲ修了シタル者ハ修了ノ日ヨリ二箇年間知事ノ指定スル小學校教員ノ
職ニ從事スル義務ヲ有ス但特別ノ事情アルトキハ之ヲ免除スルコトアルヘシ

第九條 不都合ノ行爲アリテ退學ヲ命シタル者若クハ自己ノ便宜ニ依リ退學シタル
者ハ既ニ支給シタル學資ヲ償還セシムヘシ

第十條 講習ヲ修了シタル者服務年限中左ノ事項ノ一ニ該當スルトキハ在學中支給
シタル學資ノ全部若クハ幾部ヲ償還セシムヘシ
一 懲戒ニ依リ職ヲ免セラレタルトキ

二 法令ノ規定ニ依リ當然職ヲ失ヒタルトキ

第十一條 保證人ハ第九條及ヒ第十條ニ規定セル講習員ノ義務ニ付キ連帶ニテ履行
ノ責ヲ負フモノトス

第十二條 學資償還金額ハ知事之ヲ指定ス

第十三條 講習ヲ修了シタル者ニハ師範學校長ニ於テ左式ノ證書ヲ交付ス

講習證書	氏名
右ハ第何種講習科ノ課程ヲ修了シタルコトヲ證ス	年月日生
年月日	島根縣(女子)師範學校長位勳爵 氏名印
番號	

第十四條 師範學校長ハ講習ノ終ニ於テ其ノ成績ヲ知事ニ申報スヘシ

附則

第十五條 保證人ニ關シ本規程ニ規定ナキモノハ明治三十五年十月島根縣令第六號師
範學校女子師範學校生徒募集規則ニ關スル細則第九條乃至第十一條ヲ準用ス

第十六條 本規程ハ現ニ小學校教員講習科ニ在學セル者ニモ之ヲ適用ス

第十七條 本規程施行ニ關スル細則ハ師範學校長之ヲ定ム

●島根縣令第二十三號 (明治三十七年三月二十四日)

周吉郡、穩地郡、海士郡、知夫郡小學校位置及ヒ設置區域

周吉郡、穩地郡、海士郡、知夫郡小學校位置及ヒ設置區域左ノ通指定シ本年四月一日
ヨリ施行ス

明治二十五年本縣令第八十二號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス
高等小學校

郡	位	置	設置區域
周吉郡	西郷町大字西町		西郷町東郷村中條村磯村

尋常高等小學校

郡	位	置	設置區域
周吉郡	布施村大字布施		布施村
同	中村大字湊		中村
穂地郡	五個村大字北方		五個村
同	都万村大字都万		都万村
海士郡	海士村大字海士 同村大字崎		海士村
知夫郡	黒木村大字美田		黒木村
同	浦郷村大字本郷		浦郷村
同	知夫村字郡		知夫村

尋常小學校

郡	位	置	設置區域
周吉郡	西郷町大字西町		西郷町
同	東郷村大字飯田 同村大字大久		東郷村
同	中條村大字原田 同村大字有本		中條村
同	磯村大字西田		磯村
穂地郡	都万村大字那久 同村大字油井		都万村
同	五個村大字郡 同村大字久見		五個村
海士郡	海士村大字福井 同村大字布施 同村大字知久井		海士村
知夫郡	黒木村大字別府 同村大字賀		黒木村
同	浦郷村字三度 同村字珍崎		浦郷村
同	知夫村字古海		知夫村

尋常小學校分教場

郡	位	置	設置區域
周吉郡	中條村大字上西		中條村

●島根縣令第五號 (明治三十八年二月二十二日)

小學校教科用圖書中圖書教科書改定ノ件

小學校教科用圖書左ノ通定メ明治三十八年四月一日ヨリ施行ス

明治三十四年牝本縣令第二百二十七號小學校教科用圖書中圖書教科用圖書ハ明治三十八年三月三十一日限り之ヲ廢ス

尋常小學校ノ部

教科目	圖書名	卷	冊	著作權所有者
尋常小學毛筆書手本	尋常小學鉛筆書手本	三冊 第二、第三、第四 學年各一冊宛	三冊 第二、第三、第四 學年各一冊宛	文部省

高等小學校ノ部

教科目	圖書名	記號	卷	冊	著作權所有者
高等小學毛筆書手本	高等小學毛筆書手本	男用	六冊 第一、第二學年各甲種一冊乙種一冊 第三、第四學年各一冊宛	六冊 第一、第二學年各甲種一冊乙種一冊 第三、第四學年各一冊宛	文部省
高等小學鉛筆書手本	高等小學鉛筆書手本	女用	六冊 第一、第二學年各甲種一冊乙種一冊 第三、第四學年各一冊宛	六冊 第一、第二學年各甲種一冊乙種一冊 第三、第四學年各一冊宛	文部省

◎島根縣訓令之部

●乙第六十號達 (明治十六年一月三十日)

小學校訓導、補助員授業ノ際着袴ノ件

郡 町 村

男子ニシテ小學校訓導補助員等ハ授業ノ際着袴ス可キハ勿論ノ處其儀無之向モ有之不都合ニ候條右ハ着袴候様取縮向注意可致此旨爲心得相達候事
但シ洋服ヲ着用スルハ苦シカラス

●訓令第六十五號 (明治十九年十一月四日)

町村立學校職員其他歸省募參等ニ關スル件

郡 役 所

左ニ記スル者歸省募參轉地養病旅行願及ヒ除服ハ郡長ニ於テ處分スヘシ
一 郡書記及ヒ戶長
一 町村立學校職員
一 勸業委員

●諭 達 (明治十九年十二月二十日)

蓄積金増殖ニ就キ注意ノ件

教育ノ振否ハ其資産ノ厚薄ニ關スルヤ言ヲ俟タス故ニ孜々之レカ蓄積ヲ爲スハ教育

上緊要中最緊要ノ事ニシテ方今亦其業ノ容易ニ非サルヲ知ル而ルニ多年利倍増殖シ以テ漸ク得ル所ノ蓄積金一朝之ヲ支消スル向間々之レアリ是蓄積ノ素意ニ背クノミナラス實ニ將來教育ノ盛衰ニ關係ス遺憾ニ堪ヘサルナリ仍テ爾後縱ヒ些少ノ金員タリトモ蓄積金ヲ支消セス深ク追年増殖ノ計畫ニ注意スヘシ

●島根縣訓令第七十七號 (明治二十一年五月十二日)

小學校生徒貯金規程

郡役所 戶長役場

小學生徒貯金規程別紙之通相定ム

(別紙)

- 第一條 學校ニ於テ生徒ニ勤儉ノ徳ヲ行ハシメンカ爲メ其勞働若クハ父母尊長等ヨリ得タル金錢ノ幾分ヲ貯蓄セシムヘシ
 - 第二條 學校長ハ生徒ノ貯金ニ關スル事ヲ取扱フヘシ
 - 第三條 學校長ハ貯金預渡臺帳ヲ製シ置キ其出納ヲ明確ニスヘシ
 - 第四條 學校長ハ生徒ノ貯金ヲ遞信省爲換貯金局ヘ預ケ入レ又ハ拂戻等ノ手續ヲナスヘシ
- 但シ同局ヘ預ケ入ルコトヲ得サル端數ノ金員ハ便宜確實ノ方法ヲ以テ保管スヘシ

- 第五條 死亡及ヒ退學又ハ止ムヲ得サル事故ノ外ハ生徒ノ貯金ヲ拂戻スヘカラス
- 第六條 郡長ハ毎年一月(前年末調査)左ノ表ヲ製シ縣廳及ヒ郡内ニ報告スヘシ

何郡内小學校生徒貯金報告

校名	生徒		人員	金額	總額	金額
	男	女				
合計	男	女				
	男	女				

第七條 此ノ規程ニ基キ貯金ニ關スル一切ノ細則ハ郡長ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得

●島根縣訓令第七十二號 (明治二十一年十二月十九日)

小學校生徒敬禮式

島 郡役所 戶長役場

- 小學校生徒敬禮式左ノ如ク定ム
- 一 天皇 三后 皇太子皇太子妃皇太孫皇太孫妃皇族ニ對シ又ハ小學校祝日大祭日ノ儀式ヲ行フ場合ニ於テハ左ノ最敬禮ヲ行フヘシ (明治二十四年訓令 第百六十七號追加)
 - 直立シテ姿勢ヲ正クシ手ヲ膝ニ垂レ體ノ上部ヲ前ニ傾ケ頭ヲ垂ルヘシ
 - 帽ヲ冠スルトキハ右手ニ帽ヲ脱シ其裏面ヲ外ニ見ハサハル様ニナシ左手ト共ニ垂ルヘシ其他前ニ同シ

但シ女子洋服ヲ着スルトキハ帽ヲ脱スルヲ要セス
物體ヲ携帶シテ兩手ヲ垂レ若クハ帽ヲ脱スル能ハサルトキハ體ノ上部ヲ前ニ傾
ケ頭ヲ垂ルヘシ

一 行進中ニ在リテハ先ツ歩ヲ止メ前ノ如クスヘシ

一 尊長ニ對スルトキハ左ノ敬禮ヲ行フヘシ

一 直立シテ姿勢ヲ正クシテ手ヲ前ニ垂レ眼ヲ敬禮スヘキ人ニ注キ以テ體ノ上部ヲ
少シク前ニ傾クヘシ

一 帽ヲ冠スルトキハ右手ニテ帽ヲ脱シ其裏面ヲ外ニ見ハサ、ル様ニナシ左手ト共
ニ垂ルヘシ其他前ニ同シ但シ女子洋服ヲ着スルトキハ帽ヲ脱スルヲ要セス(明治
二十四年訓令第六十七號追加)

一 物體ヲ携帶シテ兩手ヲ垂レ若クハ帽ヲ脱スル能ハサルトキハ其敬禮スヘキ人ニ
注目シ體ノ上部ヲ少シク前ニ傾クヘシ

一 行進中ニ在リテハ先ツ歩ヲ止メ前ノ如ク敬禮スヘシ

一 敬禮スヘキ人ノ教室ニ臨ミタルトキハ教師ノ指示ニ從ヒ其席ニ直立シ前ノ如ク
敬禮ヲ行フヘシ敬禮終ラハ直立ニ復シ後席ニ就クヘシ

一 同輩ニ對スルトキハ左ノ敬禮ヲ行フヘシ

一 頭ヲ少シク前ニ傾クヘシ
帽ヲ冠スルトキハ帽ヲ脱スルニ止ムヘシ女子洋服ヲ着スルトキハ帽ヲ脱スルヲ

要セス其儘頭ヲ少シク前ニ傾クヘシ(明治二十四年訓令第六十七號追加)
物體ヲ携帶シテ帽ヲ脱スルコト能ハサルトキハ其儘頭ヲ少シク前ニ傾クヘシ
行進中ニ在リテハ歩ヲ止メスシテ前ノ如スヘシ

●島根縣訓令第一號 (明治二十二年一月四日)

教育功績狀附與例

島 廟 郡役所

教育功績狀附與例別紙ノ如ク定ム

(別紙)

第一條 左項ニ該當スル者ニハ教育功績狀ヲ附與シ其功績ヲ表ス

- 一 小學校諸學校幼稚園職員授業生保姆及ヒ管理者ニシテ功績最モ顯著ナルモノ
- 一 教育上篤志者ニシテ功績最モ顯著ナルモノ

第二條 教育功績狀ヲ左ノ三等トス

一等 輪廓 紅色

二等 同 橙色

三等 同 綠色

第三條 島司郡長ハ第一條ノ第一項若クハ第二項ニ該當スルト認ル者ハ左ノ各項ヲ
具ヘ縣知事ニ申進スヘシ

- 一 住所族籍氏名年齢
 - 二 功績ニ係ル詳細ナル事實
 - 三 職務俸給等ノ經歷
 - 四 品行學力等ニ關スル事柄
 - 五 賞罰學業及ヒ詞訟等ニ關スル一切ノ履歷
- 第四條 島司郡長ハ教育功績狀ヲ受領セシ者ニシテ教育功績狀ヲ有スルノ面目ニ關スル汚行アリシ者ハ其旨ヲ具シ縣知事ニ申報スヘシ

●島根縣訓令第四百十號 (明治二十二年七月九日)

町村組合協議ノ規定ニ依リ郡長ニ管理ヲ請フ場合ニ關スル件

郡役所

町村組合協議ノ規定ニ依リ郡長ニ管理ヲ請フモノ其組合一郡若クハ數郡ノ全般ニ涉ルモノハ郡長ニ於テ直ニ之ヲ許可シテ後チ之ヲ知事ニ報告スルコトヲ得

●島根縣訓令第二百十五號 (明治二十二年十二月五日)

小學校數位置等指定ノ更止ニ由リ廢止ニ屬シタル場合ニ關スル件

島 縣 郡役所 市役所
局長役場 町村役場

小學校校數位置等指定ノ更止ニ由リ廢止ニ屬シタル小學校ハ其生徒カ就學スヘキ他

ノ小學校ノ設備整フニ至ル迄閉校スルヲ得サル儀ト心得ヘシ

●島根縣訓令第二百二十一號 (明治二十二年十二月十日)

私立學校其他監督ニ關スル件

島 縣 郡役所 市役所

私立學校幼稚園書籍館ハ島司郡長市長ニ於テ之ヲ監督スヘシ

●島根縣訓令第八十四號 (明治二十三年九月四日)

官報ニ登載セラレタル施行事項ノ件

郡役所 市役所

官報ニ登載セラレタル各官廳又ハ府縣ニ對スル内閣及ヒ各省訓令中本縣郡役所市役所ニ於テ施行スヘキ事項ハ自今該官報ニヨリ直ニ施行スヘシ

●島根縣訓令第二百四十號 (明治二十三年十二月一日)

傳染病豫防心得

島 縣 郡役所
警察署 分 署
市役所 局長役場
町村役場

今般傳染病豫防心得別冊ノ通內務大臣ヨリ訓令セラレタルニ付自今豫防ノ方法ハ此

趣旨ニ據リ取扱フ可シ

但シ本文ニ關スル從前ノ訓令ハ總テ廢止ス

(別冊)

傳染病豫防心得書(摘要)

實布垚里亞

實布垚里亞(格魯布)ハ多クハ未成年者殊ニ幼童嬰兒ヲ侵シ其幼稚ナル者ハ症狀最險惡ナリ抑モ本病ノ病毒ハ咽頭喉頭ノ如キ部分ニ舍リテ患者ノ痰唾、鼻汁其他患者ノ使用スル衣服、玩具等ノ媒介ニ依リテ傳染ス故ニ本病ノ蔓延ヲ豫防スルニハ患者ト健康者殊ニ兒童トチ隔離スルヲ專要トス而シテ小學校、幼稚園等兒童ノ群集スル場所ハ往々本病傳播ノ中心トナルカ故ニ流行ノ兆アル場合ニ於テハ特ニ注意スルヲ緊要トス

第一條 實布垚里亞(格魯布)又ハ之ニ疑似セル患者アル家ニ於テハ左ノ豫防ヲ守ルヲ要ス

一 患者ノ外ニ兒童アルトキハ成ルヘク兒童ナキ他家ニ避ケシメ而シテ其兒童小學校幼稚園ニ通フ者ナルトキハ三週間ヲ經ル迄登校入園ヲ差止メ其旨ヲ小學校幼稚園ニ報告スルコト

第三條 實布垚里亞(格魯布)患者頻々發生スルトキハ其市町村ニ於テハ左ノ豫防法ヲ施行スルヲ要ス

一 醫師ヲシテ小學校、幼稚園ニ就キ其兒童ヲ診察セシムルコト

二 小學校幼稚園ノ教員ト協議シテ左ノ豫防法ヲ實行スルコト

一 患者アル家ノ兒童ハ其患者全治又ハ死亡シタル後又他家へ避ケタルトキハ其避ケタル日ヨリ三週間ヲ經ル迄登校入園ヲ禁スルコト

二 兒童中咳嗽或ハ發熱スル者アルトキハ速ニ退場セシメ且ツ醫師ノ治療ヲ受ケシムヘキ旨ヲ其家人ニ勸告スルコト

三 生徒ノ缺席數日ニ及フモノアルトキハ其家ニ就テ缺席ノ理由ヲ問フコト

四 出席時刻ヲ晚クシ退散時刻ヲ早クシ兒童ヲシテ朝暮寒冷ノ氣ニ觸レシメサルコト

五 唱歌其他高聲ヲ發スル課業ヲ禁スルコト

六 教場ハ一層清潔ニ掃除シ休息時間ニハ悉皆窓戶ヲ開放シテ十分ニ空氣ヲ流通セシムルコト

七 教場内處々ニ適宜ノ瓶壺等ヲ備ヘテ之ニ石炭酸水ヲ入レ置キ生徒ノ痰唾ハ此器中ニ吐カシムルコト

第四條 前條ノ場合ニ於テハ醫師市町村吏員等ヲ以テ便宜豫防委員ヲ設ケ消毒ノ方法ヲ綿密ニシ且ツ其委員ヲシテ各家ニ豫防法ヲ諭示セシメ又其病勢ニ依リテハ小學校幼稚園ヲ閉鎖スルヲ要ス

痘 瘡

第一條 痘瘡又ハ之ニ疑似セル患者アル家ニ於テハ左ノ豫防法ヲ守ルヲ要ス
 二 患者ノ外ニ兒童アルトキハ成ルヘク兒童ナキ他家ニ避ケシメ而シテ其兒童小學校幼稚園ニ通フ者ナルトキハ三週間ヲ經ル迄登校入園ヲ差止メ其旨ヲ小學校幼稚園ニ報告スルコト

●島根縣訓令第五百五十七號
 儀式用唱歌ノ件

(明治二十四年十月十五日)

島 縣 郡役所 市役所
 戶長役場 町村役場
 小學校ニ於テ祝日大祭日ノ儀式ヲ行フ場合ニ於テ唱歌用ニ共スル歌詞及ヒ樂譜ハ特ニ其採擇ヲ慎ムヘキモノナルヲ以テ文部省ノ撰定ニ係リ若クハ本縣知事ニ於テ訓令スルモノニ限ルヘシ

●島根縣訓令第七十六號
 御影並ニ勅語謄本奉置ノ件

(明治二十四年十二月七日)

島 縣 郡役所 市役所
 戶長役場 町村役場
 學校ヘ下賜セラレタル
 天皇陛下
 皇后陛下ノ 御影並教育ニ關シ下シタマヒタル勅語ノ謄本ハ校內一定ノ場所ヲ撰ヒ

最モ尊重ニ奉置セシムヘシ

●島根縣訓令第八十號
 儀式用唱歌歌詞文部大臣認可ノモノ官報ニ依リ了知スヘキ件

(明治二十四年十二月十二日)

島 縣 郡役所 市役所
 戶長役場 町村役場
 小學校ニ於ケル祝日大祭日ノ儀式ニ用フル唱歌用ノ歌詞ニシテ文部大臣ノ認可アリタルモノハ其都度官報教育欄内ニ掲載アルニ依リ了知スヘシ因テ本知事ニ於テハ別ニ訓令セス

本年十一月十五日ヨリ本日マテニ於テ文部大臣ノ認可アリタルモノハ左ノ如シ
 明治二十二年十月十五日
 出版伊澤修二作歌兼作曲 天長節兒歌

●島根縣訓令第十九號
 町村立小學校設置ニ關スル細則

(明治二十五年二月十八日)

郡役所 町村役場
 町村立小學校設置ニ關スル細則ヲ定ムルコト左ノ如シ
 第一條 小學校令第二十六條第二項第二十九條第一項第三十四條第二項ニ依リ校數並位置ノ許可若クハ指揮ヲ請フ書面ニハ左ノ事項ヲ具シ且ツ地圖ニ設置區域内ノ全圖ニ校位置及ヒ通學路程並其道ヲ副フヘシ
 地圖ニシテ各大字ノ區域學路ノ難易ヲ詳記シタルモノヲ副フヘシ

一 戸 數 設置區域ト通學區域ト異ナル場合ニ於テハ各別ノ數

二 地 價 前項ニ準ス

三 學齡兒童ノ數 第一項ニ準ス

第二條 小學校令第三十六條第三十七條ニ依リ學校設置ノ許可ヲ請フ書面ニハ左ノ事項ヲ具シ且ツ校地圖面 方位反別地種並隣地ノ摸ヲ副フヘシ

一 位置及ヒ名稱

二 學齡兒童ノ數

三 尋常小學校卒業兒童ノ數

四 教員ノ數 本科正教員准教員專科正教員准教員ヲ區別シタルモノ

五 校舍及ヒ體操場圖面 方位及ヒ各室ノ名稱坪數並窓戶等ヲ詳記シタルモノ

第三條 小學校令第二十九條第一項第三十四條第二項第三十七條第二項ニ依リ學校組合ヲ設クルノ許可若クハ指揮ヲ請フ書面ニハ左ノ事項ヲ具シ且地圖 組合内ヲ各町村ノ區域學校位置及ヒ通學路程並ニ其通路ノ難易ヲ詳記シタルモノヲ副フヘシ

一 戸 數 各町村別

二 地 價 前項ニ準ス

三 學齡兒童ノ數 第一項ニ準ス

第四條 小學校令第二十九條第二項ニ依リ兒童教育事務委託ノ許可ヲ請フ書面ニハ左ノ事項ヲ具シ且校地圖面 委託ヲ受クル學校ニ係ルモノノ及地圖 委託區域及ヒ委託ヲ受クル學校ノ位置ヲ記シタルモノニシテ里數ヲ副フヘシ

一 戸 數 委託區域内ノ數

二 地 價 前項ニ準ス

三 學齡兒童ノ數 委託區域内ノ數及ヒ委託ヲ受クル學校ノ通學區域内ノ數

四 就學兒童ノ數 委託ヲ受クル學校ニ係ルモノ

五 教員ノ數 委託ヲ受クル學校ニ係ルモノニシテ本科正教員准教員專科正教員准教員ヲ區別シタルモノ

六 校舍及ヒ體操場圖面 委託ヲ受クル學校ニ係ルモノニシテ各室ノ名稱及ヒ坪數ヲ記シタルモノ

第五條 小學校令第三十一條第一項第二項ニ依リ尋常小學校ノ設置又ハ兒童教育事務ノ委託ニ關スル義務ヲ免レシムルノ許可ヲ請フ書面ニハ左ノ事項ヲ具シ且ツ地圖 義務ヲ免レシムル區域及ヒ隣接スル學校ノ位置ヲ記シタルモノニシテ其義務ヲ副フヘシ

一 戸 數 義務ヲ免レシムル區域内ノ數

二 地 價 前項ニ準ス

三 學齡兒童數 第一項ニ準ス

第六條 小學校令第三十一條第三項ニ依リ尋常小學校ノ設置又ハ兒童教育事務ノ委託

託ニ關スル義務ヲ免レシメタル町村若クハ町村學校組合ニ於テ更ニ尋常小學校ヲ設置スルコトヲ許可セシトキハ校數位置及ヒ學校名稱ヲ申報スヘシ
 第七條 小學校令第三十五條第二項ニ依リ町村立小學校設置若クハ其一部ノ設備又ハ兒童教育事務委託ノ事ヲ猶豫シ私立小學校ヲ以テ之ニ代用セシメタルトキハ學校ノ位置及ヒ名稱ヲ記載シ且ツ地圖代用セシメタル區域ノモノニシテ學校位置通過學路程及ヒ其難易ヲ詳記シタルモノヲ副テ申報スヘシ

●島根縣訓令第五十九號 (明治二十五年四月二日)
 小學校祝日大祭日儀式唱歌用歌詞

島根縣 郡役所 市役所
 戶長役場 町村役場

明治二十四年陸島根縣訓令第八十號以前ニ係ルモノニシテ小學校ニ於ケル祝日大祭日ノ儀式ニ用ヒ苦シカラサル唱歌用ノ歌詞左ノ如シ

歌曲名	所用日	書	目
我大君	天皇節	文部省音樂取調掛編纂	幼稚園唱歌集
君の代	元始祭日	文部省音樂取調掛編纂	小唱歌集初編
天津日嗣	神武天皇祭日	文部省音樂取調掛編纂	小唱歌集第二編

榮や御代		文部省音樂取調掛編纂	小唱歌集第二編
五日の風		文部省音樂取調掛編纂	小唱歌集第二編
太平の曲		文部省音樂取調掛編纂	小唱歌集第二編
祝へ吾君を		文部省音樂取調掛編纂	小唱歌集第三編
瑞穂	新嘗祭日 神嘗祭日 新嘗祭日 新嘗祭日	文部省音樂取調掛編纂	小唱歌集第三編
治る御代		文部省音樂取調掛編纂	小唱歌集第三編
君か代の初春	一月一日	東京音樂學校編纂	中等唱歌集
紀元節	紀元節	東京音樂學校編纂	中等唱歌集
天皇節	天皇節	東京音樂學校編纂	中等唱歌集
君か代		東京音樂學校編纂	中等唱歌集

右所用日ヲ掲ケタルモノハ適宜ニ用フヘシ

●島根縣訓令第六十二號 (明治二十五年四月九日)
 學校教員學力試驗及教員免許狀授與手數料印紙貼用上注意

二十五年
 四月文部
 省告示第
 三號參照

明治二十五年内務省令第四號ニ依リ登記印紙ヲ以テ納ムヘキ學校教員學力試驗手
 數料及ヒ學校教員免許狀授與手數料ハ一日納付シタル上ハ理由ノ如何ニ拘ハラヌ下
 戻ナキヲ以テ印紙貼用前成規ニ照シテ調査ヲナシ然ル後本人ヲシテ該印紙ヲ貼用消
 印セシムヘシ

●島根縣訓令第七十三號 (明治二十五年四月十九日)

市町村立學校ノ名稱

郡役所 市役所
町村役場

市町村立小學校ノ名稱ハ左ノ如ク之ヲ定ムヘシ

- 一 島根縣何郡(松江市)何郡ハ町村尋常(高等)小學校
名市ハ字
- 二 島根縣何郡(松江市)何郡ハ町村尋常高等小學校
名市ハ字

備考

第二項ハ尋常科高等科併置學校ノ例トス
 町村組合ニ於テ設クル小學校ハ郡ノ下何ノ上何町村外何箇町村組合トスヘシ
 一町村内二箇以上ノ小學校ヲ設クル場合ニ於テハ郡ノ下何町村何字トスヘシ

●島根縣訓令第一百十六號 (明治二十五年六月二十九日)

御影複寫其他ニ關スル件

島 廳 郡役所
市役所 戸長役場
町村役場

市町村立小學校幼稚園ニ奉藏センカ爲メ市町村立高等小學校ニ奉藏セル
 天皇陛下

皇后陛下ノ 御影ヲ複寫セントスルトキ若クハ複寫ニアラサル他ノ 御影ヲ市町村
 立小學校幼稚園ニ奉藏セントスルトキハ市長戸長町村長ハ左ノ事項ヲ具シ其第二項
 ノ場合ニ於テハ 御影一葉添付シ知事ノ許可ヲ請フヘシ
 一 複寫セントスルトキハ 御影ヲ奉藏スヘキ校園名、複寫ノ場所月日
 一 複寫ニアラサル他ノ 御影ヲ奉藏セントスルトキハ 御影ヲ奉藏スヘキ校園名、
 御影

●島根縣訓令第三百三十一號 (明治二十五年八月二十九日)

町村立小學校ノ名稱

島 廳 戸長役場

町村立小學校ノ名稱ハ左ノ如ク之ヲ定ムヘシ

- 一 島根縣何郡何學校所在町村名但シ尋常(高等)小學校
町村ノ字ヲ冠セス

二 島根縣何那何（學校所在町村名但シ）尋常小學校
 備考 第二項ハ尋常科高等科併置學校ノ例トス

●島根縣訓令第三百三十六號 (明治二十五年八月二十九日)

町村立小學校設置ニ關スル手續

島 廳 戶長役場

町村立小學校設置ニ關スル手續ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一條 戶長學校開校前ニ於テ教員ノ旅費額ニ就キ意見ヲ知事ニ申出ツヘシ
 第二條 小學校ノ學級ヲ定メタルトキハ戶長ハ左ノ事項ヲ知事ニ申報スヘシ

一 學校名稱

二 單級多級ノ別

三 每級生徒ノ員數

四 正教員准教員ノ員數

五 校舍平面圖（方位、間取、各室坪數、窓、教壇位置、階段、廊下、昇降所、各室入口、押入、土間等）

第三條 小學校ハ第二條ノ申報ヲナシ及ヒ教員ノ任用アリタル後ニアラサレハ之ヲ開クコトヲ得ス

第四條 小學校ヲ開校セントキハ其ノ日並開校ノ爲メ廢滅セシ舊小學校名ヲ知事ニ届出ヘシ

●島根縣訓令第六十四號 (明治二十六年五月三十一日)

市町村立小學校高等小學校教科ノ併置ヲ止タル場合ニ於ケル該學校職員

島 廳 郡役所 市役所

戶長役場 町村役場

市町村立小學校ニ於テ高等小學校教科ノ併置ヲ止メタル場合ニ於テハ該校現任訓導
 導訓導學校長ハ別ニ辭令ヲ交付セス其儘尋常小學校ノ訓導准訓導學校長タラシム但
 シ三學級以上ヲ設ケサル學校ニ於テハ學校長ハ解職トス
 休職尋常小學校訓導學校長タルモノ休職中高等小學校教科ノ併置ヲ止メタル場合亦
 同シ休職尋常小學校訓導學校長タルモノ休職中高等小學校教科ヲ併置シタル場合更ニ
 辭令ヲ交付セサルモノハ其儘休職該校尋常科訓導タルモノトシ學校長ハ解職トス

●島根縣訓令第八十九號 (明治二十六年八月二十四日)

小學校ノ教科目ニ裁縫ヲ加フル件並該一時雇員任用方

島 廳 郡役所 市役所

戶長役場 町村役場

普通教育ノ必要ハ男女ニ於テ差別アルコトナク且女子ノ教育ハ將來家庭教育ニ至大
 ノ關係ヲ有スルモノナリ本縣明治二十五年末現在學齡兒童百人中修學五十六人五歩
 一厘ニシテ其ノ中女子ハ僅ニ十七人四歩八厘ニ過キス今不就學女子ノ父兄ヲ勸誘シ

テ就學セシムルコトヲ怠ラサルヘキト同時ニ女子ノ爲ニ其ノ教科ヲ益々實用ニ近切ナラシメサルヘカラス裁縫ハ女子ノ生活ニ於テ最モ必要ナルモノナリ故ニ土地ノ情況ニ依リ成ルヘク小學校ノ教科目ニ裁縫ヲ加フルヲ要ス
裁縫ノ教員正當ノ資格アル者ヲ得難キノ場合ニ於テハ一時雇員ヲ以テ之ニ充ツルモ妨ナキニ付性行適當ト認ムル者ニ限り雇入期限ヲ具シ履歷書ヲ添テ許可ヲ請フヘシ

●島根縣訓令第九十一號 (明治二十六年九月一日)

公立學校職員職務上席次

島 縣 郡役所 市役所

戶長役場 町村役場

奏任文官又ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル公立學校職員職務上席次左ノ通ト心得ヘシ

- 一 同官等又ハ同等級内ニ於テハ俸給額ニ依リ俸給額同シキトキハ任補ノ前後ニ依ル任補ノ日同シキ時ハ叙位ノ前後ニ依リ叙位ノ日同シキ時ハ前官職ノ席次ニ依リ前官職ノ席次ニ依ル能ハサル時ハ年長者ヲ上席トス但シ市町村立小學校教員ノ受クル年功加俸ハ俸給額ニ加算セス
- 二 同等級内ニ於テ官職ヲ轉シタル場合ハ從前ノ席次ヲ變更セス
- 三 官職ト兼官職ト其等級ヲ異ニスルトキハ官職ニ據リ其席次ヲ定ムヘキ必要アル場合ハ當該官職ノ席次ニ依ル但シ官職ヲ區別スル必要ナキトキハ其高キニ

廿六年文部省令第七號參照
卅一年十月卅日訓令第七號ニ依リ追加

依ル

- 四 轉任ニ依リ降等シ及ヒ蠲退シタル者ハ現等級内ノ首席トス
- 五 最低額以下ノ俸給ヲ支給スル者ノ席次ハ最低額ノ者ト同等トス

●島根縣訓令第九十九號 (明治三十六年九月二十七日)

公立學校長教員ヲ新ニ薦舉若クハ申請スル書面ニ添フル履歷書様式

島 縣 郡役所 市役所
戶長役場 町村役場

公立學校長教員ヲ新ニ薦舉若クハ申請スル書面ニ添フル履歷書ハ別紙様式ノ通タルヘシ

但シ薦舉若クハ申請スルトキハ本文履歷書ヲ添フル能ハサル場合ニ於テハ任命後十日以内本文履歷書ヲ更ニ本人ヨリ差出サシムヘシ

(別紙)

年 號 月 日	任 免 賞 罰 事 故	官 衙
明治何年何月何日	官立(公立私立)某學校へ入學ス	
年 號 月 日	何府(縣)華族(士族平民)舊何藩 裔 名 某	苗 字 名 印
年 號 干 支 月 日	何國何郡何町(村)ニ於テ生	現住所 何府縣何國何郡何町何番屋敷
年 號 干 支 月 日	何國何郡何町(村)ニ於テ生	何府(縣)華族(士族平民)舊何藩 裔 名 某